DigitalArts®

有害サイトフィルタリングソフト

i-フィルター 6.0®

操作マニュアル



はじめに

ごあいさつ

このたびは、デジタルアーツ株式会社の「i-フィルター 6.0」をお使いいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、デジタルアーツ株式会社のホームページ（http://www.daj.jp/）でも「i-フィルター 6.0」の情報をご提供しています。本書と合わせてご覧いただくことをお勧めします。



「ZBRAIN」（ジーブレイン）は、デジタルアーツ株式会社が培ってきたデータベース収集技術のノウハウと、特許※を取得したウェブフィルタリング方式が結実した、独自のフィルタリングテクノロジーです。
※日本【特許第 3605343 号】、米国、アジア、欧州等世界 27 の国と地域で取得

商標・登録商標

デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i-フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows 8、 Windows 7、 Windows Vista、Windows XP、Internet Explorerは、
米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
Celeron は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
Adobe、 Adobe ロゴ、 Adobe PDF ロゴ、 Adobe Flash ロゴおよび Reader、 Flash Player は、
Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

注意事項

本書の内容の一部または全部について、無断で複写、複製、転載することは禁止されています。
本ソフトウェア製品をインストール（あらかじめインストールされている場合は「使用」）することで、使用許諾契約に同意したものとします。
アップデート（バージョンアップ）などに伴い、本文中の内容（画像を含む）は、予告なく変更される場合があります。
本文中の画像は、 Windows 8の画面を使用しています。
お使いの環境によっては、実際の画面と異なる場合があります。
対象サイトがすべてブロックされることを保証するものではありません。

本書の読みかた

本書で使っている絵記号、略語について、説明しています。

■ 絵記号について

本書で使っている絵記号の意味は、以下のとおりです。



・機能についての注意事項やお使いになるうえの制限を説明しています。



・機能についてのメモや便利な使い方を説明しています。

■ 略語について

本書では、以下の略語で表記しています。また、商標、登録商標を省略しています。

- 「i-フィルター 6.0」を「i-フィルター」と表記しています。
- Windows 8、Windows 8 Proを Windows 8と表記しています。
- Windows 7 Ultimate、Windows 7 Professional、Windows 7 Home Premium、Windows 7 Starterを Windows 7と表記しています。
- Windows Vista Ultimate、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Home Basic、Windows Vista BusinessをWindows Vistaと表記しています。
- Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Media Center Edition 2005を Windows XPと表記しています。

目次

1「i-フィルター」について

「i-フィルター」の概要について説明しています。

「i-フィルター」とは

本製品である「i-フィルター」について説明します。

社団法人日本 PTA 全国協議会も認めたフィルタリングソフト

インターネットの情報をフィルタリングして、お子さまに見せたくない情報を遮断し、安心・安全・快適にインターネットを使えるフィルタリングソフト、それが「i-フィルター」です。
「i-フィルター」は、子どもを守るフィルタリングソフトとして高い信頼を得ています。データベースの精度、どなたでも使いやすい操作性、多くの販売実績などから「i-フィルター」は、社団法人日本 PTA全国協議会の推薦をいただいており、2012年 3月現在、全国 25,000校以上の学校でお使いいただいています。

自由度と信頼性の高いフィルターデータ

「i-フィルター」では、どのように「フィルタリング」するのでしょうか。代表的な例としてデジタルアーツのデータベースに登録されたカテゴリ分類によるフィルタリングの流れをご紹介します。

① お客さまがウェブブラウザー上で見たい URLを指定します。（リンクをクリックする、検索するなど）
② 「i-フィルター」は、URLを自動で「i-フィルター」のデータベースに問い合わせます。
③ フィルターで制限するよう指定されたカテゴリの URLであれば、サイトを表示しません。

フィルタリングしてサイトを表示させなくすることを「ブロックする」と呼びます。
「i-フィルター」では、フィルタリングするために各国の研究成果に基づいたデジタルアーツ独自の格付け基準（カテゴリ分類）を設けています。そのカテゴリ分類に従って制限をかけたい URLのリストを収集しています。
日本では、日本独自のデータ収集を行い、データベースに反映しているのです。数秒、数分の高い頻度で情報が更新されるインターネットで、最新のフィルターデータを入手し、最も適したフィルタリング設定をすることで、安心・安全・快適にインターネットを使えます。
フィルターの詳しい設定方法については【フィルターを設定しよう】（P.16）をご覧ください。

ビジネスや公共の場にも対応

ご家庭で有害情報から子どもを守る以外に「i-フィルター」はビジネスや公共の場でも力を発揮します。
例えば、従業員が就業中に会社のパソコンからアダルトサイトやギャンブルサイト、転職情報などを見るのは好ましくありません。「i-フィルター」を使えば、業務に関係のないサイトをブロックすることができ、さらに情報漏洩対策も行えます。また、公共の場に設置したパソコンで、有害サイトにアクセスされるのも問題です。公共の場のパソコンでは、公共施設のサイトや関連したサイトのみを表示するよう設定することで、本来の用途以外に使われることを防ぎます。
「i-フィルター」はフィルタリングソフトをお使いの約 95%※の方にお選びいただいています。
この実績が皆様に信頼されていることを証明しています。

※ 2012年 3月 BCNランキングデータによる自社集計より

フィルターデータについて

インターネットの情報にフィルターをかけるには、フィルターデータを使います。
フィルターデータは、どのように作られているのでしょうか。フィルターデータについて説明します。

日々更新されるフィルターデータ

フィルターデータに登録するURL情報は、精度を重視しています。
毎営業日、日本語・英語・中国語圏の専任スタッフが、完全目視でフィルターのカテゴリ（分類）を確認し、データベースに登録しています。毎営業日に最新のフィルターデータを更新するため、めまぐるしく情報が更新されるインターネットに、最新のフィルターをかけられます。
詳しくは【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】（P.87）をご覧ください。

フィルターもカスタマイズ

フィルターは年齢別の推奨設定を選択することもできますが、フィルタリングしたいカテゴリ（分類）をひとつひとつ選んで設定し、お好みに応じたフィルターを作ることもできます。
その他にも、特定の単語を表示させないように設定する、インターネット利用時間帯を制限するなど、さまざまにカスタマイズすることができます。「i-フィルター」では、きめ細かく自由度の高いフィルターをかけられます。
詳しくは、【フィルターを設定しよう】（P.16）をご覧ください。

フィルターデータ収集言語

「i-フィルター」のフィルターデータ収集言語は日本語、英語および中国語です。
ただし日本語ページ、英語ページ、中国語ページのすべてに対応しているものではありません。

フィルターデータ追加修正依頼フォーム

「i-フィルター」をご利用いただき、「i-フィルター」が遮断すべき情報を遮断しなかったと感じられた場合、あるいは遮断すべきではない情報が遮断された場合にはデジタルアーツのウェブサイトの「フィルターデータ追加修正依頼フォーム」より、情報をご提供ください。
弊社カテゴライズ基準に基づき内容を精査のうえ、データベースに反映させていただきます。
ただし、お寄せいただいた情報が、必ずしもそのまま、またはすべて弊社マスターデータベースに反映されるものではないことを、予めご了承ください。

「i-フィルター」の動作環境について

「i-フィルター」を使うために必要な環境について説明します。

「i-フィルター」を使うには、以下の環境が必要です。

Windows OS （各日本語版）	Windows 8 Windows 8 Pro Windows 7 Ultimate(Service Pack 1 対応) Windows 7 Professional(Service Pack 1 対応) Windows 7 Starter(Service Pack 1 対応) Windows 7 Home Premium(Service Pack 1 対応) Windows Vista Ultimate (Service Pack 1 以上) Windows Vista Professional(Service Pack 1 以上) Windows Vista Business (Service Pack 1 以上) Windows Vista Home Premium (Service Pack 1 以上) Windows Vista Home Basic (Service Pack 1 以上)	Windows XP Professional(Service Pack 3 以上) Windows XP Home Edition(Service Pack 3 以上) Windows XP Media Center Edition 2005
CPU	1GHz 以上のプロセッサ	Celeron 533MHz 以上
メモリ	1GB 以上	256MB 以上
ハードディスク	60MB 以上の空き容量	
ディスプレイ解像度	800 × 600 (SVGA) 以上	
ウェブブラウザー	制限なし（Internet Explorer 推奨）ウェブブラウザーは最新のバージョンを使用してください。 ※ Safari 5.1 は除く。	
その他	インターネットに接続できる環境 一部機能をご利用いただくには、「Adobe® Flash® Player」が必要になります。 「Adobe® Flash® Player」は最新のバージョンを使用してください。	


注意

- インターネットの設定でプロキシサーバーを設定しているときは「i-フィルター」でもプロキシサーバーの設定を行ってください。詳しくは【プロキシサーバーを設定する】（P.98）をご覧ください。
- ページスキャン、単語フィルター、個人情報保護、検索結果フィルター、PICSフィルター、ダウンロード禁止機能は Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。
- Windows 8、Windows 7、Windows Vistaは、32bit版と 64bit版に対応しております。
- OS発売元において同 OSのサポート期間が終了している場合、同 OSに起因する不具合については弊社ではサポート対応ができませんので、予めご了承ください。

2「i-フィルター」を使ってみよう

「i-フィルター」をインストールして、かんたんに使う方法について説明します。

「i-フィルター」をインストールする

新規のシリアル IDでインストールする

「i-フィルター」を CD-ROMから新規インストールする方法を説明しています。



・ダウンロードして入手した場合や、パソコンにバンドル（付属）されていた場合は、インストール方法が一部異なります。



・インストールするときは、必ず管理者（Administrator）権限で Windowsにログインしてください。
・必ずインターネットに接続した状態でインストールを行ってください。

1 ほかのアプリケーションを終了させます。

2 パソコンの CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに、パッケージに付属の CD-ROM をセットします。



・しばらく待っても手順 3または手順 4が表示されない場合は、CD-ROM内の「if6installer（.exe）」アイコンをダブルクリックしてください。

3 以下の画面が表示された場合は、［if6installer.exe の実行］をクリックします。



4 ［インストール］ボタンをクリックします。





- ［インストール先フォルダーを選択する］にチェックマークを付けて、［インストール］ボタンをクリックすると、インストール先フォルダーを選択することができます。通常のインストール先は「C:¥Program Files¥Digital Arts¥IFP6」または「C:¥Program Files(x86)¥Digital Arts¥IFP6」です。
- ［操作マニュアルを見る］ボタンをクリックすると、本操作マニュアルが表示されます。
- 最新のマニュアルが配信されている場合は、最新のマニュアルのダウンロードページを開くことができます。
- 本操作マニュアルをパソコン上で見られない場合は、Adobe Readerが必要です。
  Get ADOBE® READER® をクリックして、Adobe Readerをお使いのパソコンにインストールしてください。
- ［とじる］ボタンをクリックすると、インストールを中止します。

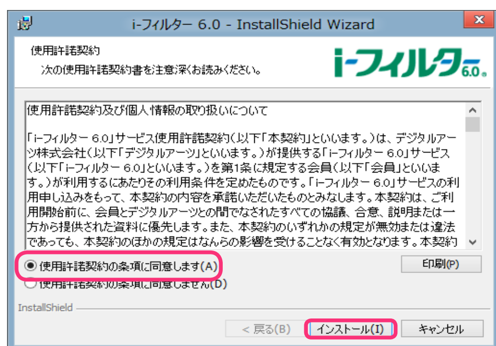
5 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。





- Windows XPの場合は、この操作は必要ありません。手順 6に進んでください。

6 ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し［インストール］ボタンをクリックします。





- 使用許諾契約に同意していただけない場合、インストールができません 。

7 『「i-フィルター」の開始』画面が開きます。［シリアル ID］にシリアル ID を入力し［次へ］ボタンをクリックします。
パッケージで購入された場合は付属していた『「i-フィルター 6.0」ご利用の前に』に記載されています。





- シリアル IDは、半角英数字で入力します。



- Windows 8, 7, Vistaの場合、『「i-フィルター」の開始』画面を開くには管理者（Administrator）権限が必要です。必ず管理者（Administrator）権限で操作を行ってください。

8 『お客さま情報の登録』画面が開きます。項目をすべて入力してください。

① ［登録形態の選択］［お客さま情報の入力］で、お客さまご自身の情報を入力します。

設定項目		設定内容
登録形態の選択	個人登録	個人として登録するときに選びます。
	法人登録	法人として登録するときに選びます。 会社名、部署名を入力してください。

［E-Mailアドレス］と［確認入力］に E-Mailアドレスを入力します。



- E-Mailアドレスにドメイン指定受信の設定をしている場合は、「daj.co.jp」、「i-filter.jp」を受信できる設定にしてください。



- E-Mailアドレスは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を確認したりするときに使います。
  詳しくは【「i-フィルター」を使う】(P.10) をご覧ください。

［お客さま情報］の各項目を入力します 。

設定項目		設定内容
お客さま情報の入力	お名前	お客さまのお名前を入力してください。
	フリガナ	お客さまのお名前のフリガナを全角カナで入力してください。
	生年月日	お客さまの生年月日を選択してください。
	郵便番号	お客さまの郵便番号を入力してください。
	住所	お客さまのご住所を入力してください。
	電話番号	お客さまのお電話番号を半角数字で入力してください。

② ［管理パスワード］と［確認入力］に設定したい管理パスワードを入力します。



- 管理パスワードとは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を確認したりするときに使う大切なパスワードです。
  ほかの利用者に知られないようなパスワードにしてください。
- 管理パスワードは、半角英数字 6文字以上 15文字以下で設定してください。
- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。

③ ［お預かりする個人情報の取り扱いについて］の内容をご確認いただき、［同意する］を選択し［確認画面］ボタンをクリックします。



- デジタルアーツ株式会社からの情報メール（メールマガジンなど）の受け取りを希望されない場合は、［メール配信］で［希望しない］を選択してください。なお［希望しない］を選んだ場合でも重要なお知らせメールはお送りさせていただきますので、予めご了承ください。

④ 『お客さま情報の登録』画面が開きます。入力したお客さま情報をご確認いただき、内容が正しければ［登録する］ボタンをクリックします。



- お客さま情報の内容が正しくない場合は、［修正する］ボタンをクリックして、お客さま情報を修正してください。

9 **『お客さま情報登録完了』画面が開きます。現在のフィルタリング設定をご確認いただけます。**

- フィルタリング設定を変更してご利用される方は［設定する］ボタンをクリックします。
  詳しくは【「i-フィルター」を使う】（P.10）をご覧ください。
- 設定を変更しないでご利用される方は［閉じる］ボタンをクリックします。





- 「i-フィルター」がインストールされました。通知領域（タスクトレイ）のアイコンに ⓘ が表示されます。





- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ は、「i-フィルター」の機能をすぐに呼び出せるので便利です。
  詳しくは、【通知領域（タスクトレイ）のアイコンを使う】（P.97）をご覧ください。
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ は、表示させせないよう設定することもできます。
  詳しくは【通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示する／しない】（P.91）をご覧ください。

登録済みのシリアル IDでインストールする

新しいパソコンを購入した場合などで、登録済みのシリアル IDでインストールする手順を説明します。

1 「i-フィルター」を CD-ROMからインストールします。


補足

・インストールについては【新規のシリアル IDでインストールする】(P.4) の手順 1~6をご覧ください。


注意

・Windows 8, 7, Vistaの場合、『「i-フィルター」の開始』画面を開くには管理者(Administrator)権限が必要です。必ず管理者(Administrator)権限で操作を行ってください。

2 『「i-フィルター」の開始』画面が開きます。[シリアル ID] にシリアル ID を入力し [次へ] ボタンをクリックします。




補足

・シリアル IDは、半角英数字で入力します。

3 以前に設定した管理パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。




補足

・管理パスワードは以前にご利用の管理パスワードを正しく入力してください。

4 『他のパソコンでご利用中のシリアル ID です』画面が開きます。「i-フィルター」を停止するパソコンを選び、[はい] ボタンをクリックします。




補足

・「i-フィルター」は 1シリアル IDにつき 1台のパソコンでご利用いただけます。複数台のパソコンで「i-フィルター」をご利用いただく場合は、ご利用台数分のライセンスが必要になります。
・シリアル IDを停止したパソコンの「i-フィルター」はご利用いただけなくなりますので、アンインストールしてください。アンインストールについては【「i-フィルター」をアンインストールする】(P.106) をご覧ください。

5 『シリアル ID を確認しました』画面が開きます。[完了] ボタンをクリックします。




補足

・「i-フィルター」がインストールされました。通知領域(タスクトレイ)のアイコンに ⓘ が表示されます。

「i-フィルター」を使う

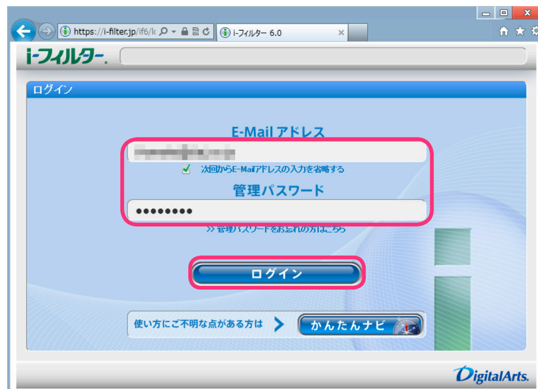
「i-フィルター」の基本的な使い方を説明します。

ウェブブラウザーで管理画面を開く

「i-フィルター」の管理画面はインストールしたパソコン以外のパソコンからでもウェブブラウザーを使い、デジタルアーツ株式会社のウェブサイトから開くことができます。

1 ウェブブラウザーを使い、デジタルアーツ株式会社のウェブサイト（http://www.daj.jp/cs/）にアクセス し、案内に従い、『ログイン画面』を開きます。

2 『ログイン』画面で、E-Mail アドレスと管理パスワードを入力し［ログイン］ボタンをクリックします。





- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- 管理パスワードを忘れてしまった場合は［管理パスワードをお忘れの方はこちら］をクリックして、画面の案内に従って管理パスワードの再設定を行ってください。
  詳しくは【困ったときには（管理パスワード）】（P.122）をご覧ください。

複数のシリアル IDをご利用の場合、『利用するシリアル IDの選択』画面でログインするシリアル IDをクリックします。



管理画面の『トップページ』画面が開きます。



- 管理画面の『トップページ』について詳しくは【管理画面の『トップページ』について】（P.12）をご覧ください。

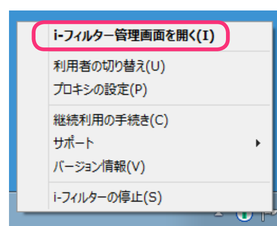


- ウェブブラウザーでは以下の操作を行うことができません。
  「利用者の追加・編集・削除」「利用者の切り替え」「i-フィルターのバージョン情報閲覧」
  「i-フィルターの手動アップデート」「プロキシの指定」
  これらの操作を行う場合は「i-フィルター」をインストールしたパソコンから操作をしてください。
  詳しくは【「i-フィルター」から管理画面を開く】（P.11）をご覧ください。

「i-フィルター」から管理画面を開く

インストールしたパソコンから管理画面を表示する方法を説明します。

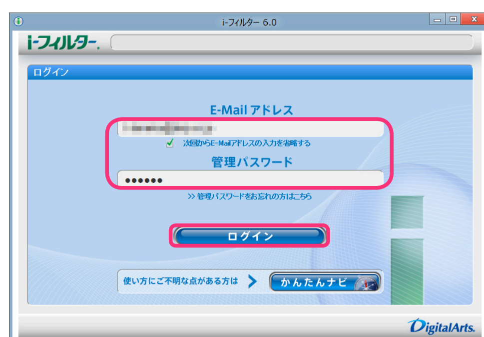
1 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ をクリックして［i-フィルター管理画面を開く］をクリックします。





- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ をダブルクリックしても同様の操作となります。
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ は、設定によって表示されないことがあります。
  詳しくは【通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示する／しない】（P.91）をご覧ください。また、お客さまの設定により通知領域（タスクトレイ）のアイコンが隠れてしまっている場合があります。
  通知領域（タスクトレイ）の［△］をクリックし、隠れているインジケーターを表示させてください。
- カーソルを画面右上に合わせチャームを表示して「スタート」ボタン→アプリ一覧から［i-フィルター 6.0]→「スタートメニュー」タブから [i- フィルターの管理画面を開く] をクリックしても同様の操作になります。
- Windows 7, Vista, XPの場合は、Windowsのスタートボタンから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［i-フィルター 6.0］→[i-フィルター 6.0］をクリックしても、同様の操作になります。

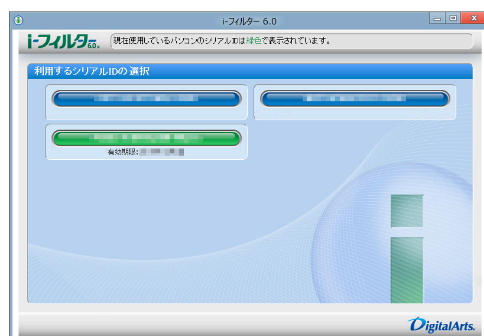
2 『ログイン』画面で、E-Mail アドレスと管理パスワードを入力し［ログイン］ボタンをクリックします。





- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- 管理パスワードを忘れてしまった場合は［管理パスワードをお忘れの方はこちら］をクリックして、画面の指示に従ってください。詳しくは【困ったときには（管理パスワード）】（P.122）をご覧ください。

複数のシリアル IDをご利用の場合、『利用するシリアル IDの選択』画面でログインするシリアル IDをクリックします。



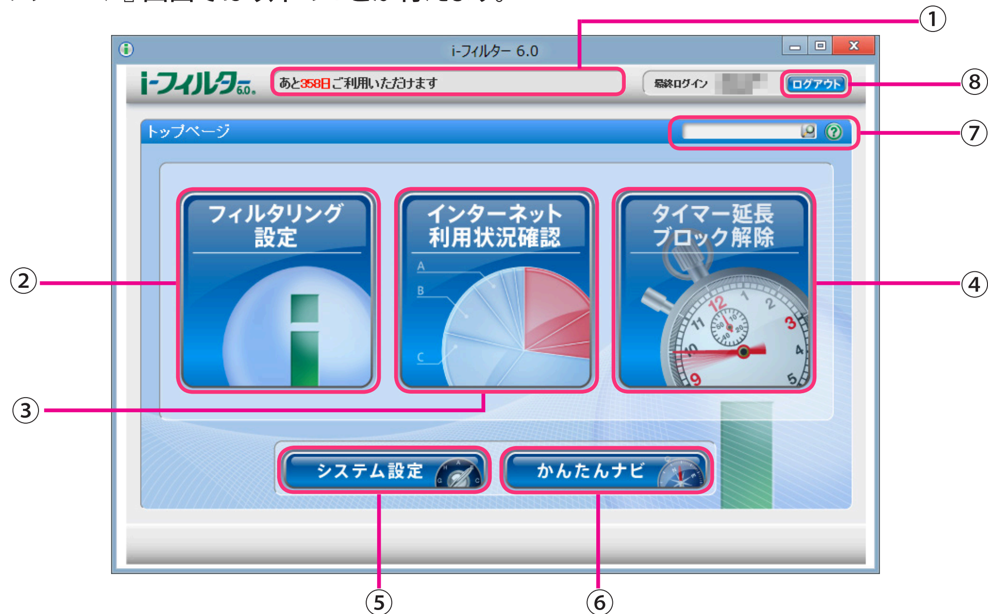
管理画面の『トップページ』画面が開きます。



- 管理画面の『トップページ』について詳しくは【管理画面の『トップページ』について】（P.12）をご覧ください。

管理画面の『トップページ』について

管理画面の『トップページ』画面では以下のことが行えます。



① 「i-フィルター」の利用期限までの日数が表示されます。

② ［フィルタリング設定］ボタン

フィルターを設定できます。詳しくは【フィルターを設定しよう】（P.16）をご覧ください。

③ ［インターネット利用状況確認］ボタン

インターネットの利用状況をグラフやランキングで確認できます。
詳しくは【インターネット利用状況を知ろう】（P.72）をご覧ください。

④ ［タイマー延長 ブロック解除 ］ボタン

インターネットタイマーの延長申請やブロック解除申請を許可する /許可しないの操作ができます。
詳しくは【「i-フィルター」のブロックを解除する】（P.82）をご覧ください。

⑤ ［システム設定］ボタン

「i-フィルター」の設定を行います。
詳しくは【「i-フィルター」の設定をする（システム設定）】（P.87）をご覧ください。

⑥ ［かんたんナビ］ボタン

「i-フィルター」の設定方法を目的からかんたんに検索することができます。
詳しくは【かんたんナビで操作がすぐわかる】（P.15）をご覧ください。

⑦ かんたんナビの検索

かんたんナビの項目を検索します。詳しくは【かんたんナビで操作がすぐわかる】（P.15）をご覧ください。

⑧ ［ログアウト］ボタン

管理画面からログアウトします。


注意

・「i-フィルター」は管理画面での不正な操作を防ぐために一定時間操作を行わなかった場合、自動でログアウトします。

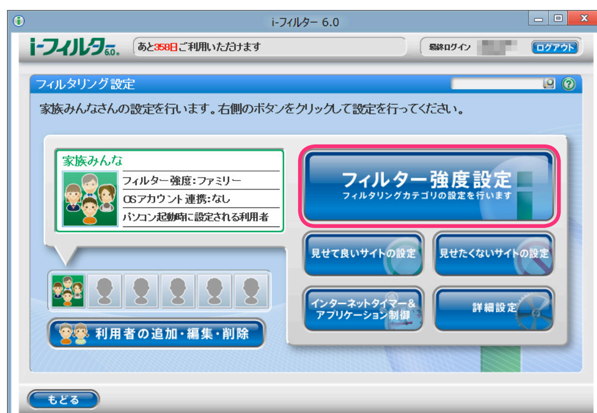
フィルターを設定する

かんたんにフィルターを設定する方法を紹介します。初期設定では「家族みんな」という利用者が登録されています。利用者「家族みんな」のインターネットへのアクセスに「小学生」のフィルター強度に設定を変更する方法を説明します。

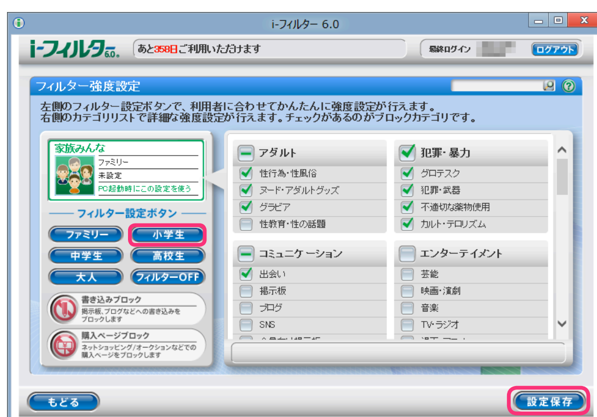
1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。



2 『フィルタリング設定』画面が開きます。［フィルター強度設定］ボタンをクリックします。



3 『フィルター強度設定』画面が開きます。利用者に応じた、フィルター設定ボタン（例：小学生）をクリックして、［設定保存］ボタンをクリックします。





・利用者に応じて、フィルター設定ボタンより［ファミリー］、［小学生］、［中学生］、［高校生］、［大人］のフィルター強度を選ぶことができます。

［ファミリー］	ご家庭のリビングで保護者とお子さまが閲覧するのに相応しい環境を整えつつ、刺激の強いサイトがブロックされます。保護者の閲覧ニーズが高いカテゴリを表示します。
［小学生］	低年齢のお子さまにも安心してインターネットをお使いいただける環境を整えます。 この設定では、ショッピングや懸賞サイト、ウェブメールなどもブロック対象に含まれます。
［中学生］	インターネットを便利に利用できるようにしつつ、刺激の強いサイトがブロックされます。チャットや掲示板など不特定多数とのコミュニケーションもブロック対象に含まれます
［高校生］	情報源としてのインターネットを十分に活用できる環境です。特に刺激の強い内容や、犯罪や暴力、不正 IT 技術に関する内容のほか、出会い系サイト、メル友募集のウェブサイトがブロックされます。
［大人］	不正 IT 技術や特に有害な情報やウェブサイトがブロックされます。



- 利用者ごとに、最大 6名まで個別のフィルター強度を設定していただけます。
  詳しくは【フィルターの強度を設定する】(P.27) をご覧ください。
- ［フィルター OFF］ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお楽しみいただけます。
  詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.30) をご覧ください。
- ［書き込みブロック］の をクリックし、 を表示させると、掲示板やブログなどで、情報を発信させないよう設定できます。
  詳しくは【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.28) をご覧ください。
- ［購入ページブロック］の をクリックし、 を表示させると、ネットショッピング、オークションなどで購入できないよう設定できます。
  詳しくは【オンラインショッピング /オークションでの購入を禁止する】(P.29) をご覧ください。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

かんたんナビで操作がすぐわかる

かんたんナビでは、目的から「i-フィルター」の使い方をかんたんに探すことができます。
かんたんナビを活用して「i-フィルター」による安心・安全・快適なインターネットをお楽しみください。

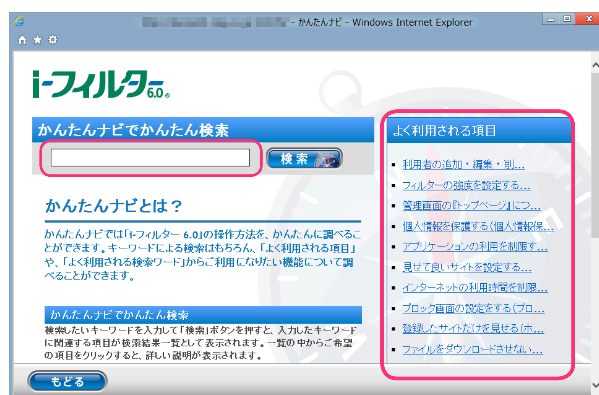
1 管理画面の『トップページ』画面で［かんたんナビ］ボタンをクリックします。





- ログイン画面の［かんたんナビ］ボタンをクリックしても同様の操作になります。
- 画面右上のテキストボックスで知りたい項目を検索できます。
- 各画面の ? ボタンをクリックすると、該当する画面のかんたんナビが開きます。

2 『かんたんナビ』画面が開きます。［かんたんナビでかんたん検索］で知りたい項目を検索できます。
検索結果が表示されますので、知りたい項目をクリックします。





- 管理画面の右上のテキストボックスからも同様に検索ができます。
- よく利用される項目、よく利用されるワードをクリックすることで、その項目のかんたんナビをみることができます。

3 フィルターを設定しよう

フィルターを設定する方法を説明します。

利用者の追加・編集・削除

複数の人が 1台のパソコンを使う場合、利用者ごとにインターネットアクセスをフィルタリングできます。
利用者の追加・編集・削除は「i-フィルター」をインストールしたパソコンからのみ行うことができます。

「i-フィルター」の利用者とは

複数の利用者で「i-フィルター」を使う方法を説明します。
複数の人が同じパソコンで「i-フィルター」を使うには、次の 2つの方法があります。

① **複数の利用者を作って、Windowsのユーザーアカウントを使い分ける方法**
Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けることにより、Windowsのログイン時に利用者が切り替わります。この方法で「i-フィルター」を使うには、新たに利用者を追加する必要があります。
詳しくは【新しい利用者を追加する】(P.19) をご覧ください。

② **複数の利用者を作って、1つの Windowsのユーザーアカウントで使う方法**
Windows起動時は既定で起動するよう設定された利用者で起動されますが、ログオフ／ログインせずに利用者を切り替えられます。この方法で「i-フィルター」を使うには、新たに利用者を作る必要があります。
利用者を作る方法については【新しい利用者を追加する】(P.19)、フィルターをかける利用者を切り替える方法については【利用者を切り替える】(P.21) をご覧ください。

①の「i-フィルター」の利用者を新たに作り、利用者ごとにフィルターを使い分ける方法をお勧めします。Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付ければ、ログインとともにユーザーアカウントに適したフィルターが自動的にかかります。

■ Windowsのユーザーアカウントを作る

Windowsのユーザーアカウントを作る方法を説明します。
「i-フィルター」の利用者と Windowsのユーザーアカウントを関連付けることで、Windowsにログインするとともにユーザーアカウントに関連付けた利用者でフィルターが自動的にかかります。

1 マウスポインターを画面右上に合わせチャームを表示し、「スタート」ボタンをクリックします。



次に『スタート』画面が表示されるので、画面上で右クリックをして、表示された [すべてのアプリ] ボタンをクリックします。
表示された『アプリ』の中から [コントロール パネル] をクリックします。



・Windows 7, Vista, XPの場合は Windowsのスタートボタンから［コントロールパネル］をクリックします。
・チャームについて詳しくは【用語集】(P.130) ご参照ください。

2 『コントロールパネル』画面が表示されます。［アカウントの種類と変更］をクリックします。



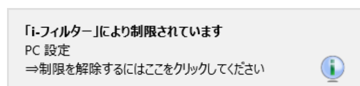


・上記画面と異なる画面が表示された場合は、画面右上にある［表示方法］から「カテゴリ」を選択してください。
・Windows XPの場合は［コントロールパネル］→［ユーザーアカウント］→［新しいアカウントを作成する］よりユーザーアカウントを作ることができます。
・Windows 7, Vistaの場合は［コントロールパネル］→［ユーザーアカウントの追加または削除］よりユーザーアカウントを作ることができます。

3 ［PC 設定で新しいユーザーを追加］をクリックします。



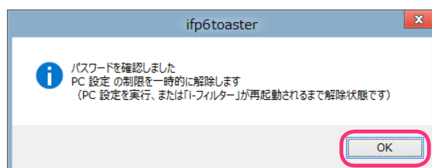
4 「i-フィルター」をインストールしている場合、以下のメッセージが表示されます。メッセージをクリックし、「i-フィルター」の管理パスワードを入力することで PC 設定の制限が解除されます。



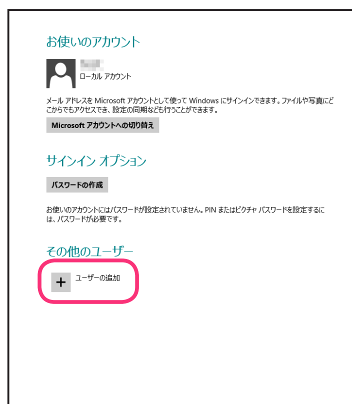


・Windows 7, Vista, XPの場合、この操作は必要ありません。

5 「パスワードの入力が確認されると、以下のメッセージが表示されます。再度、［PC 設定で新しいユーザーを追加］クリックします。



6 PC 設定の画面が開きます。その他のユーザーより［ユーザーの追加］をクリックし、Windows のユーザーアカウントを追加します。





・Windowsのユーザーアカウントには 2種類あります。セキュリティ向上のため、「i-フィルター」の利用者と関連付けるユーザーアカウントは標準ユーザー（または制限ユーザー）に設定することをお勧めします。

新しい利用者を追加する

複数の人でフィルターを使い分けるには、新しい利用者を追加します。利用者は 6人まで追加できます。
後から利用者の情報を変えたり、削除することもできます。


注意

・この操作は「i-フィルター」から開いた管理画面で行ってください。
詳しくは【「i-フィルター」から管理画面を開く】（P.11）をご覧ください。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。



2 『フィルタリング設定』画面で、［利用者の追加・編集・削除］ボタンをクリックします。



3 『利用者の編集』画面が開きます。空いている利用者枠にマウスポインターを移動し、［新規利用者を作成］ボタンを
クリックします。



4 利用者の情報を設定し［設定保存］ボタンをクリックします。



設定項目	設定内容
アイコン	利用者の目印となるアイコンを選びます。 ※ 12 種類から選べます。
名前	利用者の名前を入力します。 ※ほかの利用者とは異なる名前を入力してください。 ※全角半角を問わず、20 文字以内で入力してください。
生年月日（西暦）	利用者の生年月日を選びます。
関連付ける OS アカウント	Windows のユーザーアカウントと「i- フィルター」の利用者を関連付けるときに設定します。［▼］をクリックし、関連付けたい Windows ユーザーアカウントを選びます。 Windows のユーザーアカウントと「i- フィルター」の利用者を関連付けない場合は、「＜関連付けを行わない＞」を選びます。
PC 起動時にこの設定を使用する	チェックマークが付いている利用者の設定で、パソコン起動時にフィルタリングがかかります。



・利用者の作成を中止するには、画面右上の［×］ボタンをクリックします。

5 確認メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックし、新しい利用者を追加します。





- 新しく追加した利用者には手順 4で設定した生年月日を元に、最適と考えられるフィルターが自動で適用されます。
- 利用者年齢に応じた推奨設定については【フィルターを設定する】（P.13）をご覧ください。

利用者情報を変える

利用者の情報を変更することができます。


注意

・この操作は「i-フィルター」をインストールしたパソコンからのみ行うことができます。
詳しくは【「i-フィルター」から管理画面を開く】(P.11)をご覧ください。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、［利用者の追加・編集・削除］ボタンをクリックします。



3 『利用者情報の編集』画面が開きます。情報を変えたい利用者にマウスポインターを移動し［編集］ボタンをクリックします。



4 必要に応じて利用者情報を変更し、［設定保存］ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。




補足

・利用者情報の内容については【新しい利用者を追加する】(P.19)の手順 4 をご覧ください。
・利用者情報の変更を中止するには、画面右上の［×］ボタンをクリックします。

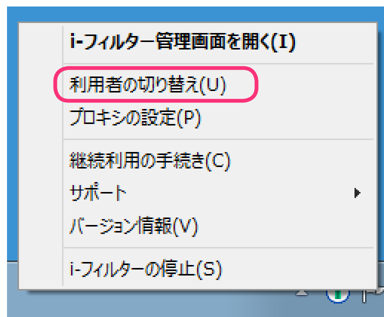
利用者を切り替える

複数の利用者で「i-フィルター」を使っている場合は、利用者を切り替えてフィルターをかけられます。
例えば、大人がパソコンでインターネットを使っているときに小学生の子どもに利用させる場合、利用者を子ども用に切り替えれば、Windowsのユーザーアカウントを切り替えなくても子ども用のフィルターをすばやくかけられます。

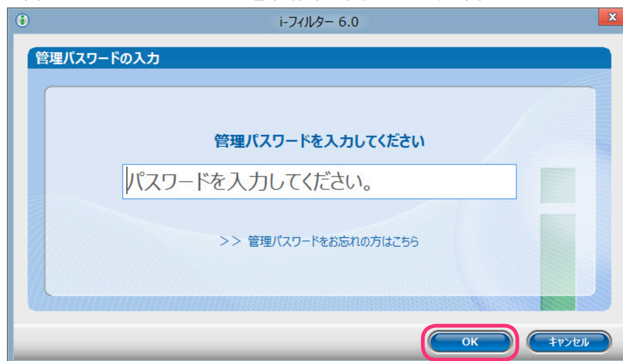
■ 通知領域（タスクトレイ）のアイコンから利用者を切り替える

通知領域（タスクトレイ）の ⓘ から利用者を切り替える方法を説明しています。

1 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ をクリックし、［利用者の切り替え］をクリックします。



2 『管理パスワードの入力』画面が開きます。管理パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。





・管理パスワードは、大文字・小文字が区別されます。

3 『利用者の切り替え』画面が開きます。［利用者を選択してください］で［▼］をクリックし、「i-フィルター」の利用者を選び、［OK］ボタンをクリックします。



「i-フィルター」の利用者が切り替わります。

起動時の利用者を選ぶ

パソコン起動時の利用者を選べます。 パソコン起動時の利用者は『フィルタリング設定』画面で、「PC起動時にこの設定を使う」と表示されます。 また利用者のアイコンが緑の背景で表示されます。
次回のパソコン起動時には、 この利用者の設定でフィルタリングがかかります。


注意

・この操作は「i-フィルター」から開いた管理画面で行ってください。
　詳しくは【「i-フィルター」から管理画面を開く】(P.11) をご覧ください。
・Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けている場合は、この設定は適用されません。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、［利用者の追加・編集・削除］ボタンをクリックします。



3 『利用者情報の編集』画面が開きます。パソコン起動時に使用する利用者にマウスポインターを移動し［編集］ボタンをクリックします。



4 ［PC 起動時にこの設定を使用する］にチェックマークを付け、［設定保存］ボタンをクリックします。



パソコン起動時に使用される利用者アイコンは緑の背景で表示されます。

利用者を削除する

利用者を削除できます。ただし「i-フィルター」に初期設定で登録されている「家族みんな」（名前は変えられます）は削除できません。


注意

・この操作は「i-フィルター」をインストールしたパソコンからのみ行うことができます。
詳しくは【「i-フィルター」から管理画面を開く】（P.11）をご覧ください。

・一度削除した利用者を元にもどすことはできません。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

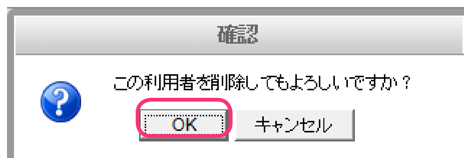
2 『フィルタリング設定』画面で、［利用者の追加・編集・削除］ボタンをクリックします。



3 利用者情報の編集』画面が開きます。削除したい利用者にマウスポインターを移動し［削除］ボタンをクリックします。



4 以下のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



利用者が削除されます。


補足

- 現在フィルターを適用している利用者を削除すると初期設定の「家族みんな」のフィルタリング設定が適用されます。
- 「PC起動時にこの設定を使用する」に設定されている利用者を削除すると初期設定の「家族みんな」が「PC起動時にこの設定を使う」に関連付けられます。

フィルタリング設定のいろいろ

**フィルタリング設定はさまざまな方法があります。フィルタリングの方法について説明します。
フィルタリングの方法は、大きく分けて7つあります。各方法の複数の機能を併用することで、さらに高い精度のフィルター環境を得られます。環境やご家庭のポリシーに応じたフィルタリング方法をお使いください。
フィルターがかかる優先順位については【教えて！「i-フィルター」】の Q21（P.124）をご覧ください。**

① サイトをブロックする方法

- **フィルター強度**
  カテゴリによって見せたくないサイトをブロックできます。フィルター強度の設定を選ぶことで、利用者の年齢に応じたカテゴリに該当するページがブロックされます。
  詳しくは【フィルターを設定する】（P.13）【フィルターの強度を設定する】（P.27）をご覧ください。

- **見せたくないサイト**
  見せたくないサイトをブロックします。個別のサイト（URL）を登録することでご自身の「見せたくないサイト」（URL）登録リストを作ることができます。詳しくは【見せたくないサイトの設定をする】（P.35）をご覧ください。

- **ページスキャン**
  「i-フィルター」のフィルターデータに登録されていないサイトを独自のフィルタリングエンジンでチェックします。
  詳しくは【サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャン）】（P.70）をご覧ください。

- **単語フィルター**
  指定したサイト内に、あらかじめ登録した単語があった場合、当該サイトをブロックしたり、当該単語を伏字にすることができます。詳しくは、【禁止単語を設定する（単語フィルター）】（P.57）をご覧ください。

- **PICSフィルター**
  PICSとは、ウェブサイトを作った人が自分のコンテンツに付与した自主規制信号（PICSラベル）を元に、受信者がアクセスするかどうかを選べるという機能です。PICSフィルターを使った場合は、アクセス先のサイトにPICSラベルがあるかどうかを読み取って、PICSラベルがあるサイトをブロックします。
  詳しくは【自主規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）】（P.71）をご覧ください。

- **検索結果フィルター**
  検索サイトで検索した結果に、ブロック対象サイトを表示させないようにします。
  詳しくは【見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）】（P.56）をご覧ください。

② 表示を許可する方法

- **見せて良いサイト**
  個別のサイト(URL）を「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録することで「i-フィルター」のデータベースでブロックされていても、表示するようにできます。詳しくは【見せて良いサイトの設定をする】（P.31）をご覧ください。

- **フィルター OFF**
  閲覧の制限なくすべてのサイトを見ることができます。ただし、インターネットタイマー、アプリケーション制御個人情報保護機能は有効にできます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】（P.30）をご覧ください。

③ 情報発信をブロックする方法

- **個人情報の保護**
  氏名や住所、クレジットカード番号などをあらかじめ登録しておくと、掲示板や送信フォームから個人情報を送信しようとしたときに送信をブロックします。詳しくは【個人情報を保護する（個人情報保護）】（P.48）をご覧ください。

- **書き込みの禁止**
  掲示板やブログ、SNSやチャットなどから、トラブルが起こったり、個人情報が漏れたりすることもあります。コミュニケーションカテゴリ（Webメール、ホスティングを除く）に属するサイトでの情報発信を禁止することができます。詳しくは【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】（P.28）をご覧ください。

- **オンラインショッピング /オークションでの購入を禁止**
  お子さまが通販サイトやオンラインゲームサイトなどで、保護者のクレジットカードを使った買い物をするといったトラブルも相次いで報告されています。ショッピングカテゴリや金融・経済カテゴリ（投資情報、不動産を除く）に属するサイトでの購入操作を禁止することができます。
  詳しくは【オンラインショッピング /オークションでの購入を禁止する】（P.29）をご覧ください。

④ 表示を制限する方法

- **ホワイトリスト**
  サイト（URL）を登録することで、登録したサイトだけを表示させるホワイトリスト形式のフィルタリングを行います。ホワイトリストを有効にすると、フィルター強度設定、見せて良いサイト、見せたくないサイト、ダウンロード禁止、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルターは無効になり、登録したサイト以外のサイトはブロックされます。
  詳しくは【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】（P.62）をご覧ください。

⑤ インターネットの利用を時間で制限する方法

- **インターネットの利用時間帯 /制限時間（インターネットタイマー）**
  インターネットの利用できる時間を設定できます。曜日と時間を指定してインターネットの利用時間帯を禁止する時間帯、許可する時間帯に設定できます。また、1日の制限時間を設定することもできます。
  詳しくは【インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）】（P.39）をご覧ください。

⑥ ファイルのダウンロードを禁止する方法

- **ダウンロード禁止**
  ファイルの拡張子を登録して、該当するファイルのダウンロードを禁止することができます。
  詳しくは【ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）】（P.52）をご覧ください。

⑦ アプリケーションの利用を制限する方法

- **アプリケーション制御**
  アプリケーションのプロセス名を登録して、該当するアプリケーションの起動や利用時間を制限することができます。
  詳しくは【アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）】（P.42）をご覧ください。

フィルターの強度を設定する

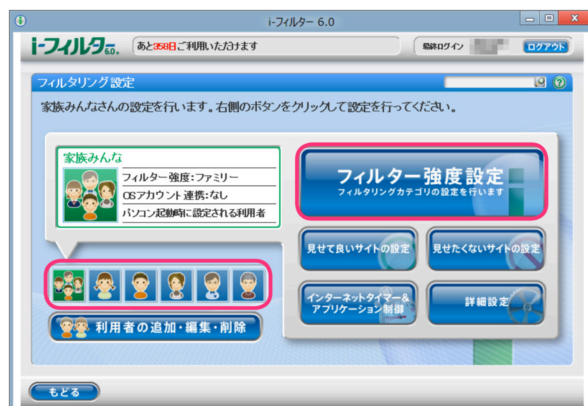
サイトをブロックするためのフィルター強度（カテゴリ）の設定方法を説明します。

フィルタリングカテゴリの設定をする

フィルタリングカテゴリの設定方法を説明します。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、フィルター強度を変更したい利用者をクリックし［フィルター強度設定］ボタンをクリックします。



3 『フィルター強度設定』画面が開きます。［フィルター設定］ボタン（利用者の年齢に応じた推奨設定）から設定したい強度のボタンをクリックし、［設定保存］ボタンをクリックします。
カテゴリリストのブロックしたいカテゴリにチェックマークを付けて、カテゴリごとにブロックする設定もできます。





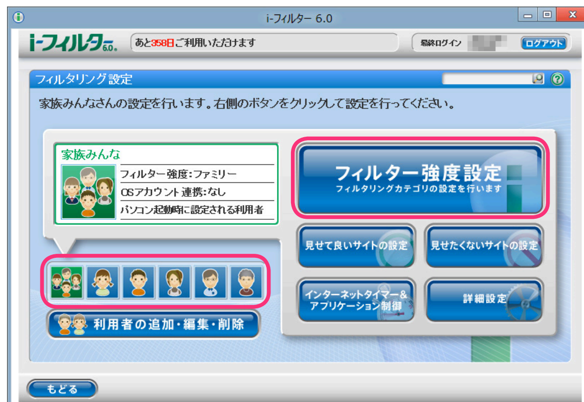
- ［フィルター設定ボタン］のフィルター強度については【フィルターを設定する】（P.13）をご覧ください。
- カテゴリの内容については【フィルターのカテゴリ一覧】（P.123）をご覧ください。
- ［フィルター OFF］ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお使いいただけます。
詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】（P.30）をご覧ください。
- ［書き込みブロック］で 書き込みブロック を表示させると、掲示板やブログなどで情報を発信させないよう設定できます。
詳しくは【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】（P.28）をご覧ください。
- ［購入ページブロック］で 購入ページブロック を表示させると、オンラインショッピングやオークションなどで購入させないよう設定できます。詳しくは【オンラインショッピング /オークションでの購入を禁止する】（P.29）をご覧ください。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

掲示板・ブログへの書き込みを禁止する

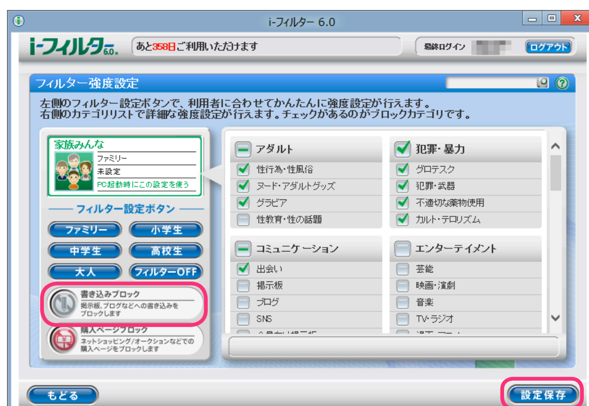
掲示板・ブログ・SNS・チャットなど、コミュニケーションカテゴリに属するサイト（Webメール、ホスティングを除く）で、情報の発信をブロックすることができます。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、書き込みを禁止する利用者をクリックし［フィルター強度設定］ボタンをクリックします。



3 『フィルター強度設定』画面が開きます。［書き込みブロック］の をクリックして、 を表示させ、［設定保存］ボタンをクリックします。





- 書き込みブロックを無効にしたい場合は［書き込みブロック］の をクリックして、 を表示させ、［設定保存］ボタンをクリックします。
- フィルター強度の設定について、詳しくは【フィルターの強度を設定する】（P.27）をご覧ください。
- ［フィルター OFF］ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお使いいただけます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】（P.30）をご覧ください。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

オンラインショッピング /オークションでの購入を禁止する

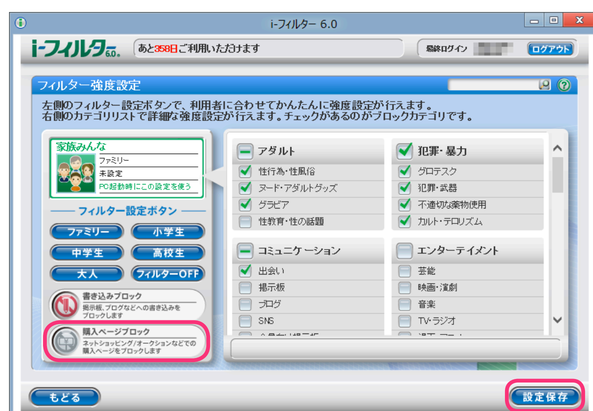
ショッピングカテゴリ、または金融・経済カテゴリ（投資情報・不動産を除く）に該当するサイトでの購入操作をブロックすることができます。

1 管理画面の『トップページ』画面で ［フィルタリング設定］ ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、オンラインショッピング / オークションでの購入を禁止する利用者をクリックし［フィルター強度設定］ ボタンをクリックします。



3 『フィルター強度設定』画面が開きます。［購入ページブロック］ の をクリックして、 を表示させ［設定保存］ ボタンをクリックします。





- 購入ページブロックを無効にしたい場合は ［購入ページブロック］ の をクリックして、 を表示させ、［設定保存］ ボタンをクリックします。
- フィルター強度の設定について、詳しくは【フィルターの強度を設定する】（P.27）をご覧ください。
- ［フィルター OFF］ ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお使いいただけます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットへのアクセスを許可する】（P.30）をご覧ください。
- ［設定保存］ ボタンをクリックせずに ［もどる］ ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- ［もどる］ ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する

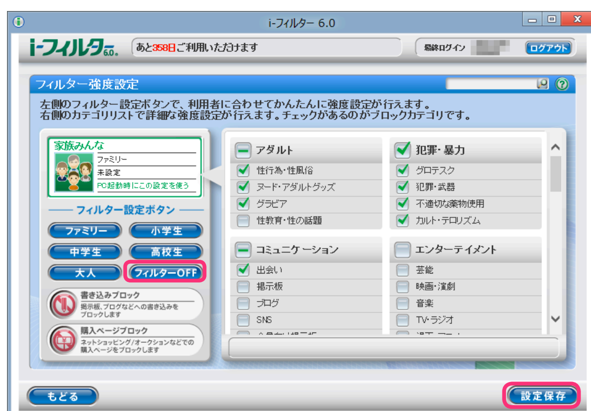
利用者を選んで、すべてのサイトを見られるよう許可できます。
フィルター OFFの設定にした場合もインターネットタイマー、アプリケーション制御、個人情報保護、ブロック解除、ブロック解除申請は有効にできます。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、すべてのサイトを見ることを許可する利用者をクリックし［フィルター強度設定］ボタンをクリックします。



3 『フィルター強度設定』画面が開きます。［フィルター OFF］ボタンをクリックし［設定保存］ボタンをクリックします。





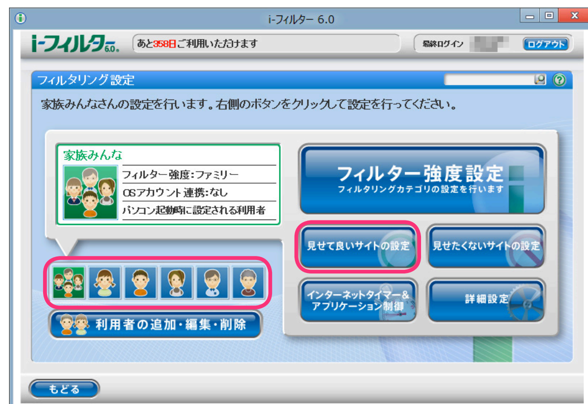
- インターネットタイマーについては【インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）】（P. 39）をご覧ください。
- アプリケーション制御については【アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）】（P.42）をご覧ください。
- 個人情報保護については【個人情報を保護する（個人情報保護）】（P.48）をご覧ください。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

見せて良いサイトの設定をする

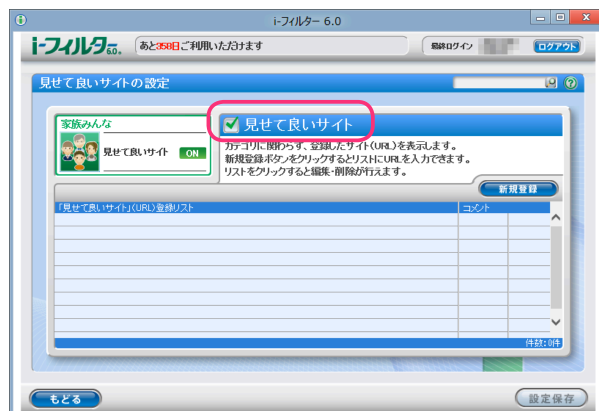
ブロックされたサイトを見せて良いサイトとして、表示することができます。
「見せて良いサイト」(URL) 登録リスト作成、見せて良いサイト機能の有効／無効は利用者ごとに設定ができます。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で見せて良いサイト機能を有効にする利用者をクリックし［見せて良いサイトの設定］ボタンをクリックします。



3 『見せて良いサイトの設定』画面が開きます。［見せて良いサイト］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に ON と表示され、見せて良いサイト機能が有効になります。





- 見せて良いサイト機能を無効にしたい場合は、［見せて良いサイト］のチェックマークをはずし［設定保存］をクリックします。画面左上に OFF と表示され、見せて良いサイト機能が無効になります。
- 「見せて良いサイト」(URL) 登録リストに見せて良いサイトの URLを登録できます。
  詳しくは【見せて良いサイトの URLを登録する】(P.32) をご覧ください。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

見せて良いサイトの URLを登録する

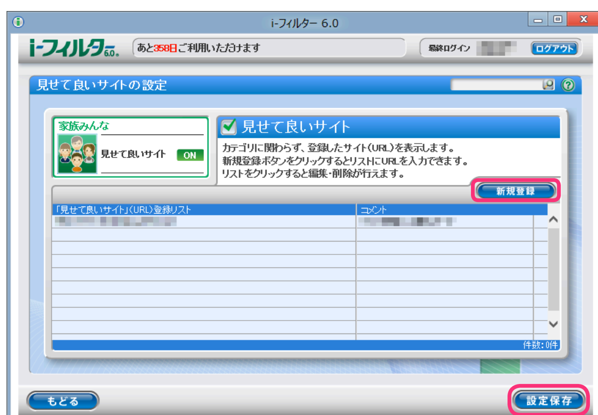
「見せて良いサイト」（URL）登録リストに URLを登録する手順を説明しています。
「見せて良いサイト」（URL）登録リストには 1件につき半角英数記号 4文字以上 500文字以下、
利用者 1名につき 100件までの URLが登録できます。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、見せて良いサイトの URL を登録したい利用者をクリックし
［見せて良いサイトの設定］ボタンをクリックします。



3 『見せて良いサイトの設定』画面が開きます。［新規登録］ボタンをクリックし、「見せて良いサイト」（URL）登録リストに見せて良いサイトの URL を入力し［設定保存］ボタンをクリックします。




注意

- 見せて良いサイトに登録した URLと部分的に一致する URLを持つサイトはすべて表示されます。例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や http://www.daj.co.jp といったサイトは表示されます。
- 見せて良いサイトとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されます。これはすべてのサイトの URLで「http」を含むためです。
- 「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。


補足

- 1件の URLは、4文字以上 500文字以下の半角英数記号で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。
- 「見せて良いサイト」登録（URL）リストには全角、半角問わず 32文字以下のコメントを入力することができます。

4 続けて登録する場合、手順 3 を繰り返します。





補足

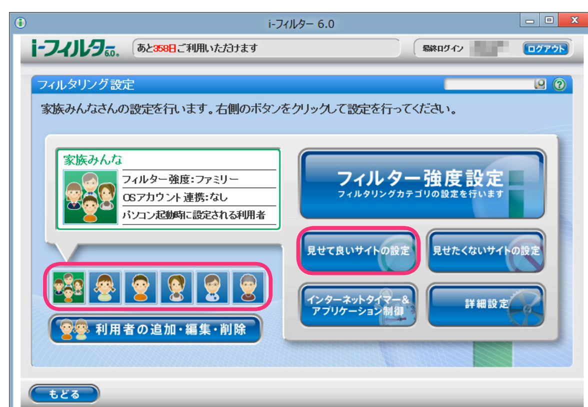
- 「見せて良いサイト」(URL) 登録リストには利用者 1名につき 100件までの見せて良いサイトを登録できます。
- 「見せて良いサイト」(URL) 登録リストの URLをクリックすると、URLを書き換えることができます。
- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、追加入力した URLは保存されずに削除されます。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

見せて良いサイトの URLを削除する

「見せて良いサイト」(URL) 登録リストから、URLを削除する手順を説明します。

1 管理画面の『トップページ』画面で [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

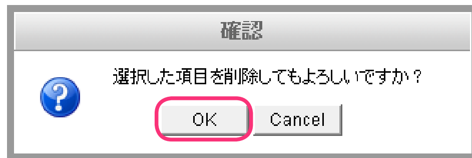
2 『フィルタリング設定』画面で、見せて良いサイトの URL を削除したい利用者をクリックし [見せて良いサイトの設定] ボタンをクリックします。



3 『見せて良いサイトの設定』画面が開きます。「見せて良いサイト」(URL) 登録リストから削除したい URL の 🗑 ボタンをクリックします。



4 以下のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。



5 続けて削除する場合、手順 3、4 を繰り返し［設定保存］ボタンをクリックします。





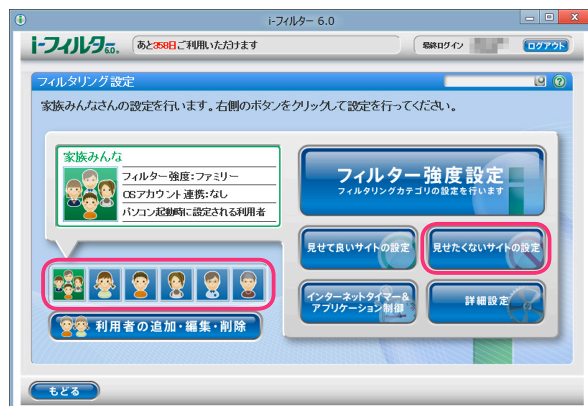
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、削除操作した URLは削除されずに保存されたままとなります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

見せたくないサイトの設定をする

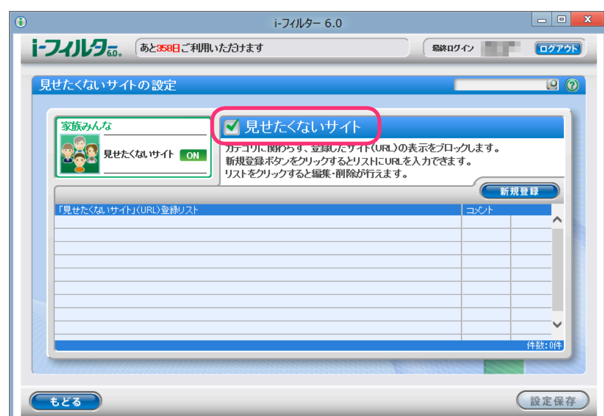
個別にブロックしたいサイトを、見せたくないサイトとしてブロックすることができます。
「見せたくないサイト」(URL) 登録リスト作成、見せたくないサイト機能の有効/無効は利用者ごとに設定ができます。

1 管理画面の『トップページ』画面で[フィルタリング設定]ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、見せたくないサイトを有効にする利用者をクリックし[見せたくないサイトの設定]ボタンをクリックします。



3 『見せたくないサイトの設定』画面が開きます。[見せたくないサイト]にチェックマークを付けて[設定保存]ボタンをクリックします。画面左上に ON と表示され、見せたくないサイト機能が有効になります。




補足

- 見せたくないサイト機能を無効にしたい場合は、[見せたくないサイト]のチェックマークをはずし[設定保存]ボタンをクリックします。画面左上に OFF と表示され、見せたくないサイト機能が無効になります。
- 「見せたくないサイト」(URL) 登録リストに見せたくないサイトの URLを登録できます。
  詳しくは【見せたくないサイトの URLを登録する】(P.36) をご覧ください。
- [もどる]ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

見せたくないサイトの URLを登録する

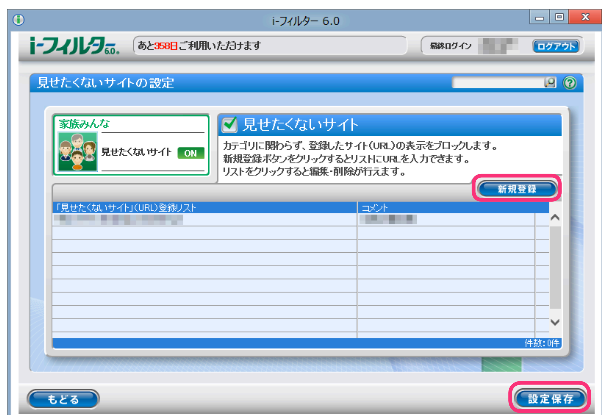
「見せたくないサイト」（URL）登録リストに URLを登録する手順を説明します。
「見せたくないサイト」（URL）登録リストには 1件につき半角英数記号 4文字以上 500文字以下、
利用者 1名につき 100件までの URLが登録できます。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、見せたくないサイトの URL を登録したい利用者をクリックし
［見せたくないサイトの設定］ボタンをクリックします。



3 『見せたくないサイトの設定』画面が開きます。［新規登録］ボタンをクリックし「見せたくないサイト」（URL）
登録リストに見せたくないサイトの URL を入力し［設定保存］ボタンをクリックします。





- 見せたくないサイトに登録した URLと部分的に一致する URLを持つサイトはすべてブロックされます。
例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や http://www.daj.co.jp といったサイトはブロックされます。
- 見せたくないサイトとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されなくなります。これはすべてのサイトの URLで「http」を含むためです。
- 「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。



- 1件の URLは、4文字以上 500文字以下の半角英数記号で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。
- 「見せたくないサイト」（URL）登録リストには全角半角問わず 32文字以下でコメントを入力することができます。

4 続けて登録する場合、手順 3 を繰り返します。





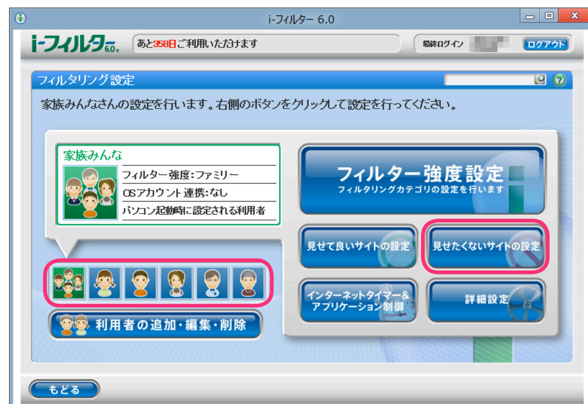
- 「見せたくないサイト」（URL）登録リストには利用者 1名につき 100件までの見せたくないサイトを登録できます。
- 「見せたくないサイト」（URL）登録リストの URLをクリックすると、URLを書き換えることができます。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、追加入力した URLは保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

見せたくないサイトの URLを削除する

「見せたくないサイト」登録（URL）リストから、URLを削除する手順を説明します。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

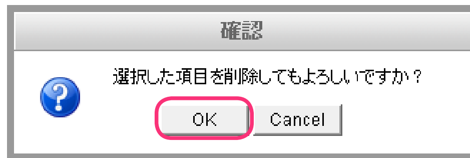
2 『フィルタリング設定』画面で、見せたくないサイトの URL を削除したい利用者をクリックし
［見せたくないサイトの設定］ボタンをクリックします。



3 『見せたくないサイトの設定』画面が開きます。「見せたくないサイト」（URL）登録リストから削除したい URL の
ボタンをクリックします。



4 以下のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。



5 続けて削除する場合、手順 3、4 を繰り返し [設定保存] ボタンをクリックします。





- [設定保存] ボタンをクリックせずに [もどる] ボタンをクリックすると、削除操作した URLは削除されず保存されたままとなります。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）

**曜日ごとにインターネットの利用時間帯を設定したり、1日に利用可能な時間を設定することができます。
この機能を「インターネットタイマー」と呼びます。**


注意

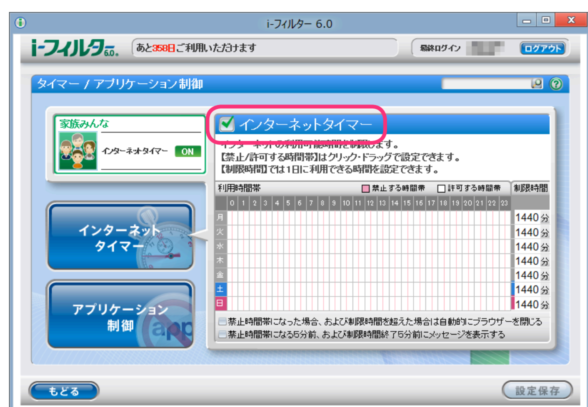
インターネットタイマーの設定をした場合、設定内容によってはインターネットに接続できなくなります。
「i-フィルター」を管理する利用者には、インターネットタイマーの設定をしないことをお勧めします。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし
［インターネットタイマー & アプリケーション制御］ボタンをクリックします。



3 『タイマー / アプリケーション制御』画面が開きます。［インターネットタイマー］にチェックマークを付けて
［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に ON と表示され、インターネットタイマーが有効になります。




補足

- 『アプリケーション制御』画面が表示されている場合は、［インターネットタイマー］ボタンをクリックします。
- インターネットタイマーを無効にしたい場合は、［インターネットタイマー］の チェックマークをはずし
［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に OFF と表示され、インターネットタイマーが無効になります。
- ［利用時間帯］では、曜日ごとにインターネットの利用時間帯を設定できます。
詳しくは【インターネットの利用時間帯を設定する】（P.40）をご覧ください。
- ［制限時間］では、曜日ごとにインターネットの制限時間を設定できます。
詳しくは【インターネットの利用制限時間を設定する】（P.41）をご覧ください。
- ［禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザーを閉じる］にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にウェブブラウザーが閉じるよう設定できます。このとき、複数のウェブブラウザーを起動していると、ウェブブラウザーを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。また、自動的にウェブブラウザーが閉じるため、「タイマー延長申請」、「ブロック解除申請」、「ブロック解除」がご利用いただけなくなります。各機能については【「i-フィルター」のブロックを解除する】（P.82）をご覧ください。
- ［禁止時間帯になる 5分前、および制限時間終了 5分前にメッセージを表示する］にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる 5分前にメッセージが表示されます。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

インターネットの利用時間帯を設定する

曜日ごとにインターネットの利用時間帯を設定することができます。例えば、0~8時、20~24時までは
インターネットの利用を禁止することで、深夜の利用や過剰利用を防げます。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし［インターネットタイマー & アプリケーション制御］ボタンを
クリックします。



3 ［利用時間帯］でインターネットを禁止／許可する時間を設定し、［設定保存］ボタンをクリックします。





- 『アプリケーション制御』画面が表示されている場合は、［インターネットタイマー］ボタンをクリックします。
- ［利用時間帯］で時間帯をクリックまたはドラッグすると、［禁止する時間帯］と［許可する時間帯］の設定が切り替わります。ピンク色が禁止する時間帯、白色が許可する時間帯です。
- 禁止／許可する時間帯は、30分単位で設定できます。
- 禁止／許可する時間帯は、曜日ごとに設定できます。
- インターネットアクセスを遮断する場合は、表のすべてをクリックまたはドラッグしてピンク色にし、禁止設定にします。
- ［制限時間］では、1日にインターネットを使える時間を制限できます。
詳しくは【インターネットの利用制限時間を設定する】（P.41）をご覧ください。
- ［禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザーを閉じる］にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にウェブブラウザーが閉じるよう設定できます。このとき、複数のウェブブラウザーを起動していると、ウェブブラウザーを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。また、自動的にウェブブラウザーが閉じるため「タイマー延長申請」、「ブロック解除申請」、「ブロック解除」がご利用いただけなくなります。各機能については【「i-フィルター」のブロックを解除する】（P.82）をご覧ください。
- ［禁止時間帯になる 5分前、および制限時間終了 5分前にメッセージを表示する］にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる 5分前にメッセージが表示されます。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、そのとき設定操作した利用時間帯は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

インターネットの利用制限時間を設定する

1日にインターネットを使える時間を制限することができます。曜日ごとに設定できるので、平日は 1時間、週末は 3時間まで、といった柔軟な制限時間を設定できます。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし［インターネットタイマー & アプリケーション制御］ボタンをクリックします。



3 ［制限時間］にインターネットを使える時間を設定し、［設定保存］ボタンをクリックします。




補足

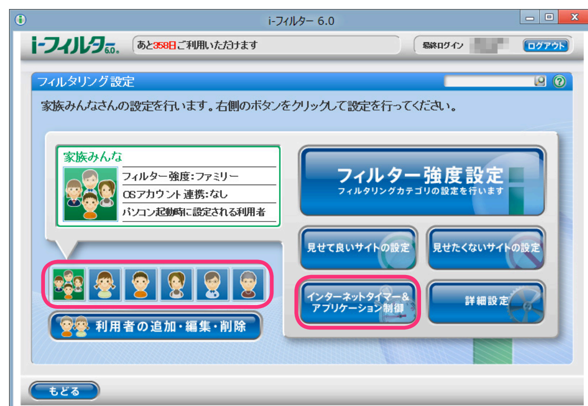
- 『アプリケーション制御』の他の画面が表示されている場合は、［インターネットタイマー］ボタンをクリックします。
- 制限時間の単位は分です。［制限時間］には、数字を入力してください。
- ［制限時間］に「0」を入力すると、インターネットを禁止します。また、［制限時間］を「1440」と入力すると、［制限時間］による制限がされません。（1440分は 24時間です）
- 制限時間のカウントタイミングについては【教えて！「i-フィルター」】の Q25（P.126）をご覧ください。
- ［利用時間帯］では、インターネットの利用時間帯を設定できます。
  詳しくは【インターネットの利用時間帯を設定する】（P.40）をご覧ください。
- ［禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザーを閉じる］にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にウェブブラウザーが閉じるよう設定できます。このとき、複数のウェブブラウザーを起動していると、ウェブブラウザーを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。また、自動的にウェブブラウザーが閉じるため「タイマー延長申請」、「ブロック解除申請」、「ブロック解除」がご利用いただけなくなります。各機能については【「i-フィルター」のブロックを解除する】（P.82）をご覧ください。
- ［禁止時間帯になる 5分前、および制限時間終了 5分前にメッセージを表示する］にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる 5分前にメッセージが表示されます。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、設定操作した制限時間は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）

登録したアプリケーションの利用を制限することができます。この機能を「アプリケーション制御」と呼びます。
アプリケーションの利用を禁止するだけではなくインターネットタイマーと連動することで、オンラインゲームなどのアプリケーションの利用に制限時間を設定することもできます。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

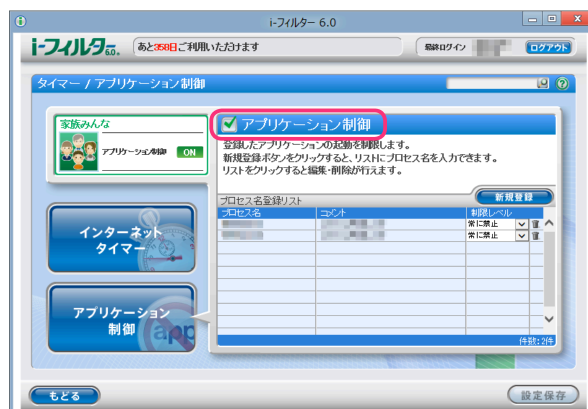
2 『フィルタリング設定』画面で、アプリケーション制御を設定する利用者をクリックし
［インターネットタイマー & アプリケーション制御］ボタンをクリックします。



3 『タイマー / アプリケーション制御』画面が開きます。［アプリケーション制御］ボタンをクリックします。



4 ［アプリケーション制御］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。
画面左上に **ON** と表示され、アプリケーション制御が有効になります。





- アプリケーション制御を無効にしたい場合は、［アプリケーション制御］のチェックマークをはずし［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、アプリケーション制御が無効になります。
- プロセス名登録リストにアプリケーションのプロセス名を登録できます。
詳しくは【起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する】（P.43）をご覧ください。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する

プロセス名リストに起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する手順を説明します。
プロセス名リストには 1件につき全角半角問わず 2文字以上 100文字以下、利用者 1名につき 100件までのアプリケーションのプロセス名を登録できます。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する利用者をクリックし［インターネットタイマー & アプリケーション制御］ボタンをクリックします。



3 『タイマー / アプリケーション制御』画面が開きます。［アプリケーション制御］ボタンをクリックします。



4 ［新規登録］をクリックし、プロセス名リストに起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を入力します。



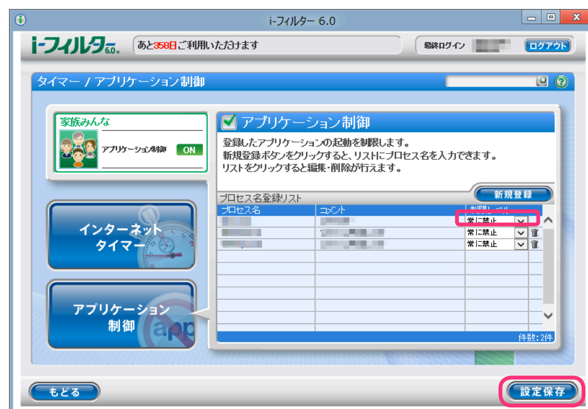

補足

- アプリケーションのプロセス名は、1件につき全角半角問わず 2文字以上 100文字以下で入力してください。
- アプリケーションのプロセス名については【アプリケーションのプロセス名を調べる】（P.44）をご覧ください。
- プロセス名リストには全角半角問わず 32文字以下でコメントを入力することができます。


注意

- アプリケーション制御は登録されたプロセス名に、完全に一致するアプリケーションの起動を禁止します。

5 ［制限レベル］から「常に禁止」または「タイマー連動」を選び、［設定保存］ボタンをクリックします。





- 「常に禁止」は登録したアプリケーションの起動を常に禁止します。
- 「タイマー連動」はインターネットタイマーでインターネットの利用を禁止した時間帯または制限時間を過ぎた場合に登録したアプリケーションの起動を禁止します。インターネットタイマーの詳しい設定方法は【インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）】（P.39）をご覧ください。
- プロセス名リストには、利用者 1名につき 100件までのプロセス名を登録できます。
- プロセス名リストのプロセス名をクリックすると、プロセス名を書き換えることができます。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、追加入力したプロセス名は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ アプリケーションのプロセス名を調べる（Windows 8をお使いの場合）

デスクトップアプリケーション、Windows Store アプリのプロセス名を調べる方法を説明しています。

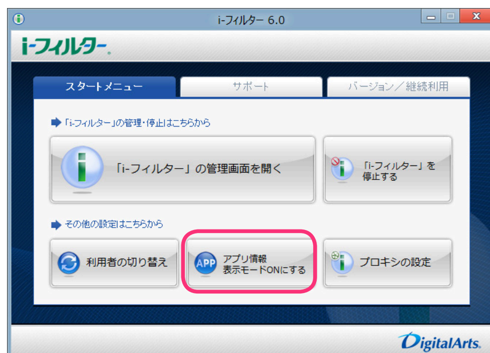
1 マウスポインターを画面右上に合わせチャームを表示し、「スタート」ボタンをクリックします。



2 『スタート』画面から「i-フィルター 6.0」をクリックします。

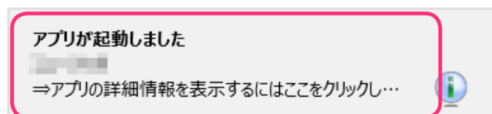


3 「スタートメニュー」タブから［アプリ情報表示モード ON にする］をクリックします。

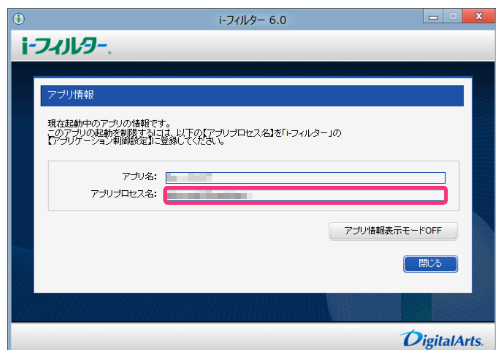


4 起動を禁止したいアプリケーションを起動します。

5 画面右上にメッセージが表示されます。メッセージをクリックします。



6 『アプリ情報』画面が表示されます。表示されたアプリプロセス名を登録してください。




補足

・アプリプロセス名の登録については、【起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する】(P.43) をご覧ください。
・[アプリ情報表示モード OFF]ボタンをクリックすることで、画面右上に表示されるメッセージがアプリケーション起動時に表示されなくなります。
・チャームについて詳しくは【用語集】(P.130) ご参照ください。


注意

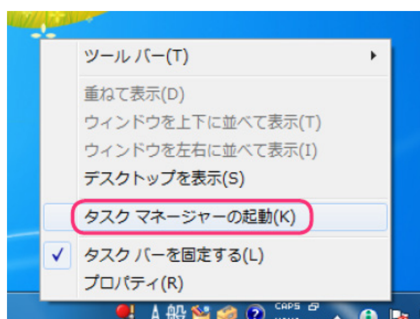
・アプリケーション制御は登録されたプロセス名に完全に一致するアプリケーションの起動を禁止します。

■ アプリケーションのプロセス名を調べる（Windows 7, Vista, XPをお使いの場合）

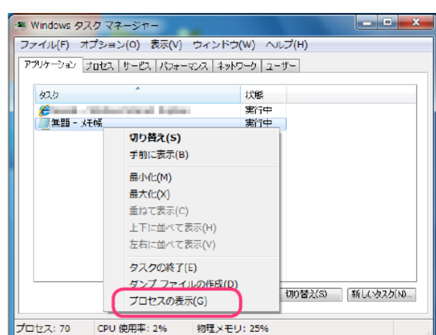
アプリケーションのプロセス名を調べる方法を説明しています。

1 起動を禁止したいアプリケーションを起動します。

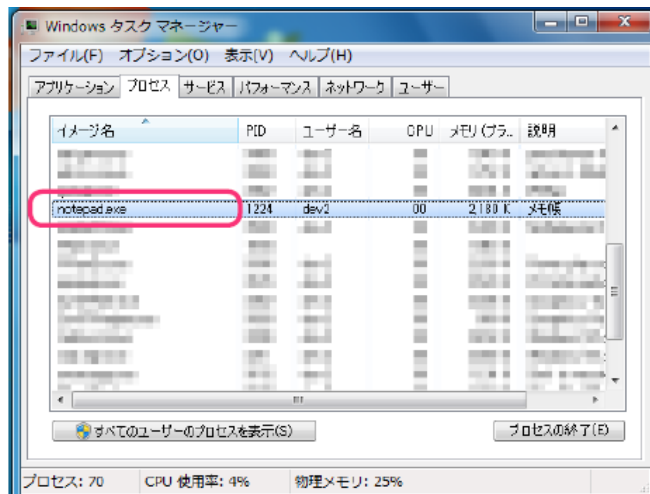
2 Windows のタスクバーを右クリックし、[タスクマネージャーの起動] をクリックします。



3 「アプリケーション」タブのタスク名から、プロセス名リストに登録したいアプリケーションを右クリックし、[プロセスの表示] をクリックします。



4 選択されているプロセスのイメージ名をプロセス名リストに登録してください。





・プロセス名の登録については、【起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を登録する】(P.43) をご覧ください。



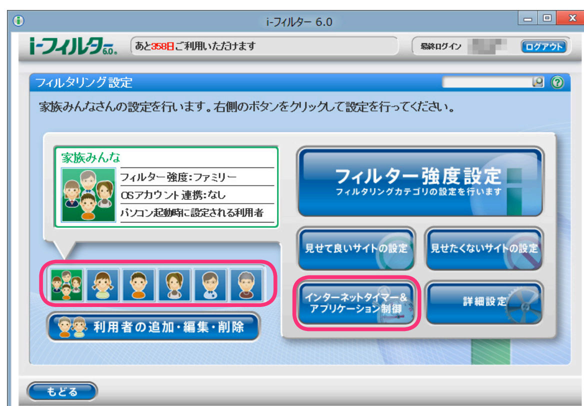
・アプリケーション制御は登録されたプロセス名に完全に一致するアプリケーションの起動を禁止します。

起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を削除する

プロセス名リストから起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を削除する手順を説明します。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

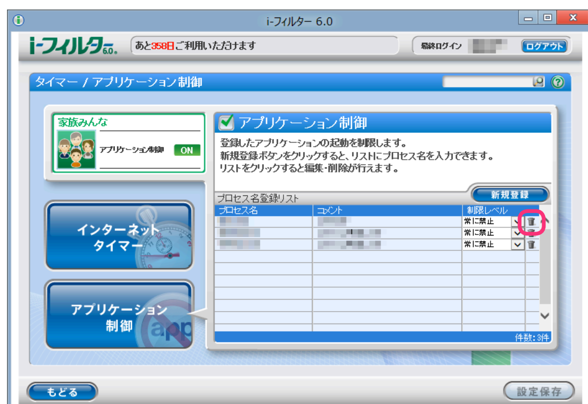
2 『フィルタリング設定』画面で、起動を禁止するアプリケーションのプロセス名を削除する利用者をクリックし［インターネットタイマー & アプリケーション制御］ボタンをクリックします。



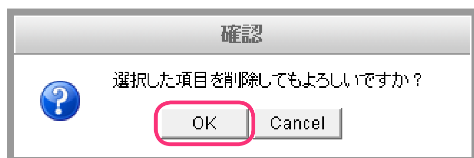
3 『タイマー / アプリケーション制御』画面が開きます。［アプリケーション制御］ボタンをクリックします。



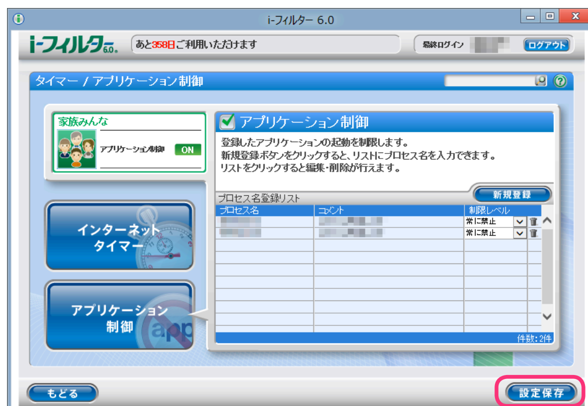
4 プロセス名リストから削除したいプロセス名の 🗑 ボタンをクリックします。



5 以下のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。



6 続けて削除する場合、手順 4、5 を繰り返し、［設定保存］ボタンをクリックします。





- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、削除操作したプロセス名は削除されず保存されたままとなります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

その他のフィルターを設定する（詳細設定）

その他のフィルターの設定方法を説明します。さまざまなケースに対応できるよう、以下のフィルターを用意しています。

- **個人情報を保護する（個人情報保護）**
  登録した氏名やパスワード、クレジットカード番号などを発信しないよう設定できます。
- **ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）**
  ファイルの拡張子を登録して、該当するファイルをダウンロードさせないよう設定できます。
- **見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）**
  ブロックされるサイトを検索結果にも表示させないよう設定できます。
- **見せたくない単語を設定する（単語フィルター）**
  登録した単語を伏字にしたり、単語を含むサイトをブロックするよう設定できます
- **登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）**
  登録したサイトだけにアクセスすることができる、ホワイトリスト機能について設定できます。
- **ブロック画面の設定をする（ブロック画面）**
  サイトがブロックされたときに表示されるブロック画面を選択、設定できます。
  また、「i-フィルター」のブロックを一時的に解除するブロック解除、ブロックされたサイトの閲覧を管理者に申請するブロック解除申請の有効 /無効を設定できます。
- **サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャン）**
  フィルターデータに未登録のサイトを内容から判断し、自動的にブロックするよう設定できます。
- **自主規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）**
  サイトの作成者が自主的に発信している規制信号を元にブロックするよう設定できます。

個人情報を保護する（個人情報保護）

氏名やパスワード、クレジットカード番号などの大切な個人情報等がインターネットから漏洩しないように、個人情報等を登録して、該当する情報を発信しないよう設定できます。個人情報等登録リスト、個人情報保護の有効／無効は、利用者ごとに設定できます。


注意

・個人情報保護機能は、Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。
・個人情報保護機能の対象は送信（POST）データの 32KBytesまでです。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、個人情報を保護する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［個人情報保護］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。
画面左上に ON と表示され、個人情報保護が有効になります。




補足

- 『詳細設定』画面の他の画面が表示されている場合は、［個人情報保護］ボタンをクリックします。
- 個人情報保護を無効にしたい場合は、［個人情報保護］のチェックマークをはずして［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に OFF と表示され、個人情報保護が無効になります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ 保護したい個人情報等を登録する

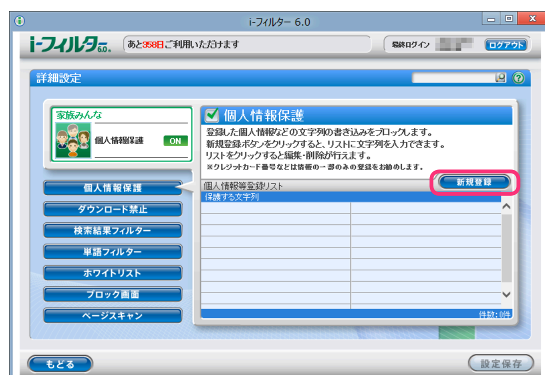
個人情報等登録リストに保護したい情報を登録する手順を説明しています。
個人情報等登録リストには 1件につき全角半角問わず 2文字以上 100文字以下、利用者 1名につき 100件までの個人情報等が登録できます。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、保護したい個人情報等を登録する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



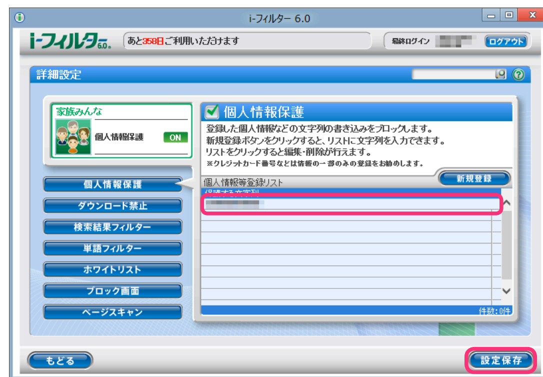
3 『詳細設定』画面が開きます。［新規登録］ボタンをクリックします。




補足

- 『詳細設定』画面の他の画面が表示されている場合は、［個人情報保護］ボタンをクリックします。

4 個人情報等登録リストに保護したい個人情報等を入力し［設定保存］ボタンをクリックします。




補足

- 個人情報等登録リストには全角半角問わず 2文字以上 100文字以下の文字列が入力できます。
- 個人情報等登録リストに入力した文字が短すぎると、意図しないページがブロックされることがあります。
- 個人情報等登録リストにクレジットカード番号を入力する場合は、番号のすべてを入力せず、一部のみを入力することをお勧めします。より安全にクレジットカード番号を管理することができます。

5 続けて登録する場合、手順 3、4 を繰り返します。




補足

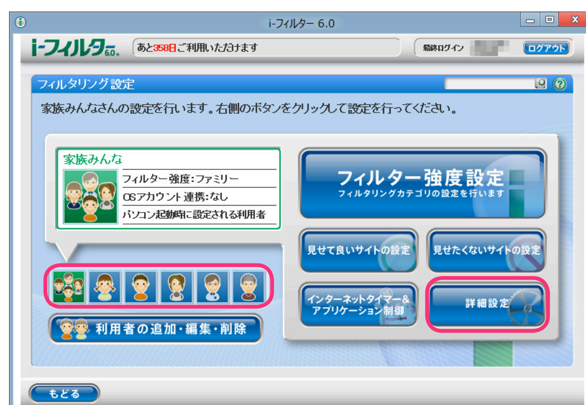
- 個人情報等登録リストには、利用者 1名につき 100件までの個人情報等を登録できます。
- 個人情報等登録リストの個人情報等をクリックすると、個人情報等を書き換えることができます。
- 設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、追加入力した個人情報は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ 保護したい個人情報等を削除する

個人情報等登録リストの個人情報等を削除する手順について説明します。

1 管理画面の『トップページ』画面で ［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、個人情報等を削除したい利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



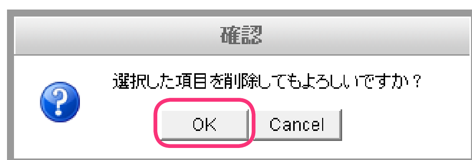
3 『詳細設定』画面が開きます。個人情報等登録リストから削除したい個人情報等の 🗑 ボタンをクリックします。




補足

- 詳細設定でほかのページが表示されている場合は［個人情報保護］ボタンをクリックします。

4 以下のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



5 続けて削除する場合、手順 3、4 を繰り返して［設定保存］ボタンをクリックします。




補足

- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、削除操作した個人情報等は削除されず保存されたままとなります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

ファイルをダウンロードさせない（ダウンロード禁止）

ファイルの拡張子を登録して、該当する拡張子のファイルをダウンロードさせないよう設定できます。
初期設定では、「exe」「msi」「bat」「scr」「zip」「lzh」「rar」が登録されています。この登録を変えなければ、各形式のファイルはダウンロードできません。
拡張子登録リスト、ダウンロード禁止の有効／無効は、利用者ごとに設定できます。



- 「i-フィルター」がダウンロードを禁止できるのは、ウェブブラウザー経由のダウンロードのみです。ダウンロード専用のソフトウェアを使ったダウンロードを禁止することはできません。
- FTPサイトからのダウンロードを禁止することはできません。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

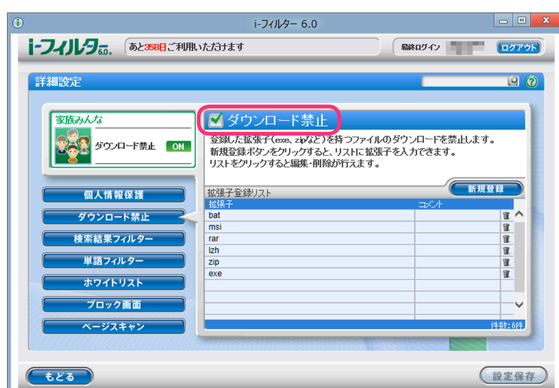
2 『フィルタリング設定』画面で、ダウンロード禁止の設定をする利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［ダウンロード禁止］ボタンをクリックします。



4 ［ダウンロード禁止］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。
画面左上に ON と表示され、ダウンロード禁止が有効になります。





- ダウンロード禁止を無効にしたい場合は、［ダウンロード禁止］のチェックマークをはずし［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に OFF が表示され、ダウンロード禁止が無効になります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』にもどります。

■ ダウンロードを禁止する拡張子を登録する

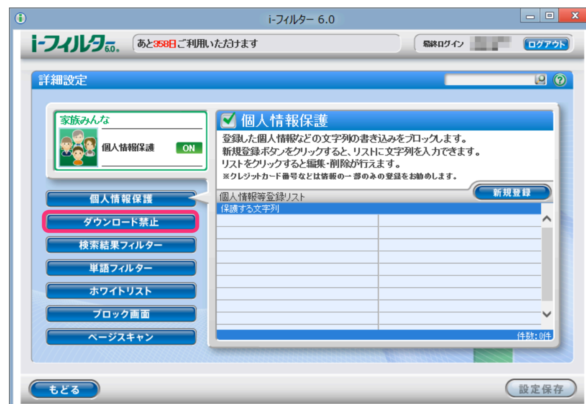
拡張子登録リストにダウンロードを禁止する拡張子を登録する手順を説明しています。
拡張子登録リストには 1件につき半角 3文字以上 100文字以下、利用者 1名につき 100件までの拡張子が登録できます。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、ダウンロードを禁止する拡張子を登録する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［ダウンロード禁止］ボタンをクリックします。



4 ［新規登録］をクリックし、拡張子登録リストにダウンロードを禁止する拡張子を入力し［設定保存］ボタンをクリックします。





- 拡張子の前に付ける「.」（ドット）は不要です。
- 拡張子登録リストには 1件につき半角 3文字以上 100文字以下の拡張子が入力できます。
- ダウンロード禁止に登録した拡張子と部分的に一致する拡張子を持つファイルはすべてダウンロードされません。
  例えば「jpe」と登録すると、.jpe や .jpeg の拡張子を持つファイルはダウンロードされません。
- 拡張子登録リストには全角半角問わず 32文字以下でコメントを入力することができます。

5 必要があれば手順 4 を繰り返します。





- 拡張子登録リストには利用者 1名につき 100件まで登録ができます。
- 拡張子登録リストの拡張子をクリックすると、拡張子を書き換えることができます。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、追加登録した拡張子は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ ダウンロードを禁止する拡張子を削除する

拡張子登録リストから拡張子を削除する手順を説明しています。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、ダウンロード禁止する拡張子を削除する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



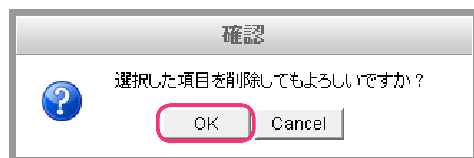
3 『詳細設定』画面が開きます。［ダウンロード禁止］ボタンをクリックします。



4 拡張子登録リストから削除したい拡張子の ボタンをクリックします。



5 以下のメッセージが表示されたら［OK］をクリックします。



6 続けて削除する場合、手順 4、5 を繰り返し、［設定保存］ボタンをクリックします。




補足

- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、削除操作した拡張子は削除されず保存されたままとなります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）

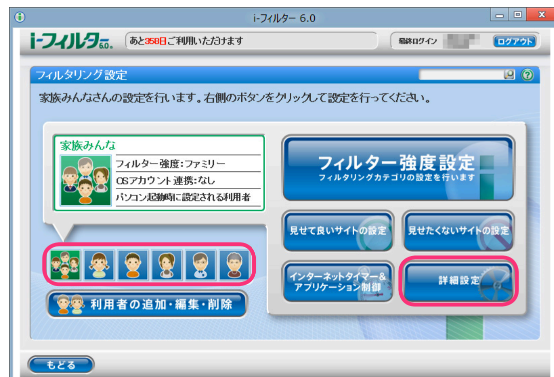
ブロックされるサイトを検索サイトの検索結果一覧にも表示させないよう設定できます。
例えば「アダルト」カテゴリをブロックするよう設定している場合、検索結果にアダルト関連のサイトは表示されません。この機能を「検索結果フィルター」と呼びます。検索結果フィルターの有効／無効は、利用者ごとに設定できます。



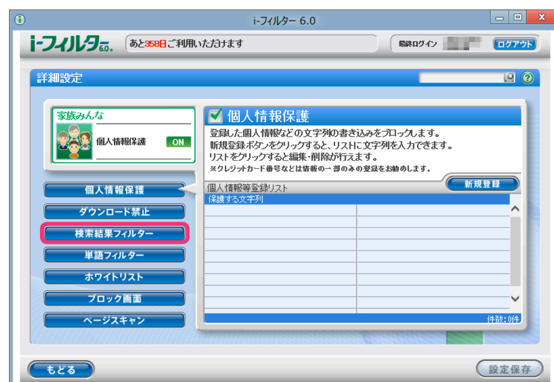
・検索結果フィルターは、Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

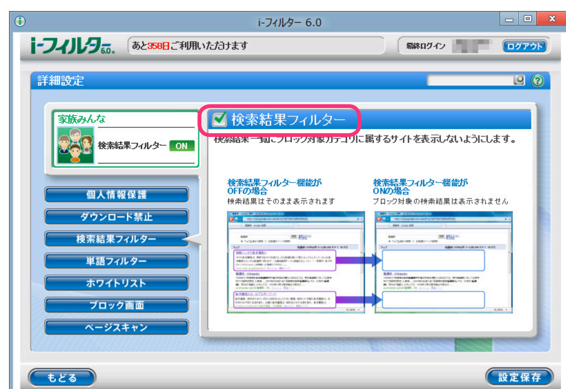
2 『フィルタリング設定』画面で、検索結果フィルターを設定する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［検索結果フィルター］ボタンをクリックします。



4 ［検索結果フィルター］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。
画面左上に ON と表示され、検索結果フィルターが有効になります。





・検索結果フィルター機能を無効にしたい場合は、［検索結果フィルター］のチェックマークをはずして［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に OFF と表示され、検索結果フィルターが無効になります
・［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

禁止単語を設定する（単語フィルター）

登録した単語を「＊＊＊」（伏字）で表示させたり、登録した単語を含むサイトをブロックすることができます。例えば「ヌード」という単語を指定しておくと、「ヌード」という文字が「＊＊＊」に代わって表示されたり、「ヌード」という文字を含むサイトをブロックすることができます。この機能を「単語フィルター」と呼び、登録した単語を禁止単語と呼びます。禁止単語登録リスト、単語フィルターの有効／無効、伏字にする、ブロックにするといった設定は利用者ごとに設定できます。



・単語フィルターは、Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。

■ 禁止単語を含むサイトをブロックする

禁止単語を含むサイトをブロックする手順を説明しています。例えば「ヌード」という単語を禁止単語として登録している場合、「ヌード」という文字を含むサイトがブロックされます。

1 管理画面の『トップページ』画面で［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、禁止単語を含むサイトをブロックに設定する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［単語フィルター］ボタンをクリックします。



4 ［単語フィルター］にチェックマークを付けて［禁止単語を含むページをブロック］を選択し［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に **ON** と表示され、単語フィルターが有効になり、禁止単語がブロックされます。





- 単語フィルター機能を無効にしたい場合は、[単語フィルター］のチェックマークをはずして［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に **OFF** と表示され、単語フィルターが無効になります
- ［禁止単語を伏字で表示］ボタンをクリックすると、禁止単語を「＊＊＊」（伏字）で表示します。詳しくは【禁止単語を伏字にする】（P.58）をご覧ください。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ 禁止単語を伏字にする

禁止単語を「＊＊＊」という伏字で表示させる手順を説明しています。例えば「ヌード」という単語を禁止単語として設定している場合、「ヌード」という文字が「＊＊＊」で表示されます。

1 管理画面の『トップページ』画面で ［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、禁止単語を伏字に設定する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［単語フィルター］ボタンをクリックします。



4 ［単語フィルター］にチェックマークを付けて［禁止単語を伏字で表示］を選択し［設定保存］ボタンを
クリックします。画面左上に ON が表示され、単語フィルターが有効になり禁止単語が伏字になります。




補足

- 単語フィルターを無効にしたい場合は、［単語フィルター］のチェックマークをはずして［設定保存］ボタンをクリックします。 画面左上に OFF が表示され、単語フィルターが無効になります。
- ［禁止単語を含むページをブロック］ボタンをクリックすると、禁止単語を含むサイトをブロックします。詳しくは【禁止単語を含むサイトをブロックする】（P.57）をご覧ください。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。


注意

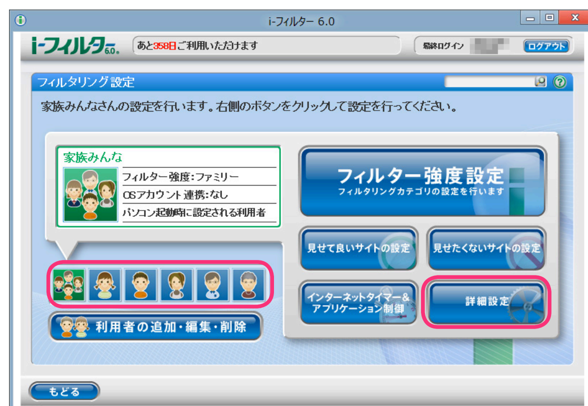
- 短すぎる単語を禁止単語に設定すると、ほとんどのサイトがブロックされることがあります。ご注意ください。
- ひらがなや漢字などの全角文字を登録したとき、ブロック対象となるページの文字コードに制限があります。
  以下の文字コードのみブロックされます。
  日本語（シフト JIS）/ 日本語（EUC）/ Unicode（UTF-8）
- ウェブページから単語を検索するときの検索対象は、ウェブページの先頭から 80KBytesまでの内容です。

■ 禁止単語を登録する

禁止単語登録リストに禁止単語を登録する手順を説明しています。禁止単語登録リストには 1件につき全角半角問わず 2文字以上 100文字以下、利用者 1名につき 100件までの禁止単語が登録できます。

1 管理画面の『トップページ』画面で ［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

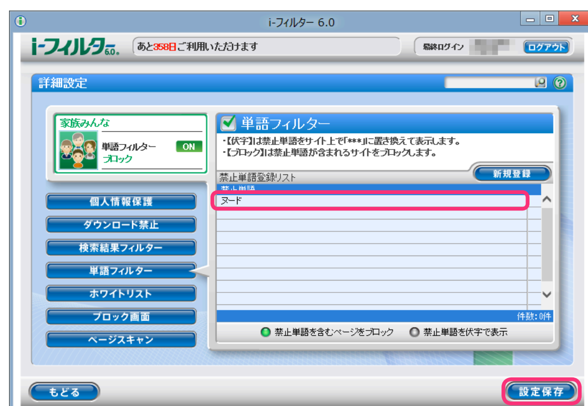
2 『フィルタリング設定』画面で、禁止単語を登録する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［単語フィルター］ボタンをクリックします。



4 ［新規登録］ボタンをクリックし、禁止単語登録リストに禁止単語を入力し［設定保存］ボタンをクリックします。





- 禁止単語登録リストには、全角半角問わず 2文字以上 100文字以下の単語が入力できます。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。
- 禁止単語登録リストの禁止単語をクリックすると、禁止単語を編集することができます。
- 禁止単語登録リストには、利用者 1名につき 100件まで禁止単語を登録できます。
- ［禁止単語を含むページをブロック］を選ぶと、禁止単語を含むサイトをブロックします。
  詳しくは【禁止単語を含むサイトをブロックする】（P.57）をご覧ください。
- ［禁止単語を伏字で表示］を選ぶと単語を伏字で表示します。
  詳しくは【禁止単語を伏字にする】（P.58）をご覧ください。
- ［設定保存］をクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、登録操作した単語は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、フィルタリング設定にもどります。



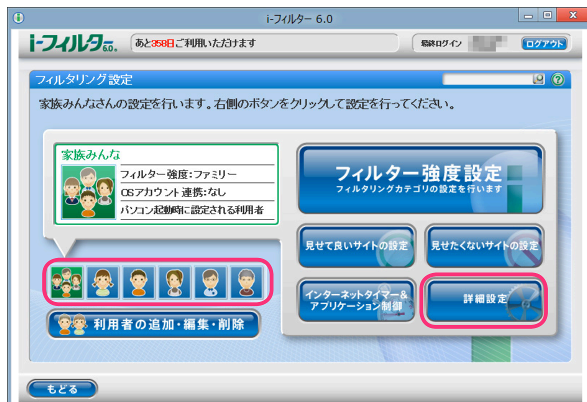
- 短すぎる単語を禁止単語に設定すると、ほとんどのサイトがブロックされることがあります。ご注意ください。
- ひらがなや漢字などの全角文字を登録したとき、ブロック対象となるページの文字コードに制限があります。
  以下の文字コードのみブロックされます。
  日本語（シフト JIS）/日本語（EUC）/ Unicode（UTF-8）
- ウェブページから禁止単語を検索するときの検索対象は、ウェブページの先頭から 80KBytesまでの内容です。

■　禁止単語を削除する

禁止単語登録リストから禁止単語を削除する手順を説明しています。

1　管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2　『フィルタリング設定』画面で、禁止単語を削除する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



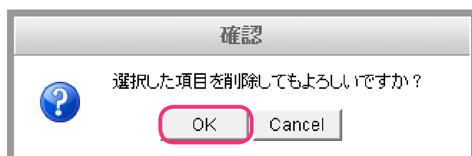
3　『詳細設定』画面が開きます。［単語フィルター］ボタンをクリックします。



4　禁止単語リストから削除したい禁止単語の ボタンをクリックします。



5　以下のメッセージが表示されたら［OK］をクリックします。



6 続けて削除する場合、手順 4、5 を繰り返し［設定保存］ボタンをクリックします。





- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、削除操作した単語は削除されず保存されたままとなります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）

あらかじめ登録したサイトのみを表示できるように制限することができます。この機能を「ホワイトリスト」と呼びます。ホワイトリストを有効にすると、フィルター強度設定、見せて良いサイト、見せたくないサイト、ダウンロード禁止、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルターは無効となり、ホワイトリストに登録されていないサイトはすべてブロックされます。
フィルターの優先順位は、【教えて！「i-フィルター」】の Q21（P.124）をご覧ください。

1 管理画面の『トップページ』画面で ［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

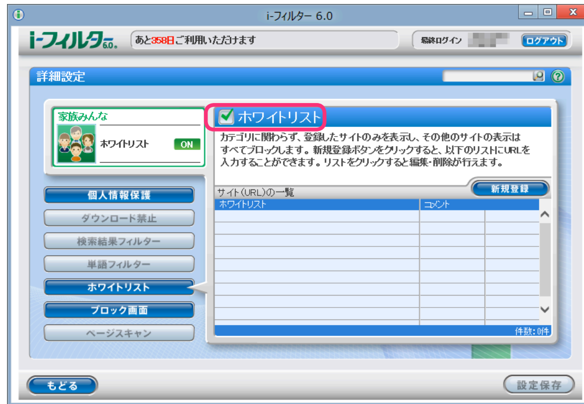
2 『フィルタリング設定』画面で、ホワイトリストの設定をする利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［ホワイトリスト］ボタンをクリックします。



4 ［ホワイトリスト］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に ON と表示され、ホワイトリストが有効になります。





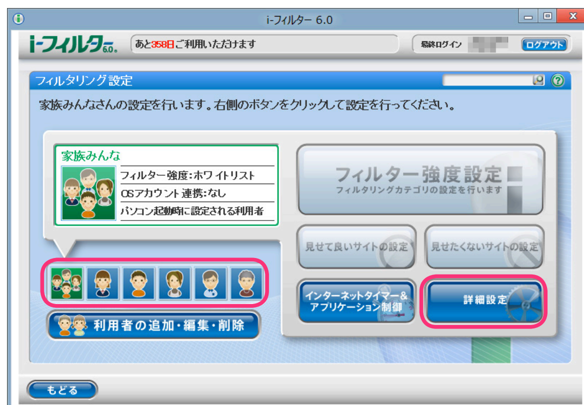
- ホワイトリストを無効にしたい場合は、［ホワイトリスト］のチェックマークをはずし［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に OFF と表示され、ホワイトリストが無効になります。
- ホワイトリストを有効にした場合は、［フィルター強度設定］、［見せて良いサイトの設定］、［見せたくないサイトの設定］、［ダウンロード禁止］、［検索結果フィルター］、［単語フィルター］、［ページスキャン］の各ボタンがグレーで表示され、操作ができなくなります。
- サイト（URL）登録リストに表示を許可するサイトの URLを登録できます。
  詳しくは【ホワイトリストを登録する】（P.63）をご覧ください。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ ホワイトリストを登録する

サイト（URL）登録リストに URLを登録する手順を説明しています。サイト（URL）登録リストは、1件につき半角英数記号 4文字以上 500文字以下、利用者 1名につき 100件までの URLが登録できます。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、ホワイトリストに URL を登録する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［ホワイトリスト］ボタンをクリックします。



4 ［新規登録］ボタンをクリックし、サイト（URL）登録リストに URL を入力し［設定保存］ボタンをクリックします。




注意

- ホワイトリストに登録した URLと部分的に一致する URLを持つサイトはすべて表示されます。
  例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や https://www.daj.co.jp といったサイトは表示されます。
- ホワイトリストとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されます。これはすべてのサイトの URLで「http」を含むためです。
- 「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URLのホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。


補足

- サイト（URL）登録リストには、半角英数記号 4文字以上 500文字以下の URLを登録できます。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。
- サイト（URL）登録リストには、全角半角問わず 32文字以下でコメントを入力することができます。

5 続けて登録する場合、手順 4 を繰り返します。




補足

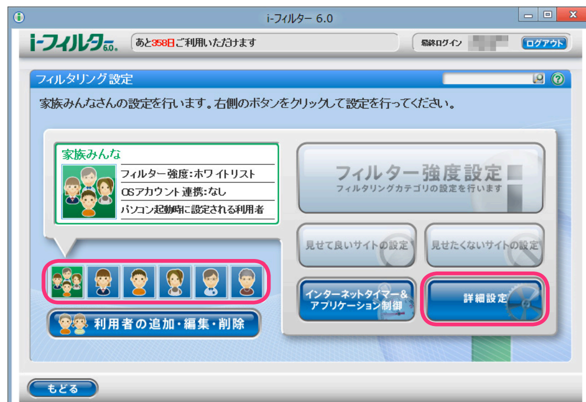
- 利用者 1名につき 100件までの URLをサイト（URL）登録リストに登録できます。
- サイト（URL）登録リストの URLをクリックすると、URLを書き換えることができます。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、追加入力した URLは保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ ホワイトリストを削除する

サイト（URL）登録リストから URLを削除する手順を説明しています。

1 管理画面の『トップページ』画面で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

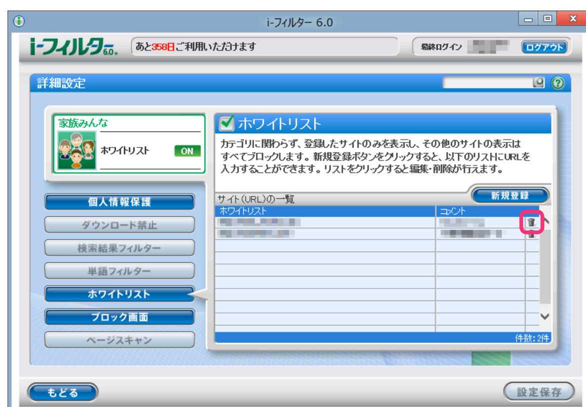
2 『フィルタリング設定』画面で、URL を削除する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



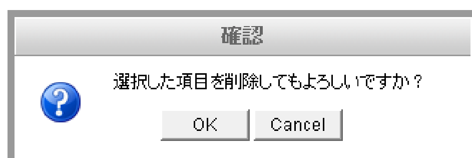
3 『詳細履歴』画面が開きます。［ホワイトリスト］ボタンをクリックします。



4 サイト（URL）登録リストから削除したい URL の 🗑 ボタンをクリックします。



5 以下のメッセージが表示されたら［OK］をクリックします。



6 必要があれば手順 4、5 を繰り返し［設定保存］ボタンをクリックします。





- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、削除操作した URLは削除されず保存されたままとなります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

ブロック画面の設定をする（ブロック画面）

ウェブサイトがブロックされたとき、ウェブブラウザーにはブロック画面が表示されます。
ブロック画面の種類は以下のとおりです。利用者ごとにお好みのブロック画面を設定することができます。
ブロック画面はオリジナルで作成することもできます。また、ブロックを一時的に解除するブロック解除、管理者にブロックされたサイトの閲覧申請をするブロック解除申請機能の有効／無効の設定をすることもできます。

標準ブロック画面

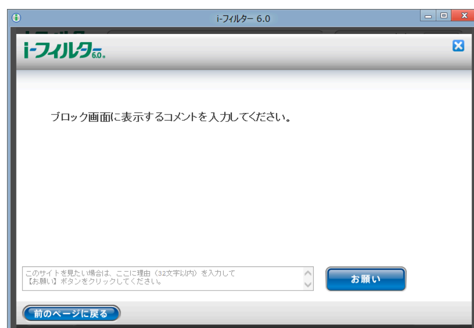
「i-フィルター」標準のブロック画面です。ブロックの理由を表示、ブロック解除、ブロック解除申請を有効 /無効にする設定ができます。



標準ブロック画面

カスタムブロック画面

ブロック画面のカスタマイズができます。ブロック画面に表示される文字を自由に設定できます。ブロック解除、ブロック解除申請を有効 /無効にする設定ができます。



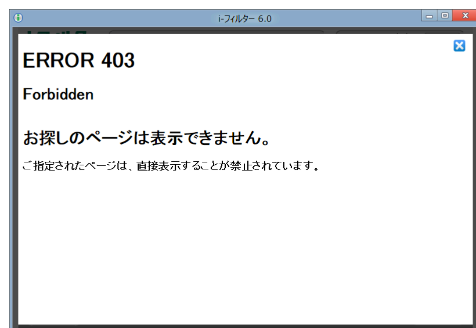
カスタムブロック画面



- お使いのウェブブラウザーによっては画像が正しく表示されないことがあります。

「アクセス禁止」画面

エラーコード 403の「Forbidden　お探しのページは表示できません。」画面が表示されます。
一般的には、サーバーが「読み出し禁止」にしているコンテンツを読み込もうとしたときに表示される画面です。
ブロック解除、ブロック解除申請は設定できません。



■ ブロック画面を選択する

ウェブサイトがブロックされたときに表示されるブロック画面を選択する手順を説明しています。

1 管理画面の『トップページ』で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、ブロック画面を選択する利用者をクリックし［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［ブロック画面］ボタンをクリックします。



4 ［ブロック画面］でお好みのブロック画面をクリックし、［設定保存］ボタンをクリックします。





- ［プレビュー］ボタンをクリックすると、選択しているブロック画面が画表示されます。
- ブロック画面は以下より選べます。【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】(P.66）を参考にしてください。
  標準ブロック画面 /カスタムブロック画面 /「アクセス禁止」画面
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、設定操作したブロック画面は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

■ 表示されるブロック画面を設定する

ウェブサイトがブロックされたときに表示されるブロック画面を設定する手順を説明しています。

1 管理画面の『トップページ』で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

2 『フィルタリング設定』画面で、表示されるブロック画面を設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が表示されます。［ブロック画面］ボタンをクリックします。



4 表示される標準ブロック画面またはカスタムブロック画面の設定をします。



設定項目	設定内容
表示内容の設定 （カスタムブロック画面のみ有効）	ブロック画面に表示されるコメントをオリジナルのものに変えることができます。 ※［コメント］は全角半角問わず 450 文字以下で入力してください。
ブロックした理由を表示する （標準ブロック画面のみ有効）	チェックマークを付けると、ブロックした理由がブロック画面に表示されます。 （例：カテゴリ：インターネット禁止時間）
ブロック解除申請を有効にする （標準ブロック画面、カスタムブロック画面のみ有効）	チェックマークを付けると、ブロック画面に［お願い］ボタンが表示されます。 ブロック画面が表示された際に、利用者が［お願い］ボタンをクリックすると、管理者にブロック解除申請を送信することができます。 ブロック解除申請が許可されることで、利用者は申請したブロックされるサイトを閲覧することができるようになります。 詳しくは【「i-フィルター」のブロックを解除する】（P.82）をご覧ください。
ブロック解除機能を有効にする （標準ブロック画面、カスタムブロック画面のみ有効）	チェックマークを付けると、ブロック画面に［ブロック解除］ボタンが表示されます。 利用者が管理パスワードを入力し、［ブロック解除］ボタンをクリックすると、3 分間フィルタリングがかならなくなり、すべてのウェブサイトを見ることができます。 個人情報保護によってブロックされたページをブロック解除することはできません。 詳しくは【管理者がブロックを解除する（一時的なブロック解除機能）】（P.82）をご覧ください。

5 ［設定保存］ボタンをクリックします。





- 表示されるブロック画面の設定を変えるには、手順 4を操作しなおしてください。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、設定操作したブロック画面は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャン）

データベースに未登録のサイトを内容から判断し、自動的にブロックするよう設定できます。この機能を「ページスキャン」と呼びます。利用者ごとにページスキャンを適用するかどうかを設定できます。



・ページスキャンは、Internet Explorerのみ HTTPS（SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル）に対応しております。

1 管理画面の『トップページ』で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

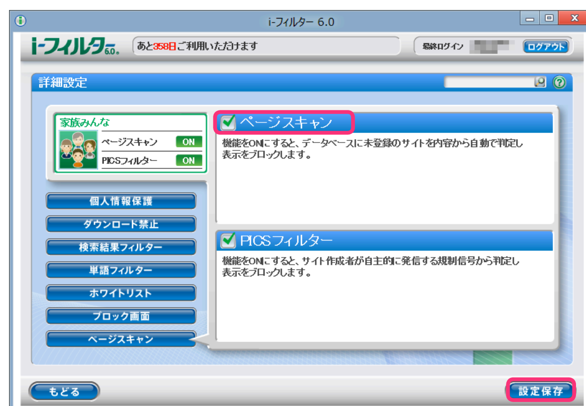
2 『フィルタリング設定』画面で、ページスキャンを設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［ページスキャン］ボタンをクリックします。



4 ［ページスキャン］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。
画面左上に ON と表示され、ページスキャンが有効になります。





- ページスキャンを無効にしたい場合は、［ページスキャン］のチェックマークをはずして［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に OFF と表示され、ページスキャンが無効になります。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

自主規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）

サイトを作る人・企業は、自主的にPICSラベルという規制信号を自分のサイトに付加することができます。
「i-フィルター」はアクセス先のサイトのPICSラベルが付いているかどうかを判断してブロックすることができます。
PICSフィルターはヌード・セックス・暴力・言葉のカテゴリでブロックする設定になっているサイトに適用されます。
カテゴリごとのブロック設定について、詳しくは【フィルターの強度を設定する】（P.27）をご覧ください



- PICSフィルターはInternet ExplorerのみHTTPS（SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル）に対応しております。

1 管理画面の『トップページ』で、［フィルタリング設定］ボタンをクリックします。

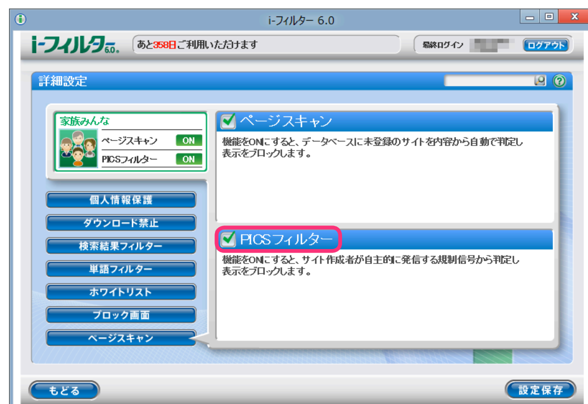
2 『フィルタリング設定』画面で、PICS フィルターを設定する利用者をクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。



3 『詳細設定』画面が開きます。［ページスキャン］ボタンをクリックします。



4 ［PICS フィルター］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。
画面左上に ON と表示され、PICS フィルターが有効になります。





- PICSフィルターを無効にしたい場合は、［PICSフィルター］のチェックマークをはずして［設定保存］ボタンをクリックします。画面左上に OFF と表示され、PICSフィルターが無効になります。
- ［設定保存］ボタンをクリックせずに［もどる］ボタンをクリックすると、操作した設定は保存されません。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『フィルタリング設定』画面にもどります。

3

フィルターを設定しよう

4 インターネット利用状況を知ろう

すべての利用者のインターネットアクセス履歴を見られます。アクセス数の多いサイト、サイトのカテゴリ、検索単語のランキングなどが一目でわかります。アクセス履歴から URLを選んでフィルターに追加することもできます。



・「インターネット利用状況確認」の機能をご利用いただくには、Adobe Flash Playerが必要です。
最新の Flash Playerはアドビシステムズ社のウェブサイトより、無料でダウンロードすることができます。
・ウェブブラウザーから管理画面を開いた場合、直近 90日の履歴を閲覧できます。
・「i-フィルター」から管理画面を開いた場合、直近 365日の履歴を閲覧できます。
・管理画面の開き方については【「i-フィルター」を使う】(P.10) をご覧ください。

どんな割合でサイトを見たかを知る（利用状況）

アクセスしたサイトとブロックされたサイトの割合を知ることができます。また、アクセスしたサイトのカテゴリの割合、ブロックされたサイトのカテゴリの割合をグラフから知ることができます。各履歴の集計は利用者ごとに表示することができます。

1 設定画面の『トップページ』画面で［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。



2 『インターネット利用状況確認』画面が開きます。利用状況を確認したい利用者と集計期間を選びます。





- 『インターネット利用状況確認』のほかの画面が表示されている場合は、［利用状況］ボタンをクリックしてください。
- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴が利用状況の表示対象となります。
- 集計期間は、日別 /月別のいずれかを選べます。
- 日別では 7日間、月別ではウェブブラウザーの管理画面からは直近 90日、「i-フィルター」の管理画面からは直近 365日の利用状況が表示されます。

3 詳細な利用状況を見たい日付または月の棒グラフをクリックします。





- 棒グラフをクリックすることで、1日または 1ヶ月ごとの詳細なカテゴリ割合を見ることができます。
- ［カレンダー］ボタンをクリックすると、利用状況を表示する日付 /月を選ぶことができます。
- カテゴリの内容については【フィルターのカテゴリ一覧】(P.128) をご覧ください。

1 日の履歴が表示されます。円グラフまたは［閲覧許可 / ブロック数割合］をクリックすることで、詳細なカテゴリごとの割合が表示されます。さらに日別では閲覧頻度の高いサイトの URL も表示されます。





- ［前日］ボタンをクリックすると表示している日の前日のグラフを、［前月］ボタンをクリックすると表示している月の前月のグラフを表示します。
- ［翌日］ボタンをクリックすると表示している日の翌日のグラフを、［翌月］ボタンをクリックすると表示している月の翌月のグラフを表示します。
- ［利用状況トップへ戻る］ボタンをクリックすると、利用状況のトップ画面にもどります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると『トップページ』画面にもどります。

ブロックされたサイトを知る（ブロック履歴）

アクセスしようとしてブロックされたサイトを見ることができます。日別にブロックされたサイトを表示できます。

1 設定画面の『トップページ』画面で［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 『インターネット利用状況確認』の画面が開きます。［ブロック履歴］ボタンをクリックします。



3 履歴を表示したい利用者を選びます。



ブロックされたサイト（URL）の履歴が表示されます。

ブロック理由	ブロックされたサイト（URL）のブロック理由を表示します。
利用者名	ブロックされたサイト（URL）にアクセスした「i- フィルター」の利用者を表示します。
ブロックされた URL	ブロックされたサイトの URL を表示します。 クリックするとウェブブラウザーが開き、ブロックされたサイト（URL）を確認できます。



- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセスがブロック履歴の表示対象となります。
- ［ブロック理由］、［利用者名］、［ブロックされた URL］をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- ［カレンダー］ボタンをクリックすると、ブロック履歴を表示する日付を選ぶことができます。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

ブロックされたアプリケーションを知る（アプリケーション制御履歴）

利用しようとして禁止されたアプリケーションを見ることができます。日別に禁止されたアプリケーションの履歴を表示します。

1 設定画面の『トップページ』画面で［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 『インターネット利用状況確認』画面が開きます。［アプリケーション制御履歴］ボタンをクリックします。



3 履歴を表示したい利用者を選びます。



起動およびブロックされたアプリケーションの履歴を日別で表示します。

ブロック発生時刻	起動およびブロックの発生した時刻を表示します。
利用者名	起動およびブロックされたアプリケーションの利用者を表示します。
プロセス名	起動およびブロックされたアプリケーションのプロセス名を表示します。
制限レベル	起動およびブロックされたアプリケーションの制限レベルを表示します。
動作	アプリケーションの動作を「起動」または「終了」で表示します。



- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴がアプリケーションブロック履歴の表示対象となります。
- ［ブロック発生時刻］、［プロセス名］、［制限レベル］、［動作］をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- ［カレンダー］ボタンをクリックすると、アプリケーション履歴を表示する日付を選ぶことができます。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

検索に使用した単語のランキングを知る（検索単語ランキング）

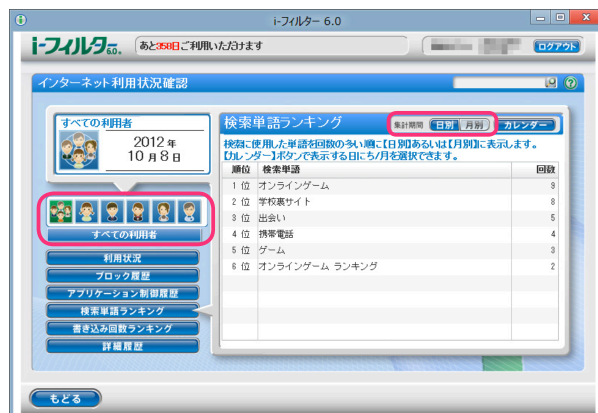
インターネット検索サイトで検索に使用した単語を、日別 /月別の検索回数のランキングで表示します。
ランキングは利用者ごとに、表示することもできます。

1 設定画面の『トップページ』画面で［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 『インターネット利用状況確認』画面が開きます。［検索単語ランキング］ボタンをクリックします。



3 ランキングを表示したい利用者と集計期間を選びます。



検索に使用した単語を検索回数が多い順にランキングで表示します。

順位	検索に使用した単語の順位を表示します。
検索単語	検索に使用した単語を表示します。
回数	検索に使用した回数を表示します。



- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴が検索単語ランキングの表示対象となります。
- 集計期間は日別 /月別のいずれかを選べます。
- ［順位］、［検索単語］、［回数］をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- ランキングは検索に使用した回数が多い単語を 100件まで表示します。
- ［カレンダー］ボタンをクリックすると、ランキングを表示する日付 /月を選ぶことができます。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

よく利用するコミュニティサイトのランキングを知る（書き込み回数ランキング）

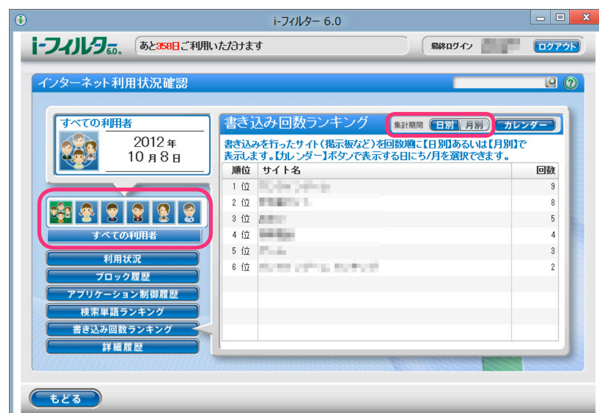
掲示板やブログ、SNSなどのコミュニティサイトでどれだけ情報を発信したかを、日別 /月別の書き込み回数のランキングで表示します。ランキングは利用者ごとに表示することもできます。

1 設定画面の『トップページ』画面で［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 『インターネット利用状況確認』画面が開きます。［書き込み回数ランキング］ボタンをクリックします。



3 ランキングを表示したい利用者と集計期間を選びます。



書き込み数の多いサイト（URL）と書き込み回数がランキングで表示されます。

順位	書き込み数の多いサイト（URL）の順位を表示します。
サイト名	書き込み数の多いサイト（URL）を表示します。
回数	書き込み数を表示します。


補足

- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴が書き込み回数ランキングの表示対象となります。
- 集計期間は日別 /月別のいずれかを選べます。
- ［順位］、［サイト名］、［回数］をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- ランキングは書き込み回数が多いサイト（URL）を 100件まで表示します。
- ［カレンダー］ボタンをクリックすると、ランキングを表示する日付 /月を選ぶことができます。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

利用状況を詳しく知る（詳細履歴）

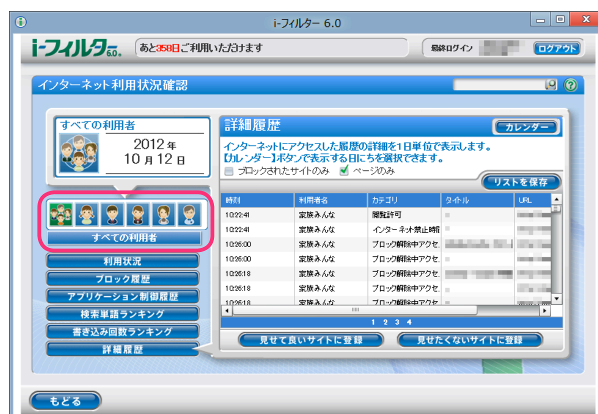
利用者ごとの利用状況を詳しく表示することができます。さらに表示された URLを見せて良いサイト、見せたくないサイトに登録したり、詳細履歴をファイルに保存することもできます。

1 設定画面の『トップページ』画面で［インターネット利用状況確認］ボタンをクリックします。

2 『インターネット利用状況確認』画面が開きます。［詳細履歴］ボタンをクリックします。



3 履歴を表示したい利用者を選びます。



表示される履歴の意味は以下のとおりです。

時刻	アクセスした時刻が表示されます。
利用者名	利用者名が表示されます。
カテゴリ	アクセスした結果が表示されます。
タイトル	アクセスしたウェブサイトのタイトルが表示されます。
URL	アクセスした URL が表示されます。



- ［すべての利用者］を選ぶと、すべての利用者のアクセス履歴が詳細履歴の表示対象となります。
- ［ブロックのみ］にチェックマークを付けると、ブロックされたサイトのみの詳しい履歴が表示されます。
- ［ページのみ］にチェックマークを付けると、画像ファイル、音楽ファイル、スタイルシート、スクリプトファイルを除いたウェブページのみの詳しい履歴が表示されます。
- ［時刻］、［利用者名］、［カテゴリ］、［タイトル］、［URL］をクリックすると、クリックした項目で並べ替えることができます。
- ［カレンダー］ボタンをクリックすると、詳細履歴を表示したい日付を選ぶことができます。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

詳細履歴から URLを見せて良いサイトに登録する

詳細履歴に表示された URLを「見せて良いサイト」(URL)登録リストに登録することができます。

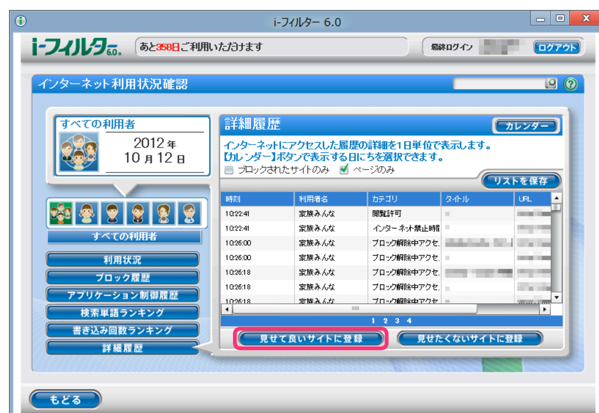
1 「見せて良いサイト」(URL)登録リストに登録したい URLを選びます。





- URLをクリックすると選択状態になります。
- URLを複数クリックすることで、一度に複数の URLを登録することができます。
- 選択状態の URLをクリックすることで選択を解除できます。

2 [見せて良いサイトに登録] ボタンをクリックします。



3 **確認のメッセージが表示されます。見せて良いサイト(URL)であることを確認し [OK] ボタンをクリックします。**
URLが「見せて良いサイト」(URL)登録リストに登録されます。



- 「見せて良いサイト」(URL)登録リストに登録された URLを削除する方法については【見せて良いサイトの URLを削除する】(P.33)をご覧ください。

詳細履歴から URLを見せたくないサイトに登録する

詳細履歴に表示された URLを「見せたくないサイト」(URL) 登録リストに登録することができます。

1 「見せたくないサイト」(URL) 登録リストに登録したい URLを選びます。





- URLをクリックすると選択状態になります。
- URLを複数クリックすることで、一度に複数の URLを登録することができます。
- 選択状態の URLをクリックすることで選択を解除できます。

2 ［見せたくないサイトに登録］ボタンをクリックします。



3 **確認のメッセージが表示されます。見せたくないサイト（URL）であることを確認し［OK］ボタンをクリックします。**
URLが「見せたくないサイト」(URL) 登録リストに登録されます。



- 「見せたくないサイト」(URL) 登録リストに登録された URLを削除する方法については【見せたくないサイトの URLを削除する】(P.37) をご覧ください。

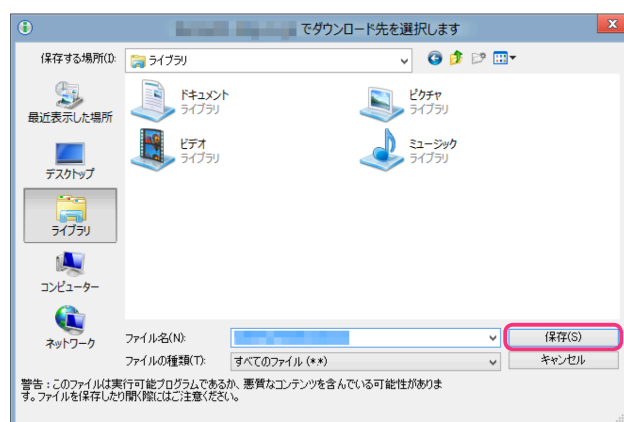
詳細履歴を CSV形式で保存する

表示された詳細履歴の内容を CSV形式のファイルで保存することができます。CSV形式とは、テキストデータをカンマ（,）で区切ったファイルの形式です。テキストエディタや表計算ソフトなどで閲覧・編集することができます。

1 ［リストを保存］ボタンをクリックします。



2 保存する場所を選び、［保存］ボタンをクリックします。





- ファイル名を変えない場合は、「if6_LogReport_yyyymmdd.csv」というファイル名で保存されます。
  yyyy は「年」（西暦 2010など）、mm は「月」（01～ 12）、dd は「日」（01～ 31）で設定されており、保存する日の日付が入ります。

詳しい履歴が CSV形式のファイルで保存されます。

5「i-フィルター」のブロックを解除する

一時的なブロック解除機能を有効にすることで、「i-フィルター」によるブロックを一時的に解除することができます。またブロック解除申請を有効にすることで、利用者はブロック画面が表示された際に管理者にブロック解除の申請をすることができます。管理者が閲覧を許可することで、利用者は申請したサイトを閲覧することができるようになります。

管理者がブロックを解除する（一時的なブロック解除機能）

「i-フィルター」によるブロックを一時的に解除することができます。解除されている間はすべてのサイトが閲覧可能な状態になります。一時的なブロック解除機能を有効にする方法は【表示されるブロック画面を設定する】（P.68）をご覧ください。


注意

- 一時的なブロック解除機能には管理パスワードが必要です。
- インターネットタイマーの設定で［禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザーを閉じる］にチェックマークを付けている場合、インターネットタイマーによるブロックでは、ウェブブラウザーが閉じるため、「ブロック解除機能」がご利用いただけなくなります。
インターネットタイマーの設定について、詳しくは【インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）】（P.39）をご覧ください。
- 個人情報保護でブロックされた場合、ブロック解除はできません。

1 「i-フィルター」のブロック画面が表示されます。



2 管理パスワードを入力し、［ブロック解除］ボタンをクリックします。




補足

- ブロック解除は3分間有効です。
- ブロック解除の状態では「i-フィルター」によるブロックはかかりません。

ブロックされたサイトの閲覧許可を申請する（ブロック解除申請）

インターネットタイマーやカテゴリによるブロックで閲覧することができないときに、利用者は管理者にブロック解除申請を送信することができます。ブロック解除申請メールはお客さま情報に登録されたE-Mailアドレスまたはメール通知で設定された E-Mailアドレスに送信されます。
メール通知の設定については【メール通知の設定をする】（P.94）をご覧ください。
ブロック解除申請を有効にする方法は【表示されるブロック画面を設定する】（P .68）をご覧ください。


注意

・インターネットタイマーの設定で［禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザーを閉じる］にチェックマークを付けている場合、インターネットタイマーによるブロックでは、ウェブブラウザーが閉じるため、「ブロック解除申請」はご利用いただけなくなります。
インターネットタイマーの設定について、詳しくは【インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）】（P.39）をご覧ください。

1　「i-フィルター」のブロック画面が表示されます。



2　［お願い］ボタンをクリックします。




補足

- ［このサイトが見たい場合は、ここに理由（32文字以内）を入力して【お願い】ボタンをクリックしてください］の欄にコメントを入力することで、申請にコメントを付けて送信することができます。
- ブロック解除申請は利用者 1人につき、1日に最大 10回まで行うことができます。
- ブロック解除申請の有効期間は 24時間です。24時間を過ぎた申請は無効になります。
- ブロック理由がインターネット禁止時間の場合、タイマー延長申請が送信されます。
- ブロック解除申請はお客さま情報に登録された E-Mailアドレスまたはメール通知で設定された E-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【メール通知の設定をする】（P.94）をご覧ください。
- ［前のページに戻る］ボタンをクリックすると 1つ前のページにもどります。

インターネットタイマーを延長する（タイマー延長）

タイマー延長申請に対して、インターネットタイマーの時間帯、制限時間の延長を許可する操作を説明します。
タイマー延長申請について、詳しくは【ブロックされたサイトの閲覧許可を申請する（ブロック解除申請）】（P.83）をご覧ください。

1 管理画面を開きます。



- ブロック解除申請はお客さま情報に登録された E-Mailアドレスまたはメール通知で設定された E-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【メール通知の設定をする】（P.94）をご覧ください。

2 管理画面の『トップページ』画面で［タイマー延長 ブロック解除］ボタンをクリックします。





- タイマー延長、ブロック解除申請が送信されると、『トップページ』画面の［タイマー延長 ブロック解除］ボタンに「申請がきました。確認してください。」と表示されます。

3 『インターネットタイマー延長申請』画面が開きます。利用者をクリックし、延長する時間をスライダーを動かして設定し、［タイマー延長する］ボタンをクリックします。

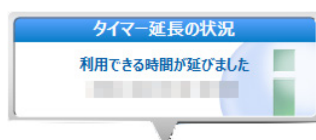


申請者からのメッセージ	タイマー延長申請時に入力されたメッセージを表示します。
申請時刻	タイマー延長申請が送信された時刻を表示します。
申請者が本日インターネットを利用した時間	申請者が本日インターネットを利用した時間を表示します。 申請時刻により利用時間は多少前後することがあります。
インターネットタイマー延長	タイマーを延長する時間をスライダーを動かして選びます。



- 『ブロック解除申請』画面が表示されている場合は、［タイマー延長］ボタンをクリックします。
- タイマー延長申請は申請した当日のみ有効です。
- タイマー延長申請を許可しない場合は、［許可しない］ボタンをクリックします。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

4 延長された時刻が表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。
申請が処理されると「i-フィルター」からポップアップでメッセージが表示されます。



ブロック解除申請をされたサイトの閲覧を許可する

ブロック解除申請を受け取った管理者は、管理画面またはメールに記載された URLからブロック解除を許可する設定を行うことができます。許可された URLは「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録され、閲覧が可能になります。

ブロック解除申請メールからサイトの閲覧を許可する

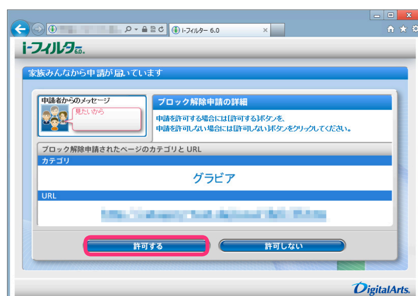
ブロック解除申請のメールからサイトの閲覧を許可する方法を説明しています。

1 ブロック解除申請メール本文の URL にアクセスします。



- ブロック解除申請はお客さま情報に登録された E-Mailアドレスまたはメール通知で設定された E-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【メール通知の設定をする】（P.94）をご覧ください。

2 サイトの閲覧を許可する場合は［許可する］をクリックします。



申請者からのメッセージ	ブロック解除申請時に申請者が入力したメッセージを表示します。
カテゴリ	ブロック解除申請がされているサイト（URL）のカテゴリを表示します。
URL	ブロック解除申請がされているサイト（URL）を表示します。 URL をクリックすると、申請されているサイト（URL）が開きます。



- 閲覧を許可しない場合は［許可しない］をクリックします。
- 閲覧を許可されたサイト（URL）は、ブロック解除申請をした利用者の「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録されます。

管理画面からサイトの閲覧を許可する

ブロック解除申請を受けて管理画面からサイトの閲覧を許可する方法を説明しています。

1 管理画面を開きます。



- ブロック解除申請はお客さま情報に登録された E-Mailアドレスまたはメール通知で設定された E-Mailアドレスに送信されます。メール通知の設定については【メール通知の設定をする】（P.94）をご覧ください。

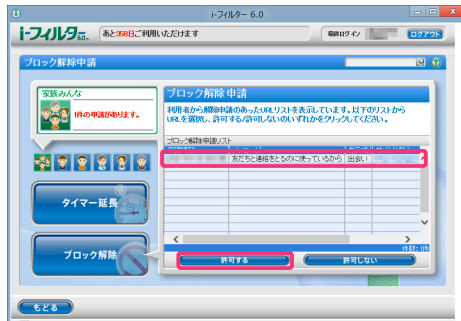
2 管理画面の『トップページ』画面で［タイマー延長 ブロック解除］ボタンをクリックします。





- タイマー延長、ブロック解除申請が送信されていると、『トップページ』画面の［タイマー延長 ブロック解除］ボタンに「申請がきました。確認してください。」と表示されます。

3 『ブロック解除申請』画面が開きます。利用者と閲覧を許可する申請を選択し［許可する］ボタンをクリックします。

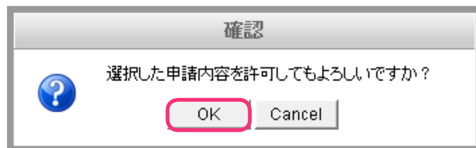


申請時刻	ブロック解除申請が送信された時刻が表示されます。
メッセージ	ブロック解除申請時に申請者が入力したメッセージを表示します。
カテゴリ	ブロック解除申請がされているサイト（URL）のカテゴリを表示します。
サイト（URL）	ブロック解除申請をされているサイト（URL）を表示します。 URLをクリックすると、ウェブブラウザーで申請されているサイト（URL）が開きます。



- 閲覧を許可しない場合は［許可しない］ボタンをクリックします。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

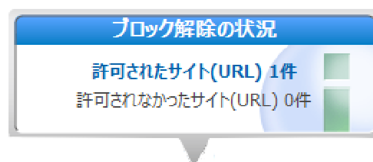
4 確認のメッセージが表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。





- 閲覧を許可されたサイト（URL）は、ブロック解除申請を行った利用者の「見せて良いサイト」（URL）登録リストに登録されます。

ブロック解除申請が許可 /却下されると「i-フィルター」からポップアップでメッセージが表示されます。



6「i-フィルター」の設定をする（システム設定）

「i-フィルター」を使いこなすためのさまざまな設定について説明します。

「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）

フィルターデータや「i-フィルター」のプログラムは随時更新されています。最新のフィルターデータやプログラムファイルをインターネット経由で手に入れ、フィルターの精度を高めます。これを「データ更新」と呼びます。
データ更新には、以下の2つの方法があります。

- 【「i-フィルター」を自動でデータ更新する】
  操作をしなくても自動的にデータ更新が行われます。常に最新の「i-フィルター」をお使いいただけます。
- 【「i-フィルター」を手動でデータ更新する】
  お好きなときにデータ更新ができます。詳しくは【「i-フィルター」の最新のバージョンを確認する】（P.100）をご覧ください。

「i-フィルター」を自動でデータ更新する

特別な操作をしなくても指定した間隔で、自動的に最新のファイルをダウンロードしてデータ更新を行うことを「自動更新」と呼びます。「i-フィルター」を常に最新の状態に保つためには自動更新の設定を有効にすることをお勧めします。初期設定では自動更新が有効になっています。

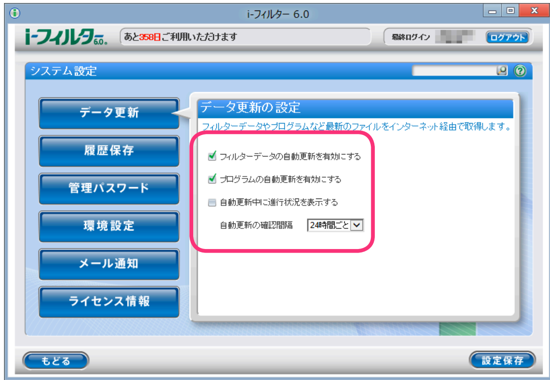


・データ更新中にインターネットへのアクセスが切断されても、アクセス復旧後にダウンロードを再開し、データ更新を行います。

1 設定画面の『トップページ』画面で［システム設定］ボタンをクリックします。



2 『システム設定』画面が開きます。設定したい内容を変更して、[設定保存] ボタンをクリックします。



設定項目	設定内容
フィルターデータの自動更新を有効にする	チェックマークを付けると、フィルターデータを自動更新するよう設定されます。
プログラムの自動更新を有効にする	チェックマークを付けると、プログラムを自動更新するよう設定されます。
自動更新中に進行状況を表示する	チェックマークを付けると、自動更新中に進行状況が表示されるよう設定されます。
自動更新の確認間隔	自動更新する場合、最新のフィルターデータ、またはプログラムがないか確認する間隔を設定します。以下から時間の間隔を選べます。初期設定では、「24 時間ごと」が設定されています。 3 時間ごと／ 6 時間ごと／ 9 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 48 時間ごと



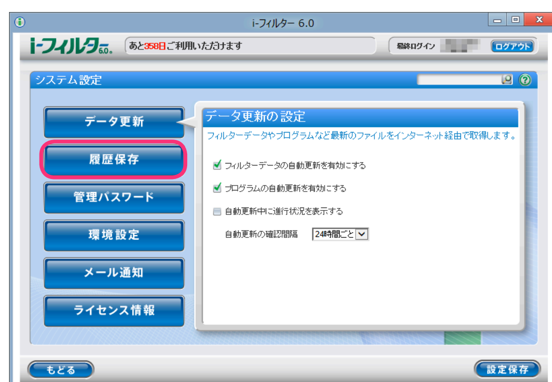
- 『システム設定』画面の他の画面が表示されている場合は、[データ更新] ボタンをクリックします。
- データ更新中でもインターネットにアクセスしたり、フィルター機能を使うことができます。
- 「i-フィルター」が起動してから、5分後に最新フィルターデータを、さらに 5分後に最新のプログラムデータを自動で確認します。
- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

履歴保存の設定をする

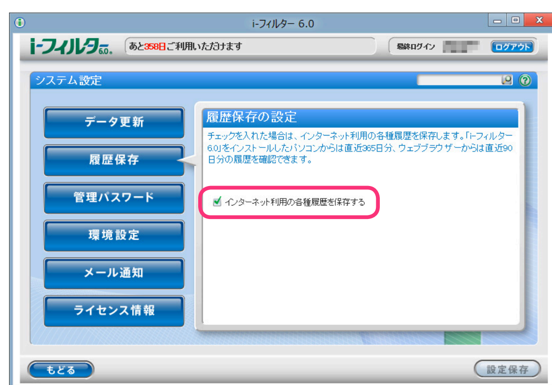
【インターネット利用状況を知ろう】(P.72) の各種履歴は、インターネットのアクセス履歴を基に作成します。
履歴保存を無効にするとインターネット利用状況確認の履歴が表示されなくなります。

1 設定画面の『トップページ』画面で［システム設定］ボタンをクリックします。

2 『システム設定』画面が開きます。［履歴保存］ボタンをクリックします。



3 ［インターネット利用の各種履歴を保存する］にチェックマークを付けて、［設定保存］ボタンをクリックします。





- ［インターネット利用の各種履歴を保存する］のチェックマークをはずすことで、履歴保存の設定が無効になります。
- 初期設定で、履歴保存の設定は有効になっています。
- 履歴保存の設定を無効に変更すると、ウェブブラウザーから開いた管理画面では、履歴が表示されなくなります。また、「i-フィルター」を再起動すると「i-フィルター」から開いた管理画面でも、履歴が表示されなくなります。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

「i-フィルター」の管理パスワードを変更する

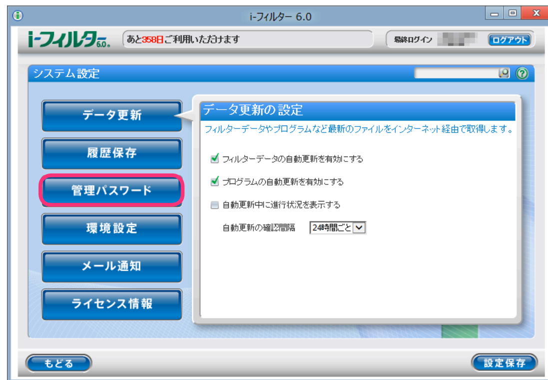
「i-フィルター」の管理パスワードを変更する手順を説明します。



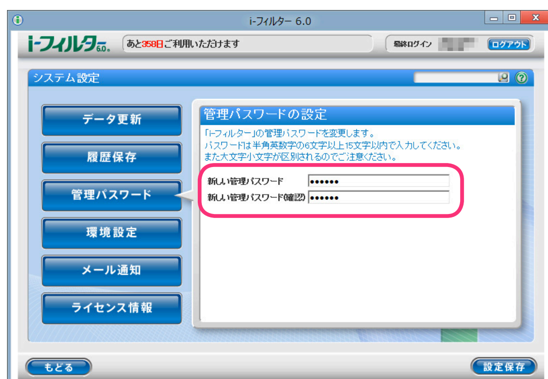
・管理パスワードを忘れてしまうと管理画面にログインできなくなります。ログイン画面で［管理パスワードをお忘れの方はこちら］をクリックして、管理パスワードを再設定する手続きを行ってください。
詳しくは【困ったときには（管理パスワード）】（P.122）をご覧ください。

1 設定画面の『トップページ』画面で［システム設定］ボタンをクリックします。

2 『システム設定』画面が開きます。［管理パスワード］ボタンをクリックします。



3 ［新しい管理パスワード］と［新しい管理パスワード（確認）］に新しい管理パスワードを入力して、［設定保存］ボタンをクリックします。





- 管理パスワードは半角英数字 6字以上 15 字以上で入力します。大文字と小文字は区別されます。
- 管理パスワードは、「i-フィルター」の設定を行うための大切なものです。忘れないように大切に保管してください。
- 管理パスワードは、ほかの利用者に知られると設定の変更ができてしまいますので、注意してください。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

「i-フィルター」の起動に関する設定をする

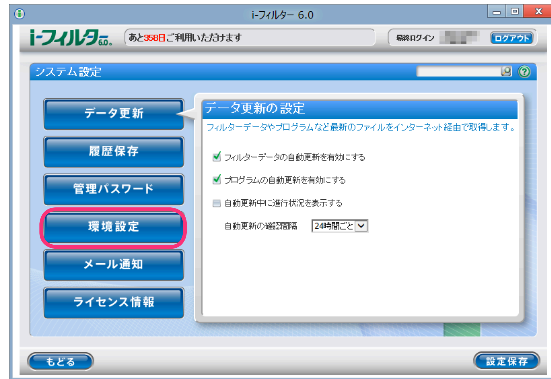
「i-フィルター」の起動に関する設定について説明します。

■ 自動的に起動する／しない

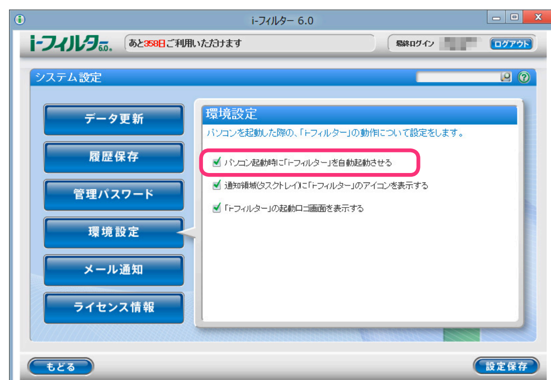
パソコンを起動すると、自動的に「i-フィルター」が起動するよう設定ができます。初期設定では、「i-フィルター」が自動的に起動するよう設定されています。セキュリティのために自動的に起動するよう設定しておくことをお勧めします。

1 管理画面の『トップページ』画面で［システム設定］ボタンをクリックします。

2 『システム設定』画面が開きます。［環境設定］ボタンをクリックします。



3 ［環境設定］で［パソコン起動時に「i-フィルター」を自動起動させる］にチェックマークを付けて、［設定保存］ボタンをクリックします。





- 自動的に起動させたくない場合は［パソコン起動時に「i-フィルター」を自動起動させる］のチェックマークをはずして、［設定保存］ボタンをクリックします。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

■ 通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示する／しない

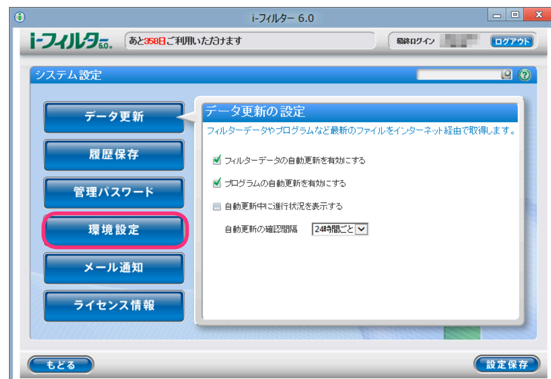
通知領域（タスクトレイ）に、「i-フィルター」のアイコン ⓘ を表示させる手順を説明します。
初期設定では、通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示するよう設定されています。



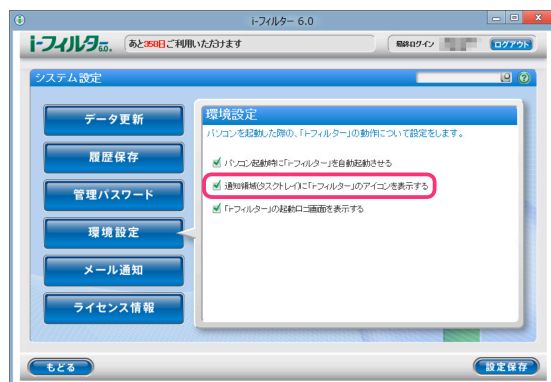
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ から、i-フィルター管理画面を表示させることができます。
  詳しくは【「i-フィルター」を使う】（P.10）をご覧ください。
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ の状態から、「i-フィルター」の利用期限を知ることができます。詳しくは【通知領域（タスクトレイ）のアイコンを使う】（P.97）をご覧ください。
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ にカーソルを合わせると、現在のフィルタリング対象の利用者がポップアップで表示されます。
- 管理者によりタイマー延長申請、ブロック解除申請を［許可する］ボタン または［許可しない］ボタンがクリックされた場合、ポップアップで申請の結果が表示されます。

1 設定画面の『トップページ』で［システム設定］ボタンをクリックします。

2 『システム設定』画面が開きます。［環境設定］ボタンをクリックします。



3 ［環境設定］で［通知領域（タスクトレイ）に「i-フィルター」のアイコンを表示する］にチェックマークを付けて、［設定保存］ボタンをクリックします。





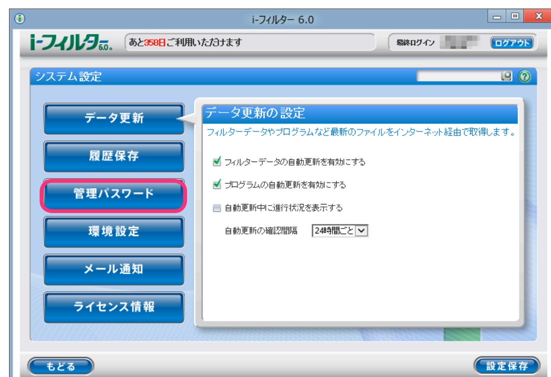
- 通知領域（タスクトレイ）に ⓘ を表示させたくない場合は、［通知領域（タスクトレイ）に「i-フィルター」のアイコンを表示する］のチェックマークをはずして、［設定保存］ボタンをクリックします。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

■ 起動時にロゴ画面を表示する／しない

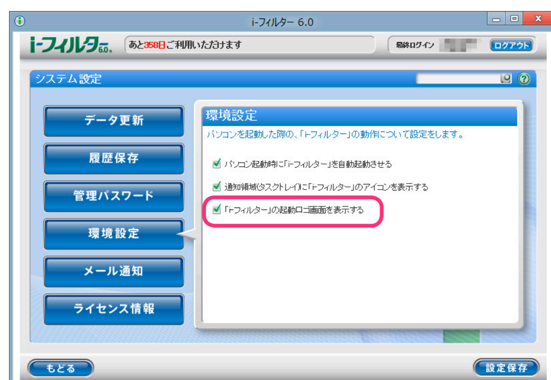
「i-フィルター」の手動起動時に起動ロゴ画面を表示させる方法を説明します。
初期設定では手動起動時に起動ロゴ画面を表示する設定になっています。
「i-フィルター」が自動起動した場合は起動ロゴは表示されません。

1 管理画面の『トップページ』で［システム設定］ボタンをクリックします。

2 『システム設定』画面が開きます。［環境設定］ボタンをクリックします。



3 ［環境設定］で［「i-フィルター」の起動ロゴ画面を表示する］にチェックマークを付けて、［設定保存］ボタンをクリックします。





- 起動ロゴ画面を表示させたくない場合は、［「i-フィルター」の起動ロゴ画面を表示する］のチェックマークをはずして、［設定保存］ボタンをクリックします。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

メール通知の設定をする

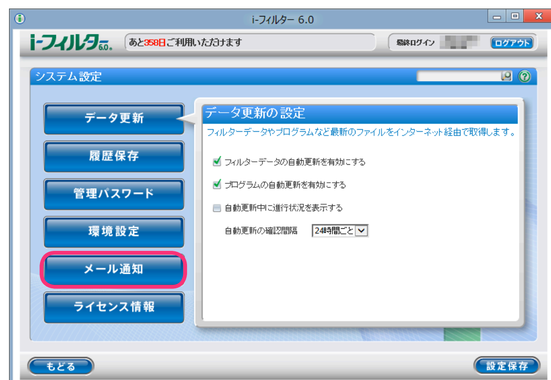
「i-フィルター」はインターネット利用状況確認のレポートメールやブロック解除申請メールを送信します。
メールを受信するE-Mailアドレスの設定について説明します。

■ レポートメールを送信する

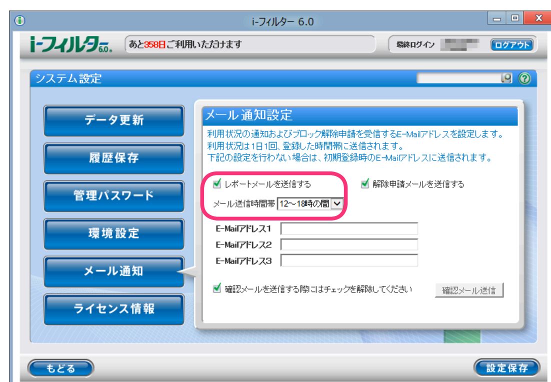
「i-フィルター」は1日1回、指定した時間帯にインターネットの利用状況をメールで通知します。受信するE-Mailアドレスは最大3件まで登録できます。メール通知設定に受信するE-Mailアドレスを設定していない場合、お客さま情報に登録されているE-Mailアドレスにレポートが送信されます。受信するE-Mailアドレスを1件でも設定している場合、設定されているE-Mailアドレスにのみレポートが送信されます。
受信するE-Mailアドレスの設定については、【受信するE-Mailアドレスを設定する】(P.95)をご覧ください。

1 管理画面の『トップページ』画面で［システム設定］ボタンをクリックします。

2 『システム設定』画面が開きます。［メール通知］ボタンをクリックします。



3 ［レポートメールを送信する］にチェックマークを付け、送信する時間帯を選択し［設定保存］ボタンをクリックします。





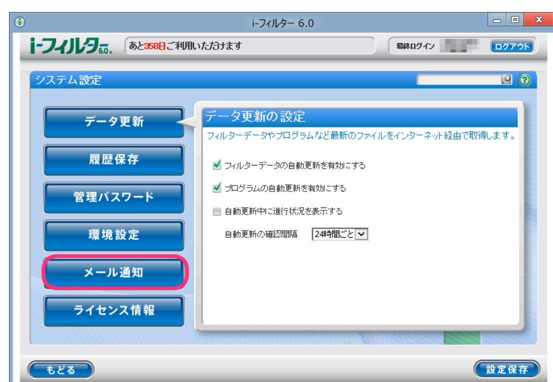
- レポートメールを送信したくない場合は［レポートメールを送信する］のチェックマークをはずして、［設定保存］ボタンをクリックします。
- インターネットを利用していない日付のレポートメールは送信されません。
- レポートメールを送信する時間帯は、以下のいずれかを選べます。
  0~6時の間 /6時 ~12時の間 /12時 ~18時の間 /18時 ~24時の間
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

■ 解除申請メールを送信する

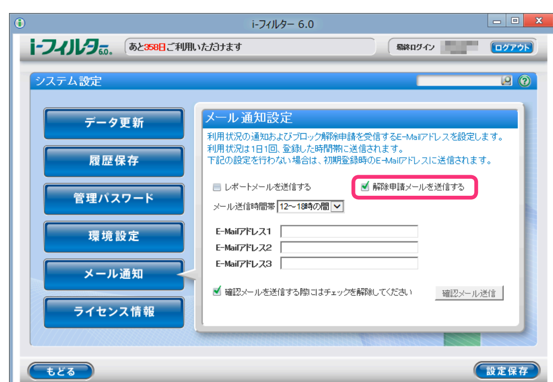
ブロック解除申請、タイマー延長申請のメールを送信する設定を説明します。
E-Mailアドレスは最大3件まで登録できます。メール通知設置で受信するE-Mailアドレスを設定していない場合、お客さま情報に登録されているE-Mailアドレスに解除申請メールが送信されます。受信するE-Mailアドレスを1件でも設定している場合、設定されているE-Mailアドレスにのみ解除申請メールが送信されます。
受信するE-Mailアドレスの設定については、【受信するE-Mailアドレスを設定する】(P.95)をご覧ください。

1 管理画面の『トップページ』で［システム設定］ボタンをクリックします。

2 『システム設定』画面が開きます。［メール通知］ボタンをクリックします。



3 ［解除申請メールを送信する］にチェックマークを付けて［設定保存］ボタンをクリックします。

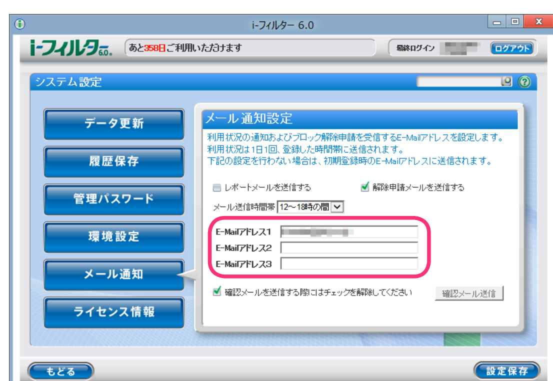



補足

- 解除申請メールを送信したくない場合は［解除申請メールを送信する］のチェックマークをはずして、［設定保存］ボタンをクリックします。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

■ 受信する E-Mailアドレスを設定する

「i-フィルター」のレポートメール、解除申請メールを受信する E-Mailアドレスを入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。E-Mailアドレスは最大 3件まで設定することができます。
E-Mailアドレスが設定されていない場合、レポートメール、解除申請メールはお客さま情報登録時に登録した E-Mailアドレスに送信されます。受信する E-Mailアドレスを 1件でも設定している場合、レポートメール、解除申請メールは設定されている E-Mailアドレスにのみ送信されます。




補足

- E-Mailアドレス 1/E-Mailアドレス 2/E-Mailアドレス 3にそれぞれレポートメール、解除申請メールを受信したいパソコンや携帯電話の E-Mailアドレスを入力してください。
- ［確認メールを送信する際にはチェックを解除してください］のチェックマークをはずし、［確認メール送信］ボタンをクリックします。設定した E-Mailアドレスに確認メールが送信されます。
- ［もどる］ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。


注意

- 「i-フィルター」は「i-filter.jp」のドメインでメールを送信します。ドメイン指定受信の設定をしている場合は「i-filter.jp」のドメインを受信できる設定にしてください。

ライセンス情報を見る

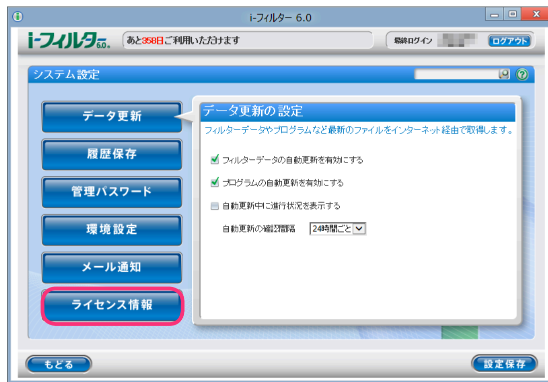
「i-フィルター」のライセンス情報を表示できます。シリアル ID、利用期限、認証日時がわかります。
サポートをお受けいただく場合に必要となる情報です。



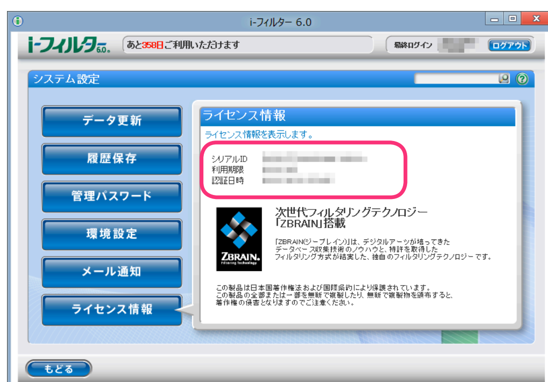
- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ をクリックして、[サポート] → [バージョン情報] をクリックしてもライセンス情報を見ることができます。

1 管理画面の『トップページ』画面で [システム設定] ボタンをクリックします。

2 『システム設定』画面が開きます。[ライセンス情報] ボタンをクリックします。



3 ライセンス情報が表示されます。





- [もどる] ボタンをクリックすると、『トップページ』画面にもどります。

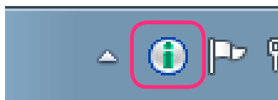
7 その他

「i-フィルター」を使うための便利な機能をご紹介します。

通知領域（タスクトレイ）のアイコンを使う

通知領域（タスクトレイ）に表示される「i-フィルター」のアイコンから「i-フィルター」の設定や利用者の切り替えなどを行えます。

通知領域（タスクトレイ）のアイコンで、「i-フィルター」の状態がわかります。



（緑色）	フィルター機能がオンです。
	「i-フィルター」の利用期限が過ぎている、またはライセンスが停止されています。利用期限が過ぎている場合は継続利用の手続きを行ってください。詳しくは、【継続利用の手続きをする】（P.107）をご覧ください。 ライセンスが停止されている場合は「i-フィルター」をご利用いただくことができません。「i-フィルター」をアンインストールしてください。詳しくは、【「i-フィルター」をアンインストールする】（P.109）をご覧ください。

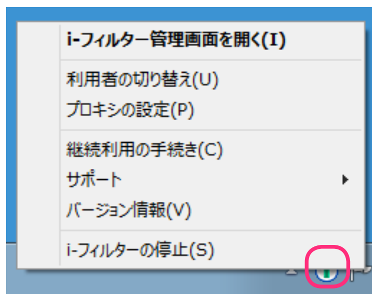


補足

- お客さまの設定により、「i-フィルター」のアイコンが隠れている場合があります。通知領域（タスクトレイ）のアイコンにある［△］をクリックすると、隠れていた通知領域（タスクトレイ）のアイコンが表示されます。
- お客さまの設定により、通知領域（タスクトレイ）のアイコンが表示されないよう設定されている場合があります。詳しくは【通知領域（タスクトレイ）にアイコンを表示する／しない】（P.91）をご覧ください。

■ 通知領域（タスクトレイ）のアイコンからできること

通知領域（タスクトレイ）の をクリック（または右クリック）すると、ポップアップメニューが表示されます。
ポップアップメニューの項目をクリックすると、項目を実行できます。



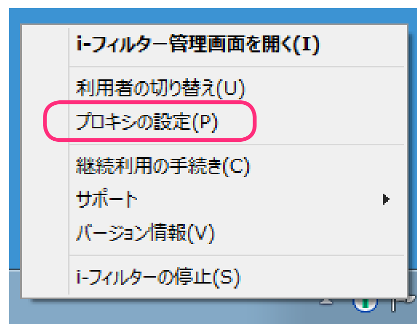
通知領域（タスクトレイ）のアイコンからは、以下の項目が実行できます。

i-フィルターの管理画面を開く	『管理画面』が表示されます。詳しくは【「i-フィルター」を使う】（P.10）をご覧ください。	
利用者の切り替え	『利用者の切り替え』画面が表示されます。詳しくは【利用者を切り替える】（P.21）をご覧ください。	
プロキシの設定	プロキシの設定ができます。詳しくは【プロキシサーバーを設定する】（P.98）をご覧ください	
継続利用の手続き	「i-フィルター」を継続利用するための手続きを行うことができます。詳しくは【利用期限の継続手続きをする】（P.104）をご覧ください。	
サポート	よくある質問（FAQ）	ウェブブラウザーが開き、よくある質問（FAQ）が表示されます。
	お問い合わせフォーム	ウェブブラウザーが開き、お問い合わせフォームが表示されます。
バージョン情報	『バージョン情報』画面が表示されます。詳しくは【バージョン情報を見る】（P.100）をご覧ください。	
i-フィルターの停止	「i-フィルター」を停止します。詳しくは【「i-フィルター」を停止 / 起動する】（P.102）をご覧ください。	

プロキシサーバーを設定する

インターネットにアクセスするのにプロキシサーバーを設定している場合は、「i-フィルター」でもプロキシサーバーの設定をする必要があります。通常は設定をする必要はありません。

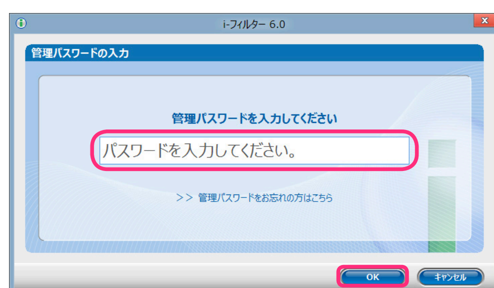
1 通知領域（タスクトレイ）の をクリックし、ポップアップメニューから［プロキシの設定］をクリックします。





・Windowsのスタートボタンから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［i-フィルター 6.0］→［プロキシの設定］をクリックしても、同様の操作です。

2 『管理パスワードの入力』画面が開きます。管理パスワードを入力し［OK］ボタンをクリックします。



3 『クライアント設定』画面が開きます。［プロキシの設定］でプロキシサーバーの設定をして、［OK］ボタンをクリックします。



設定項目	設定内容	
プロキシを使用しない	プロキシサーバーを使用しません。 ※通常は、この設定を選んでください。	
プロキシを使用する	プロキシサーバーを使用します。	
	Internet Explorer のプロキシを引き継ぐ	Internet Explorer のプロキシサーバー設定を自動で読み込みます。
	HTTPS に HTTP と同じプロキシを使用する	チェックマークを付けることで、HTTPS に HTTP で設定しているのと同じプロキシを使用します。チェックマークをはずすと、個別の設定ができます。
	プロキシサーバーを手動で設定します。	
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。 ※半角英数記号で入力してください。
	ポート	プロキシサーバーのポートを入力します。 ※半角数字で入力してください。
	HTTP/HTTPS に認証情報を追加する	プロキシサーバーが認証情報を必要とする場合は、チェックマークを付けて、［ユーザー名］と［パスワード］を設定します。



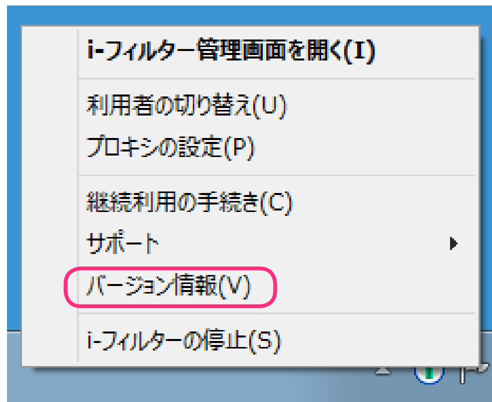
- プロキシサーバーを手動で設定する場合は、アドレスとポートを登録する必要があります。
- プロキシサーバーは「HTTP」「HTTPS」に対応しています。必要に応じて設定をしてください。
- ［通信確認］ボタンをクリックすると、指定されている設定で通信が行えるか確認します。
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、変更した内容を反映させずに『クライアント設定』画面を閉じます。

その他
7

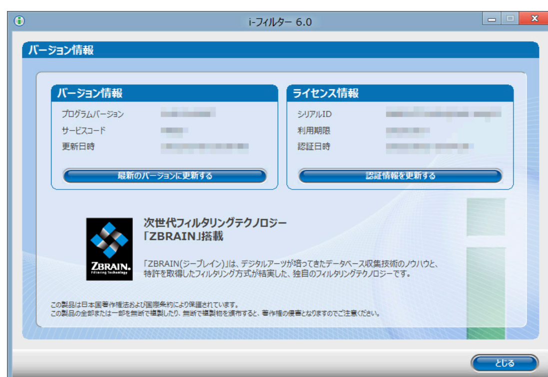
バージョン情報を見る

「i-フィルター」のバージョン情報、ライセンス情報を表示できます。プログラムのバージョンやサービスコード、最終認証日時、シリアル ID、利用期限を確認できます。サポートをお受けいただく場合に必要となる情報です。

1 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ をクリックし、ポップアップメニューから［バージョン情報］をクリックします。



2 『バージョン情報画面』が開きます。
バージョン情報とライセンス情報が表示されます。



表示・設定項目		表示・設定内容
バージョン情報	プログラムバージョン	「i-フィルター」のプログラムバージョンが表示されます。
	サービスコード	「i-フィルター」のサービスコードが表示されます。
	更新日時	「i- フィルター」のフィルターデータ、プログラムの更新を行った日時が表示されます。
	［最新のバージョンを確認する］	「i- フィルター」のフィルターデータ、プログラムの最新のバージョンを確認します。詳しくは【「i- フィルター」の最新のバージョンを確認する】（P.100）をご覧ください。
ライセンス情報	シリアル ID	ご利用中のシリアル ID が表示されます。
	利用期限	お客さまが「i-フィルター」をご利用になれる期限が表示されます。
	認証日時	認証を行った日時が表示されます。
	［認証情報を更新する］	ライセンスの認証を行います。詳しくは【「i- フィルター」の認証情報を確認する】（P.101）をご覧ください。

「i-フィルター」の最新のバージョンを確認する

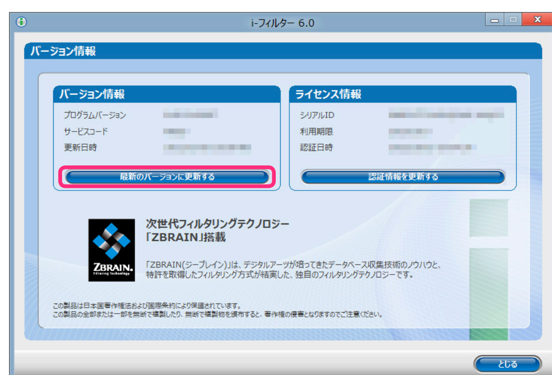
最新のフィルターデータやプログラムファイルを確認します。最新のバージョンを確認した場合、ダウンロードし、データ更新が実行されます。



・データ更新中にインターネットへのアクセスが切断されても、アクセス復旧後にダウンロードを再開し、データ更新を行います。

1 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ をクリックし、ポップアップメニューから［バージョン情報］をクリックします。

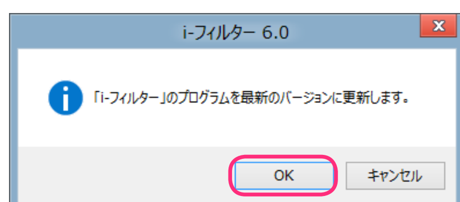
2 ［最新のバージョンに更新する］ボタンをクリックします。





- データ更新中であってもインターネットにアクセスしたり、フィルター機能を使えます。
- インストール直後に自動でデータ更新が行われます。
- 自動更新機能を無効にするには、【「i-フィルター」を自動でデータ更新する】（P.87）をご覧になり、［フィルターデータの自動更新を有効にする］と［プログラムの自動更新を有効にする］のチェックマークをはずしてください。

3 以下のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



「i-フィルター」の最新のフィルターデータとプログラムデータを取得します。



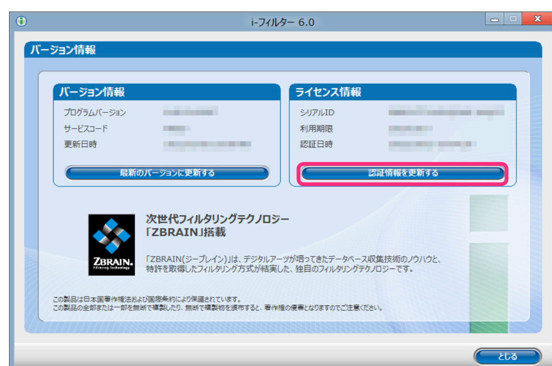
- プログラムデータの更新が行われたときは、パソコンを再起動してください。

「i-フィルター」の認証情報を確認する

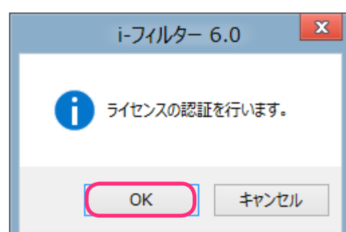
「i-フィルター」のライセンスの認証を行うことができます。

1 通知領域（タスクトレイ）のⓘをクリックし、ポップアップメニューから［バージョン情報］をクリックします。

2 ［認証情報を更新する］ボタンをクリックします。



3 以下のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



ライセンスの認証が行われ、ライセンス情報の表示が更新されます。

「i-フィルター」を停止／起動する

「i-フィルター」の停止と起動の手順を説明します。

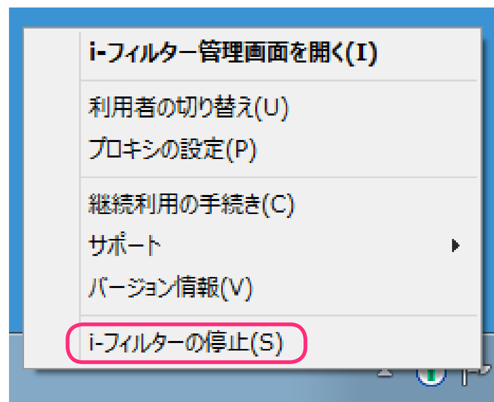
「i-フィルター」を停止する

「i-フィルター」を停止させることができます。「i-フィルター」を停止させると、「i-フィルター」の機能がご利用できなくなります。

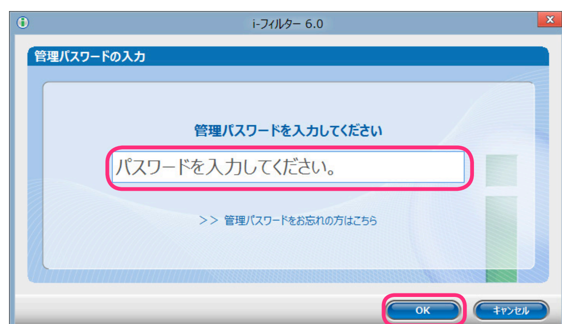

注意

・「i-フィルター 」は Windowsの管理者権限を持つユーザーのみ停止することができます。

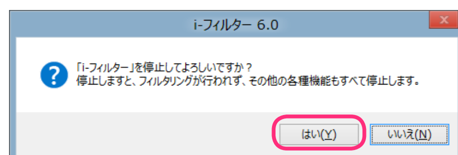
1 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ をクリックし、ポップアップメニューから［i-フィルターの停止］をクリックします。



2 『管理パスワードの入力』画面が開きます。管理パスワードを入力し［OK］ボタンをクリックします。



3 以下のメッセージが表示されますので［はい］ボタンをクリックします。



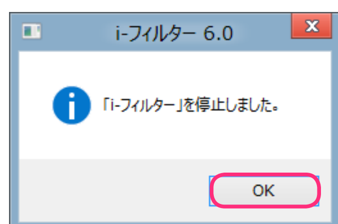
4 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。




補足

・Windows XPの場合は、この操作は必要ありません。手順 5に進んでください。

5 ［OK］ボタンをクリックします。



「i-フィルター」が停止します。


注意

・「i-フィルター 」は Windowsの管理者権限を持つユーザーのみ停止することができます。


補足

・「i-フィルター」を自動的に起動するように設定している場合は、パソコンを再起動したり、再度ログインすると「i-フィルター」が起動します。詳しくは【自動的に起動する／しない】（P.91）をご覧ください。

「i-フィルター」を起動する

「i-フィルター」を起動する方法を説明しています。


注意

・「i-フィルター 」は Windowsの管理者権限を持つユーザーのみ起動することができます。

1 マウスポインターを画面右上に合わせチャームを表示し、「スタート」ボタンをクリックします。



2 『スタート』画面から「i-フィルター 6.0」をクリックします。




補足

・Windows 7, Vista, XPの場合は、Windowsのスタートボタンから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［i-フィルター 6.0］→［i-フィルター 6.0］をクリックします。
・チャームについて詳しくは【用語集】（P.130）ご参照ください。

3 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されます。
［はい］ボタンをクリックします。




補足

・Windows XPの場合は、この操作は必要ありません。

「i-フィルター」が起動します。

「i-フィルター」の機能をスタート画面から使う

Windows8の場合、スタート画面から「i-フィルター」の機能を使うことができます。

「i-フィルター」の機能をスタート画面から使う

1 マウスポインターを画面右上に合わせチャームを表示し、「スタート」ボタンをクリックします。



2 『スタート』画面から「i-フィルター 6.0」をクリックします。





- Windows 7, Vista, XPの場合は、Windowsのスタートボタンから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［i-フィルター 6.0］→［i-フィルター 6.0］をクリックします。
- チャームについて詳しくは【用語集】（P.130）ご参照ください。

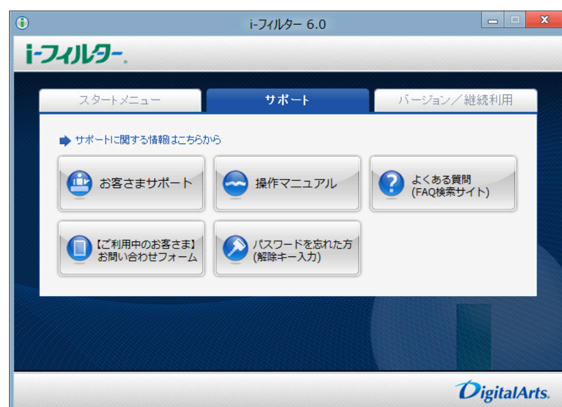
3 『i-フィルター』の画面が開きます。表示されているタブについて説明します。

■ 「スタートメニュー」について



ボタン	内容
「i- フィルター」の管理画面を開く	「i-フィルター」の管理画面を開きます。
「i- フィルター」を停止する	「i-フィルター」を停止します。
利用者の切り替え	「i- フィルター」の利用者を切り替える画面を開きます。
アプリ情報表示モード ON にする または アプリ情報表示モード OFF にする	起動したアプリケーションのアプリ名、プロセス名の情報を表示するモードを有効にしたり、無効にしたりします。
プロキシの設定	「i- フィルター」で使用するプロキシサーバーの設定をする画面を開きます。

■「サポート」について



ボタン	内容
お客さまサポート	既定のブラウザーで「i- フィルター」のお客さまサポートページを開きます。
操作マニュアル	既定のブラウザーで「i-フィルター」のマニュアルページを開きます。
よくある質問（FAQ 検索サイト）	既定のブラウザーで「i- フィルター」のよくある質問（FAQ 検索サイト）を開きます。
【ご利用中のお客さま】 お問い合わせフォーム	既定のブラウザーで「i- フィルター」をご利用中のお客さま向けのお問い合わせページを開きます。
パスワードを忘れた方 （解除キー入力）	「i- フィルター」のパスワードを忘れた方へ発行する解除キーの入力画面が開きます。

■「バージョン / 利用期限」について



ボタン	内容
バージョン情報	「i- フィルター」のバージョン情報を表示します。
継続利用の手続き	「i-フィルター」の継続利用の手続き画面を表示します。

「i-フィルター」の利用期限について

「i-フィルター」には利用期限があります。ぜひ継続利用のお手続きをしていただき、安全・安心・快適なインターネットをお楽しみください。

利用期限について

「i-フィルター」には、利用期限があります。利用期限について説明します。

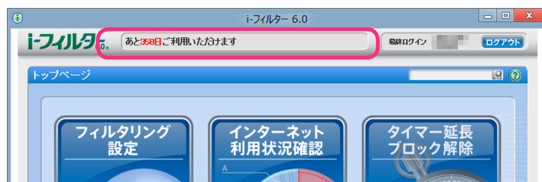
「i-フィルター」は、お客さま情報登録時から 1年間（365日）ご利用になれます。継続利用のお手続きをされないまま利用期限である1 年間（365日） を過ぎると、「i-フィルター」の機能はご利用いただけなくなります。利用期限内であれば、無償でテクニカルサポートを受けることができるほか、バージョンアップも無料で行っていただけます。

利用期限を知る

「i-フィルター」の利用期限を知る方法について説明します。

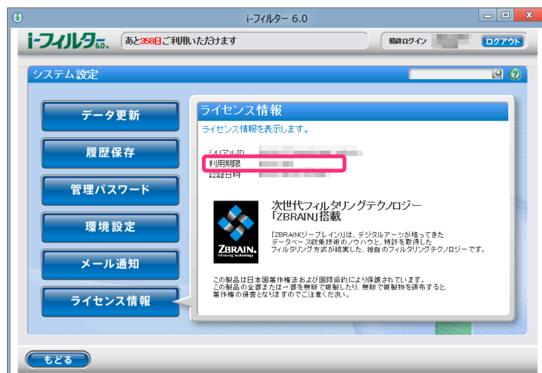
- 管理画面の『トップページ』から知る

  管理画面の『トップページ』画面に利用期限が表示されます。



- ライセンス情報から知る

  『ライセンス情報』画面に利用期限が表示されます。ライセンス情報の表示方法については【ライセンス情報を見る】（P.96）をご覧ください。



- バージョン情報から知る

  『バージョン情報』画面に利用期限が表示されます。バージョン情報の表示方法については【バージョン情報を見る】（P.100）をご覧ください。



利用期限のお知らせ

利用期限が近づくと、以下の方法で利用期限についてお知らせします。

- **メール**
  利用期限の 60日前、30日前、15日前、7日前にお客さま情報にご登録いただいた E-Mailアドレスにメールを送付させていただきます。

利用期限の継続について

利用期限を継続するには、以下の方法があります。

- **「i-フィルター」の管理画面から継続利用の手続きができます。**
  「i-フィルター」の管理画面で、以下の操作を行います。
  利用期限の 180日前になると［更新手続きをする］ボタンが表示されます。



［更新手続きをする］ボタンをクリックすると、『継続利用の手続き』画面が表示されます。以降の手順について、詳しくは【継続利用の手続きをする】（P.107）をご覧ください。


補足

- 通知領域（タスクトレイ）の ⓘ をクリックして、［継続利用の手続き］をクリックしても継続利用の手続きに進んでいただけます。
- デジタルアーツ株式会社のウェブサイト（http://www.daj.jp/cs/）でも、利用期限の継続手続きをわかりやすく説明しています。

- **「i-フィルター更新パック」で利用期限継続の手続きができます。**


補足

- 更新パックで継続利用の手続きをされる場合は、「i-フィルター更新パック」に同梱されている「更新手順書」をご覧ください。

継続利用の手続きをする

「i-フィルター」を引き続きお使いいただくための継続利用の手続きの手順を説明します。

1 **以下のものを用意します。**
- シリアル ID（バージョン情報で確認できます）
- クレジットカード（クレジットカード決済をする場合）


補足

- 更新パックで継続利用の手続きをされる場合は、「i-フィルター更新パック」に同梱されている「更新手順書」をご覧ください。

2 **継続利用の手続き画面を表示させます。**


補足

- 『継続利用の手続き』画面を表示させる方法については【利用期限の継続について】（P.107）をご覧ください。

3 利用期限が表示されますので、ご確認いただき［継続利用の手続き］ボタンをクリックします。

4 必要な情報を入力し、「お預かりする個人情報の取り扱いについて」をご確認いただいたうえで、［同意して手続き開始］ボタンをクリックします。



- 個人情報保護方針について書かれたページは、ご確認後閉じてください。
- 継続利用の手続きは 180日前から行うことができます。

5 画面の指示に従い、継続利用の手続きを完了させてください。

「i-フィルター」をアンインストールする

「i-フィルター」をアンインストールする手順を説明します。「i-フィルター」をアンインストールするときは、あらかじめ「i-フィルター」を停止してください。
「i-フィルター」の停止については【「i-フィルター」を停止する】(P.102) をご覧ください。

Windows 8をお使いの場合

Windows 8をお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明しています。


注意

・「i-フィルター」は、Windowsの管理者権限を持つユーザーのみアンインストールすることができます。

1 「i-フィルター」を停止させます。


補足

・「i-フィルター」の停止については【「i-フィルター」を停止する】(P.102) をご覧ください。
・ほかのアプリケーションを終了してください。

2 マウスポインターを画面右上に合わせチャームを表示し、「スタート」ボタンをクリックします。



3 『スタート』画面から「i-フィルター 6.0」をクリックします。

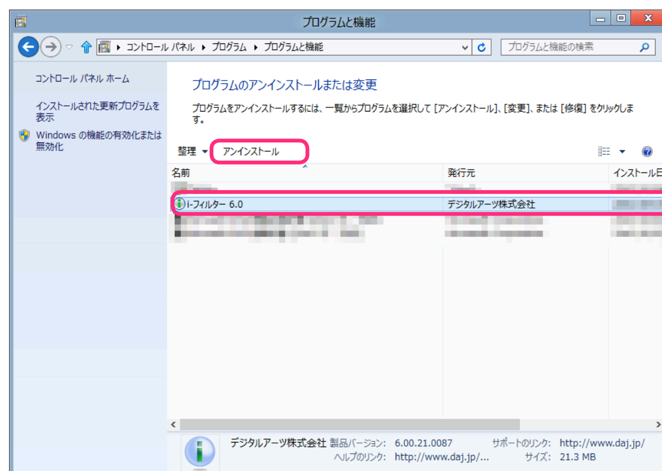



補足

・チャームについて詳しくは【用語集】(P.130) ご参照ください。

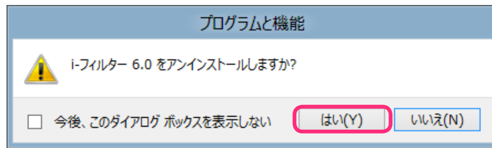
4 表示された アンインストール ボタンをクリックします。

5 [i-フィルター 6.0] をクリックし、[アンインストール] をクリックします。



その他
7

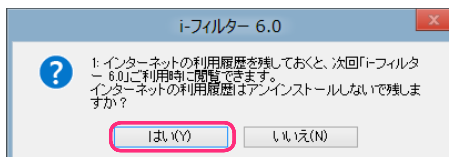
6 以下のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。



7 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」というメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。



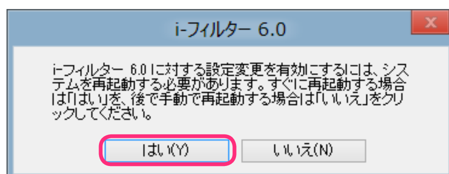
8 以下のメッセージが表示されます。インターネットのアクセス履歴を残してアンインストールする場合は、［はい］ボタンをクリックします。





・［いいえ］ボタンをクリックすると、履歴はすべて削除されます。

9 以下のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。





・すぐにパソコンを終了させたくない場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

パソコンが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

Windows 7、Vistaをお使いの場合

Windows 7、Vistaをお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明しています。


注意

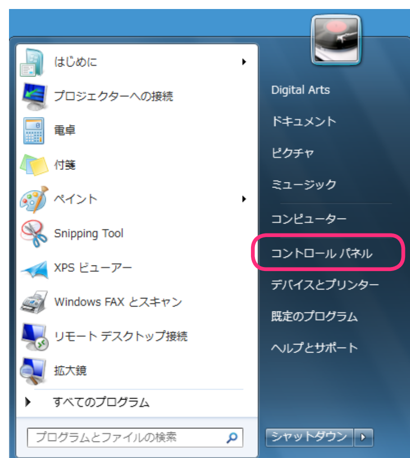
・「i-フィルター」は、Windowsの管理者権限を持つユーザーのみアンインストールすることができます。

1 「i-フィルター」を停止させます。


補足

・「i-フィルター」の停止については【「i-フィルター」を停止する】(P.102)をご覧ください。
・ほかのアプリケーションを終了してください。

2 Windows のスタートボタンから[コントロールパネル]をクリックします。



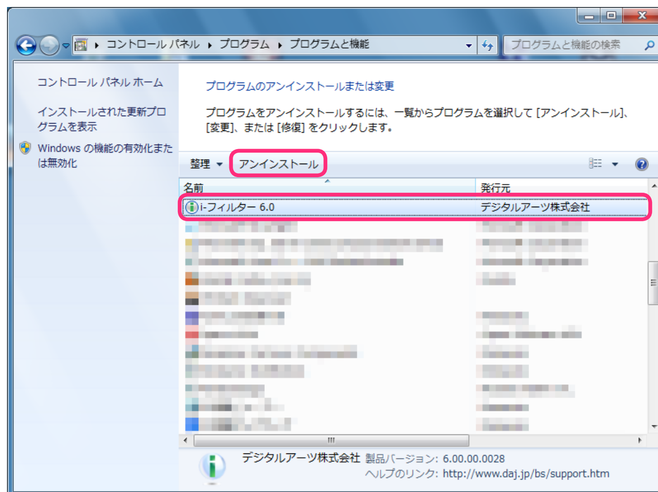
3 [プログラムのアンインストール]をクリックします。




補足

・上記画面と異なる画面が表示された場合は、画面右上にある[表示方法]から「カテゴリ」を選択してください。

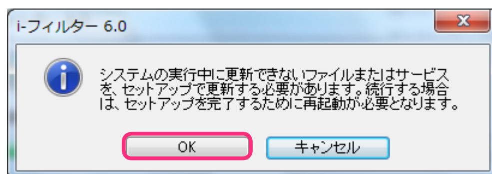
4 [i-フィルター 6.0] をクリックし、[アンインストール] をクリックします。



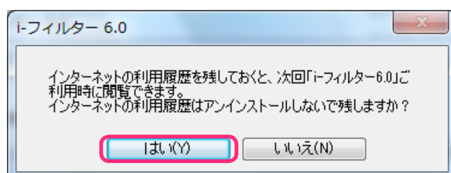
5 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



6 以下のメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。



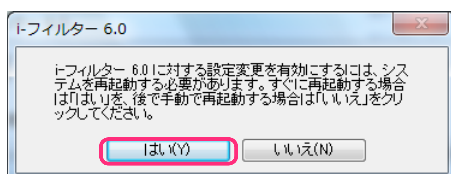
7 以下のメッセージが表示されます。インターネットのアクセス履歴を残してアンインストールする場合は、[はい] ボタンをクリックします。





・[いいえ] ボタンをクリックすると、履歴はすべて削除されます。

8 以下のメッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックします。





・すぐにパソコンを終了させたくない場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

パソコンが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

Windows XPをお使いの場合

Windows XPをお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明しています。


注意

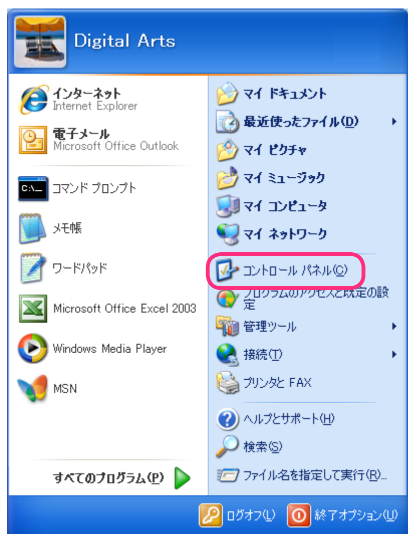
・「i-フィルター」は Windowsの管理者権限を持つユーザーのみアンインストールすることができます。

1 「i-フィルター」を停止させます。

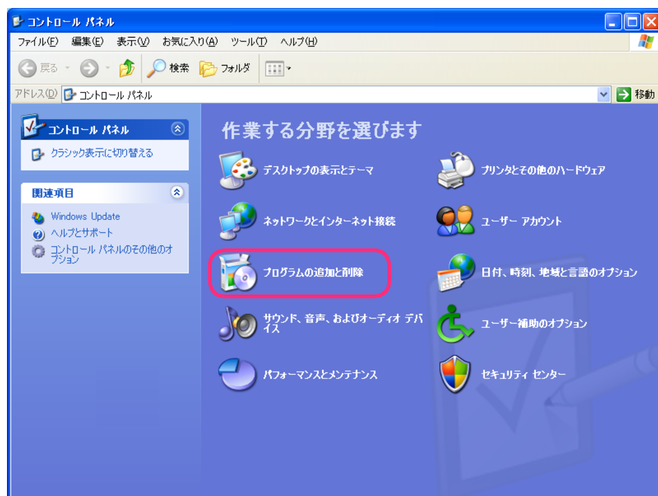

補足

・「i-フィルター」の停止については【「i-フィルター」を停止する】(P.102) をご覧ください。
・ほかのアプリケーションを終了してください。

2 Windows のスタートボタンから、[コントロールパネル] をクリックします。



3 [プログラムの追加と削除] をクリックします。



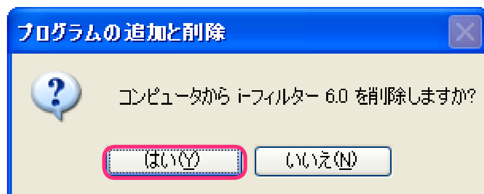

補足

・上記画面と異なる画面が表示された場合は、画面左上にある [コントロールパネル] から
[カテゴリの表示に切り替える] をクリックしてください。

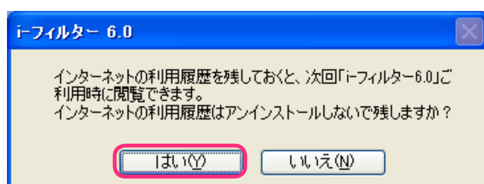
4 ［i-フィルター 6.0］をクリックして、［削除］ボタンをクリックします。



5 以下のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。



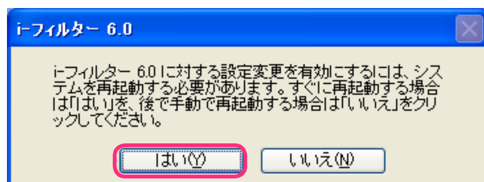
6 以下のメッセージが表示されます。インターネットのアクセス履歴を残してアンインストールする場合は、［はい］ボタンをクリックします。





・［いいえ］ボタンをクリックすると、履歴はすべて削除されます。

7 以下のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。





・すぐにパソコンを終了させたくない場合は、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

パソコンが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

旧バージョンからアップグレードを実施する

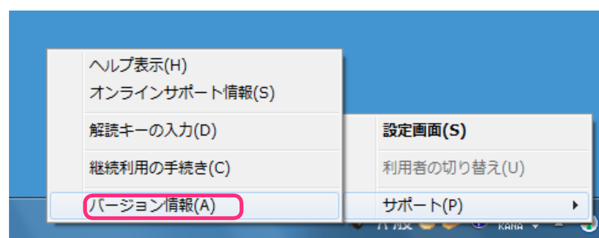
「i-フィルター」シリーズ旧バージョンから無料で「i-フィルター 6.0」へのアップグレードが可能です。
旧バージョンにはない「i-フィルター 6.0」の新機能をご利用ください。

「i-フィルター 5.0」からのアップグレード方法

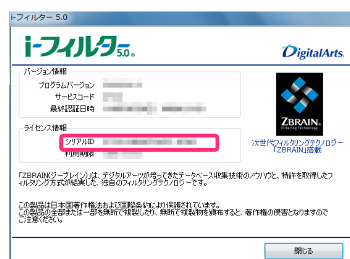
「i-フィルター 5.0」からアップグレードを行う場合は、現在ご利用中の設定を引き継ぐことができます。
引き継ぎを実施しない場合は、「i-フィルター 6.0」の初期設定になります。

1 現在ご利用中のシリアル IDを確認します。

① 通知領域（タスクトレイ）の「i-フィルター 5.0」アイコンをクリックし［サポート］→［バージョン情報］をクリックします。



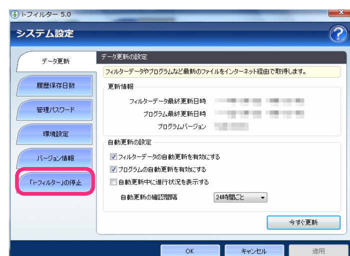
② ライセンス情報のシリアル IDをご確認ください。



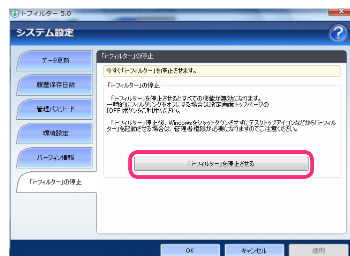
2 「i-フィルター 5.0」を停止します。

① 設定画面のトップページで［システム設定］ボタンをクリックします。

② ［「i-フィルター」の停止］ボタンをクリックします。



③ ［「i-フィルター」を停止させる］ボタンをクリックします。



3 デジタルアーツのウェブサイトより「i-フィルター 6.0」をダウンロードします。
http://www.daj.jp/cs/products/pc/ifp/install/

4 「if6installer（.exe）」のアイコン をダブルクリックします。



5 ［インストール］ボタンをクリックします。





- ［インストール先フォルダーを選択する］にチェックマークを付けて、［インストール］ボタンをクリックすると、インストール先フォルダーを選択することができます。通常のインストール先は「C:¥Program Files¥Digital Arts¥IFP6」または「C:¥Program Files(x86)¥Digital Arts¥IFP6」です。
- ［操作マニュアルを見る］ボタンをクリックすると、本操作マニュアルが表示されます。
- 最新のマニュアルが配信されている場合は、最新のマニュアルのダウンロードページを開くことができます。
- 本操作マニュアルをパソコン上で見られない場合は、Adobe Readerが必要です。
  をクリックして、Adobe Readerをお使いのパソコンにインストールしてください。
- ［とじる］ボタンをクリックすると、インストールを中止します。

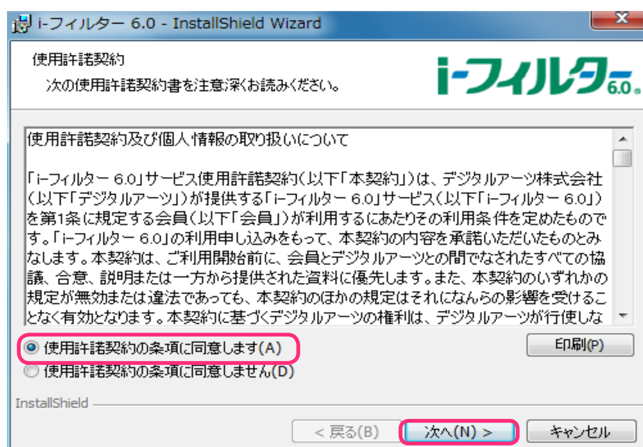
6 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。





- Windows XP場合は、この操作は必要ありません。手順 7に進んでください。

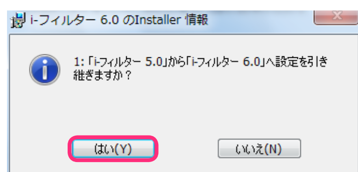
7 ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し［インストール］ボタンをクリックします。



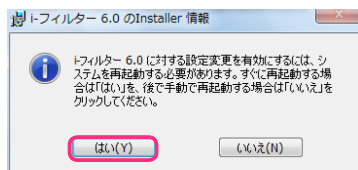


- 使用許諾契約に同意していただけない場合、インストールができません

8 「i-フィルター 5.0」でご利用いただいていた設定の引き継ぎ確認が表示されます。
［はい］ボタンをクリックすると、ご利用中の設定を引き継いでインストールが実行されます。
・フィルター強度設定 /「i-フィルター」の利用者 / 各種フィルタリング設定が引き継がれます。
　管理パスワード、ログ保存日数、ブロック画面は引き継ぐことができません。
［いいえ］ボタンをクリックすると、「i-フィルター」の初期設定でインストールが実行されます。
・フィルター強度設定 /「i-フィルター」の利用者 / 各種設定のすべてが初期設定となりますので、必要な場合は
　再度、設定を行ってください。



9 以下のメッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



10 再起動後、『「i-フィルター」の開始』画面が表示されます。手順 1 で確認いただいたシリアル ID を入力し、
［次へ］ボタンをクリックします。





・シリアル IDは半角英数字で入力します。

11 管理パスワードの設定を行います。管理パスワードを入力し、［設定する］ボタンをクリックします。



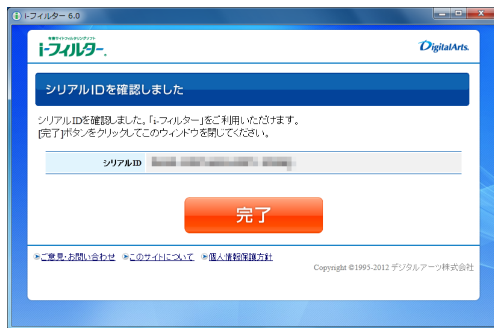


・管理パスワードとは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を確認するときに使う大切なパスワードです。
　ほかの利用者に知られないようなパスワードにしてください。
・管理パスワードは、半角英数字 6文字以上 15文字以下で設定してください。
・管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。



・アップグレード時に管理パスワードは引き継ぎが行われません。新しい管理パスワードを設定してください。

12 ［完了］ボタンをクリックします。以上でアップグレードは完了になります。

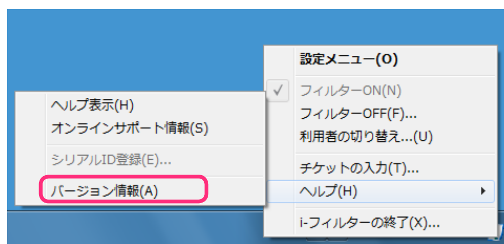


「i-フィルター4」からのアップグレード方法

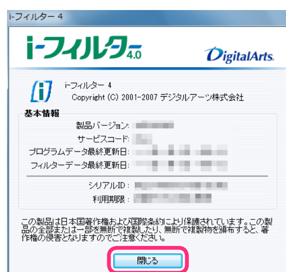
「i-フィルター4」からアップグレードを行う場合は、現在ご利用中の設定を引き継ぐことができません。
アップグレード後は「i-フィルター 6.0」の初期設定になります。お手数ですが、再度設定を行ってください。

1 現在ご利用中のシリアル IDを確認します。

① 通知領域（タスクトレイ）の「i-フィルター4」アイコンを右クリックし［ヘルプ］→［バージョン情報］をクリックします。



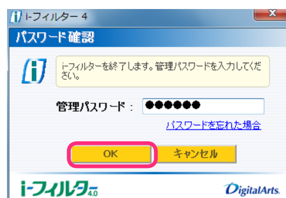
② 基本情報のシリアル IDをご確認ください。



2 「i-フィルター4」を停止します。

① Windowsのスタートボタンから［すべてのプログラム］（または［プログラム］）→［i-フィルター4］→［i-フィルター4終了］をクリックします。

② 管理パスワードを入力し［OK］ボタンをクリックします。



3 「i-フィルター4」をアンインストールします。アンインストールの方法に関しましては、以下の URL からご参照ください。
http://www.daj.jp/cs/ifpe4/faq_uins.htm

4 デジタルアーツのウェブサイトより「i-フィルター 6.0」をダウンロードします。
http://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/install/

5 「if6installer（.exe）」のアイコンをダブルクリックします。



6 ［インストール］ボタンをクリックします。





- ［インストール先フォルダーを選択する］にチェックマークを付けて、［インストール］ボタンをクリックすると、インストール先フォルダーを選択することができます。通常のインストール先は「C:¥Program Files¥Digital Arts¥IFP6」または「C:¥Program Files(x86)¥Digital Arts¥IFP6」です。
- ［操作マニュアルを見る］ボタンをクリックすると、本操作マニュアルが表示されます。
- 最新のマニュアルが配信されている場合は、最新のマニュアルのダウンロードページを開くことができます。
- 本操作マニュアルをパソコン上で見られない場合は、Adobe Readerが必要です。
  Get ADOBE READER をクリックして、Adobe Readerをお使いのパソコンにインストールしてください。
- ［閉じる］ボタンをクリックすると、インストールを中止します。

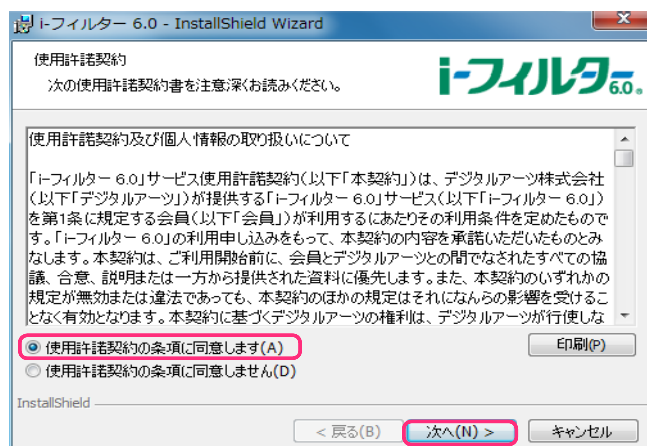
7 「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」というメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。





- Windows XP場合は、この操作は必要ありません。手順 8に進んでください。

8 ［使用許諾契約の条項に同意します］を選択し［インストール］ボタンをクリックします。





- 使用許諾契約に同意していただけない場合、インストールができません

その他

7

9 再起動後、『「i-フィルター」の開始』画面が表示されます。手順 1 で確認いただいたシリアル ID を入力し、［次へ］ボタンをクリックします。




補足

・シリアル IDは半角英数字で入力します。

10 管理パスワードの設定を行います。管理パスワードを入力し、［設定する］ボタンをクリックします。




補足

- 管理パスワードとは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を確認するときに使う大切なパスワードです。ほかの利用者に知られないようなパスワードにしてください。
- 管理パスワードは、半角英数字 6文字以上 15文字以下で設定してください。
- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。


注意

- アップグレード時に管理パスワードは引き継ぎが行われません。新しい管理パスワードを設定してください。

11 ［完了］ボタンをクリックします。以上でアップグレードは完了になります。



付 録

困ったときの解決方法や「i-フィルター」の便利な使い方など、「i-フィルター」についての役立つ情報を記載しています。

Q&A

お客さまからよくいただく質問とその回答を記載しています。困ったときや、「i-フィルター」について知りたいときにご覧ください。

困ったときには（インストール）

インストールに関することで困ったときにお読みください。

Q1. インストールに時間がかかる、インストール終了間際でパソコンを操作できなくなる

A1. 他社セキュリティソフトが動作しているとインストールに時間がかかる場合があります。他社セキュリティソフト上で適切な設定を行ってください。それでも解決しない場合は、他社セキュリティソフトを一時的に停止させてください。
他社セキュリティソフトの設定について詳しくは、他社セキュリティソフトの取扱説明書やヘルプをご覧のうえ、ご利用のメーカー様にお問い合わせください。

Q2.「i-フィルター」のインストール先が変更できない。

A2.「i-フィルター」は OS のインストールされいてるドライブの「Program Files」フォルダ以下または OS がインストールされているドライブとは別ドライブのフォルダにインストール先を変更することができます。
上記以外のフォルダにインストールすることはできません。

Q3「シリアル ID が違います」と表示される。

A3. シリアル ID を間違えて入力している可能性があります。正しいシリアル ID を必ず半角英数字で入力してください。
必ず Windows 版のシリアル ID を入力してください。「i-フィルター 6.0 Mac 版」のシリアル ID は Windows 版では使用できません。

Q4. 他社セキュリティソフトと同時に使用できますか。

A4. 同時に使用できる製品とできない製品があります。デジタルアーツのウェブサイト（http://www.daj.jp/cs/products/pc/if6/conflict/）をご覧ください。
なお「i-フィルター」にはウイルス検知や駆除の機能はありませんので、セキュリティソフトと併用していただくことをお勧めします。セキュリティソフトを変更する場合も、必ず最新の動作環境をご確認ください。

Q5. インストールのときに「i-フィルター 5.0」をアンインストール（削除）しておく必要はありますか？

A5. そのままバージョンアップ（上書き）することが可能です。
ただし「i-フィルター 4」以前のバージョンは、事前にアンインストールしておく必要がありますので、ご注意ください。

Q6. 複数台のパソコンにインストールして使えますか？

A6. 複数台のパソコンでご利用いただく場合には、利用台数分の「i-フィルター」をご購入ください。
利用台数分のシリアル ID をご用意いただき、それぞれインストールを行ってください。

Q7. 新しいパソコンに買い換えた場合、インストールして使えますか?

A7. 利用台数分のシリアル ID をお持ちでしたら、「i-フィルター」をインストールして使うことができます。
新しいパソコンでご利用いただく場合には、以前のパソコンのシリアル ID を停止していただく必要があります。
インストール方法については、【登録済みのシリアル ID でインストールする】(P.9) をご覧ください。

困ったときには(管理パスワード)

Q8. 管理パスワードを忘れてしまった。

A8. 管理パスワードを忘れた場合、管理パスワードの再設定が必要になります。
以下の手順で管理パスワードを再設定してください。再設定をするにはシリアル ID とお客さま情報が必要です。

① 管理パスワードを入力する画面で、[管理パスワードをお忘れの方はこちら] ボタンをクリックします。

② 「ご利用中のお客さま情報」を入力いただき、[送信する] ボタンをクリックします。

③ E-Mailアドレスに送信される内容に従って管理パスワードの再設定をしてください。



- 送信されるメールに記載されている URLの有効期限は 24時間になります。24時間を過ぎた場合は再度、手順①から操作を行ってください。
- 管理パスワードは忘れたり、他の利用者に知られないよう、大切に保管してください。

Q9.「パスワードが違います」「正しいパスワードを再度入力してください」と表示される。

A9. 管理パスワードを大文字で入力している可能性があります。正しい管理パスワードを入力してください。
管理パスワードはアルファベットの大文字・小文字が区別されます。キーボードの CapsLock 機能がオンになっていないか確認してください。



- CapsLock機能とは、入力する英字の大文字・小文字を切り替える機能のことです。キーボードの [Shift] キー + [CapsLock] キーを押すたびに、機能のオン/オフが切り替わるようになっており、オフの状態では小文字が、オンの状態では大文字が入力されます。

困ったときには(起動・停止)

「i-フィルター」の起動/終了に関することで困ったときにお読みください。

Q10. パソコンの起動時に「i-フィルター」が起動されない。

A10. パソコンの起動時に「i-フィルター」が自動起動するように設定しないと、「i-フィルター」はパソコンの起動時に起動しません。セキュリティのため、「i-フィルター」を自動起動する設定をすることをお勧めします。
詳しくは【自動的に起動する/しない】(P.91) をご覧ください。

Q11.「i-フィルター」を停止できない。

A11. 起動中の「i-フィルター」は、常駐動作しています。「i-フィルター」の管理画面を閉じた状態では、「i-フィルター」は停止していません。「i-フィルター」の停止方法について詳しくは【「i-フィルター」を停止する】(P.102) をご覧ください。

困ったときには(フィルタリング)

フィルタリングに関することで困ったときにお読みください。

Q12. ブロックしたいサイトが表示されてしまう。

A12. 以下の理由が考えられます。

- すべてのサイトにアクセスできるよう設定されている

フィルター強度設定で［フィルター OFF］が設定されていると、フィルタリングは行われません。
詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】（P.30）をご覧ください。

- 見せて良いサイト、ホワイトリストの登録方法が間違っている
  見せて良いサイト、ホワイトリストでは、登録された URL の部分的に一致するサイトを表示します。見せて良いサイト、ホワイトリストに「http://」などを登録してしまうと、ほとんどすべてのサイトが表示されます。
- ウェブブラウザーのキャッシュが残っている
  ウェブブラウザーのキャッシュが残っていると、キャッシュが表示されることがあります。キャッシュを削除することをお勧めします。一時的には、キーボードの［Ctrl］キーを押しながら［F5］キーを押して、ページを更新できます。

【ウェブブラウザー（Internet Explorer）のキャッシュの削除方法】

① Internet Explorerの［ツール］→［インターネットオプション］をクリックします。

② インターネットオプション画面の［全般］で、以下のいずれかの操作を行います。

＜ Inernet Explorer 8 / Inernet Explorer 9 / Internet Explorer 10 の場合＞

［閲覧の履歴］の［削除］ボタンをクリックし、［インターネット一時ファイル］/［インターネットの一時ファイルおよび Webサイトのファイル］にチェックマークを付けて、［削除］ボタンをクリックします。

＜ Inernet Explorer 7 の場合＞

［閲覧の履歴］の［削除］ボタンをクリックし、［インターネット一時ファイル］の［ファイルの削除］ボタンをクリックして、さらに［はい］ボタンをクリックします。

＜ Inernet Explorer 6 の場合＞

［インターネット一時ファイル］の［ファイルの削除］ボタンをクリックして、さらに［OK］をクリックします。

- 利用期限が切れたまま使用している
  利用期限が終了すると、「i-フィルター」の機能をご利用いただけません。継続利用の手続きを行って、「i-フィルター」をお使いください。詳しくは【継続利用の手続きをする】（P.107）をご覧ください。
- フィルターデータに登録されていない
  上記可能性のいずれも該当しない場合は、フィルターデータに当該サイトが登録されていない可能性があります。「i-フィルター」のフィルターデータは、世界のメディアに関する研究成果に基づいた高い精度を誇っていますが、すべてのサイトをフィルタリングできるわけではありません。万が一、お客さまにとって有害と思われるサイトが表示された場合は、大変お手数ですが、弊社ウェブサイトにアクセスし、フィルターデータ追加修正依頼フォームから該当サイトの URL をご指摘いただければ幸いです。当社の格付け基準と照合し、フィルタリングの強化に反映させていただきます。
  また、見せたくないリストに登録いただければ、該当サイトはすみやかにフィルタリングされます。
  詳しくは【見せたくないサイトの URL を登録する】（P.36）をご覧ください。

Q13. 表示されるはずのサイトがブロックされてしまう。

A13. 以下の理由が考えられます。

- 見せたくないサイトの登録方法が間違っている
  見せたくないサイトとして URL が登録されると、その URL が部分的に一致するサイトをブロックします。
  見せたくないサイトとして「http://」などを登録してしまうと、ほとんどすべてのサイトがブロックされます。
  見せたくないサイトについて詳しくは【見せたくないサイトの設定をする】（P.35）をご覧ください。
- ホワイトリスト機能を有効にしている
  ホワイトリストの機能が有効になっていると、フィルター強度設定、見せたくないサイト、見せて良いサイト、ダウンロード禁止、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICS フィルターは無効になります。
  ホワイトリスト機能を使わずフィルタリングするには、ホワイトリスト機能を無効にする必要があります。
  ホワイトリスト機能について詳しくは【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】（P.62）をご覧ください。

Q14. ブロック画面にブロックされた理由が表示されない。

A14. ブロック画面にブロックされた理由を表示させるには、以下の条件を満たすブロック画面を設定している必要があります。

- **標準ブロック画面を選ぶ**
- ブロックした理由を表示するよう設定している（［ブロックした理由を表示する］にチェックマークが付いている）
  ブロック画面の設定方法は【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】（P.66）をご覧ください。

付録

8

Q15. ［フィルター強度設定］ボタン、［見せたくないサイトの設定］ボタン、［見せて良いサイトの設定］ボタンのほか、詳細設定画面でいくつかのボタンがグレーで表示されてクリックできない。

A15. 以下のいずれかの設定がされていると、上記のボタンはグレーで表示されて操作できなくなります。
- フィルター OFF の設定をしている
  フィルター OFF を設定すると、インターネットタイマーと個人情報保護機能、アプリケーション制御以外のフィルターはすべて無効となります。フィルター強度設定画面でカテゴリセットを選ぶと、グレーで表示されていた箇所が通常の表示にもどり、設定ができるようになります。フィルターを設定する手順については、【フィルターを設定する】（P.13）、【フィルターの強度を設定する】（P.27）をご覧ください。
- ホワイトリスト機能を有効にしている
  ホワイトリスト機能とは、ホワイトリストに登録したサイトだけにアクセスできるフィルターです。インターネットタイマー、アプリケーション制御、個人情報保護、ブロック画面設定以外のフィルター設定は、すべて無効となります。ホワイトリスト機能を無効にすると、グレー表示されていた箇所が通常の表示にもどり、設定ができるようになります。ホワイトリスト機能の操作方法については【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】（P.62）をご覧ください。

困ったときには（警告・表示）

表示に関することで困ったときにお読みください。

Q16. インストール中にファイアウォール製品などから、警告が表示されました。

A16 「i-フィルター」はインストール中および使用中にインターネットに接続する必要があります。ファイアウォール製品が警告を表示した場合、下記の名称については、すべて許可・常に許可にするように設定をしてください。
- 「if6」で始まるすべてのソフトウェア（プログラム）
  ifp6GC（.exe）、ifp6control_manager（.exe）、ifp6bigbrother (.exe)、ifp6updater (.exe)、ifp6hammer32 (.exe)、ifp6hammer64 (.exe)、ifp6main_service (.exe)

ファイアウォールの設定はファイア ウォールの取扱説明書などをご覧のうえ、ご利用のメーカー様へお問い合わせください。
※一般的なセキュリティソフトには、ファイアウォールの機能が含まれています。

Q17. 利用期限切れのメッセージが表示される。

A17. 利用期限が過ぎてしまうと「i-フィルター」の機能がご利用いただけなくなります。ぜひ、「i-フィルター」を継続利用いただき、安全で快適なインターネットライフをお楽しみください。
継続利用について詳しくは【継続利用の手続きをする】（P.107）をご覧ください。

Q18. バージョンがわからない。

A18. バージョン情報を確認する方法については【バージョン情報を見る】（P.100）をご覧ください。

教えて！「i-フィルター」

「i-フィルター」について詳しく知りたいときにお読みください。

Q19. フィルタリングって何？

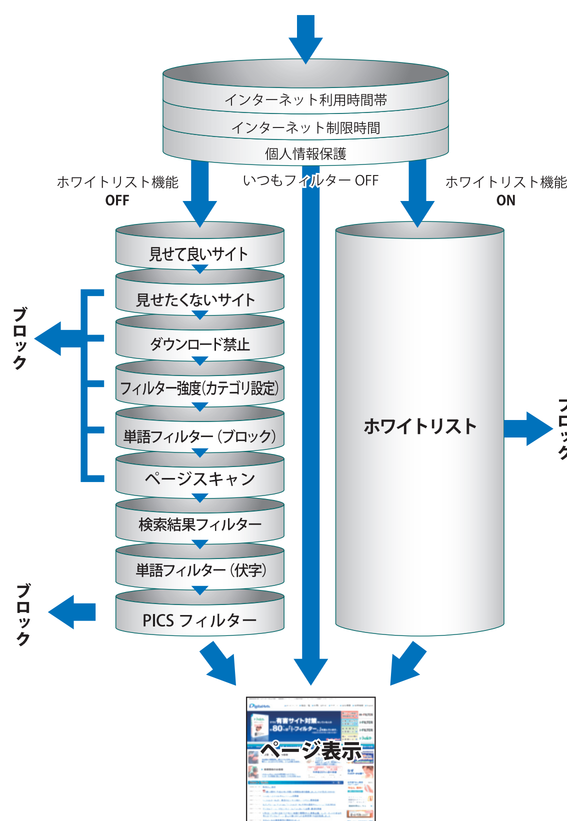
A19. 「i-フィルター」では、インターネット上のサイトの内容を判別して、表示を許可したりブロックしたりすることをフィルタリングと呼んでいます。

Q20. どのような項目をフィルタリングしているの？

A20. 弊社が分類したカテゴリに該当するサイトにフィルタリングします。そのサイトがどのカテゴリに属し、どの強度に該当するのかという格付け基準は、各国のメディアに関する研究結果や事例などをふまえ、デジタルアーツ株式会社が独自に定めたものを使用しています。詳しくは【フィルターのカテゴリ一覧】（P.128）をご覧ください。

Q21. 複数のフィルターの設定ができる「i-フィルター」、フィルタリングする順番は？

A21.「i-フィルター」では、サイトをブロックするフィルターとサイトを表示するフィルター（ホワイトリスト）を同時にかけることはできません。フィルター強度設定、見せて良いサイト、見せたくないサイト、ダウンロード禁止、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICS フィルターは無効となります。
「i-フィルター」でフィルタリングする順番は、以下のとおりです。



Q22. 規制対象サイトはいつどのように更新されるの？

A22. どのサイトをフィルタリングするのかを決めているのは、フィルターデータです。「i-フィルター」のフィルターデータは、日本語・英語・中国語圏の専任スタッフが完全目視で随時収集・強化しています。更新されたフィルターデータは、データ更新機能によりダウンロードしてデータ更新できます。お好きなときに手動でデータ更新したり、自動更新機能を使って設定した期間ごとにデータ更新を行ってください。なお、データ更新の対象はフィルターデータのほかに、「i-フィルター」のプログラムデータがあります。より高いフィルタリング精度を保つため、自動更新機能をオンにすることをお勧めします。詳しくは【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】（P.87）をご覧ください。

Q23. インターネットを使っていないときに「i-フィルター」を起動したらどうなるの？

A23. インターネットを使っていないとき、または接続していないときに、「i-フィルター」を起動した場合、管理画面を開いて設定を変更、利用状況の確認を行うことができません。インターネットに接続されると、フィルタリングを行うことができます。
アプリケーション制御が有効の場合、インターネットの接続に関わらず登録されたアプリケーションを制限することができますが、設定の変更を行うことはできません。

Q24. 管理パスワードを設定しなくても使えるの？

A24. 管理パスワードはログインや利用者の切り替え、プロキシの設定、「i-フィルター」の停止に必要になります。
必ず設定をしてください。

Q25. インターネットの利用制限時間（インターネットタイマー）はどのようにカウントされているの?

A25. インターネットタイマーは、ウェブブラウザーを起動してなんらかのサイトに最初にアクセスしたときからカウントが開始され、ウェブブラウザーを閉じたときにカウントが終了します。またアプリケーション制御と連動している場合は連動しているアプリケーションの起動中もカウントがされます。設定した利用時間を超えてのご利用には、タイマー 延長申請が必要です。タイマー延長について、詳しくは【インターネットタイマーを延長する（タイマー延長）】（P.84）をご覧ください。

Q26. インターネットに接続していない状態でサイトを閲覧している場合（キャッシュに残ったサイトを見ているだけ）もインターネットの利用制限時間にカウントされますか ?

A26. ウェブブラウザーを起動している、タイマー連動に設定したアプリケーションを起動している間は利用制限時間にカウントされます。

Q27. ゲームのカテゴリを規制しているのに、子どもがゲームで遊んでいるようだ

A27.「i- フィルター」はウェブブラウザーを利用するときにフィルタリングを行います。ソフト自体の動作やウェブブラウザーを利用しないソフトはアプリケーション制御にゲームのプロセス名を登録することで、利用を制限することができます。詳しくは、【アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）】(P.42）をご覧ください。

Q28. 見たいサイトがブロックされてしまうので、カスタマイズ（変更）したい

A28. ブロックされている理由（カテゴリ） からそれぞれの内容を確認して設定を変更しましょう。
ブロック画面にカテゴリが表示されていない場合には、ブロックしている理由を表示するように設定を変更してください。詳しくは【表示されるブロック画面を設定する】（P.68） をご覧ください。

- 書き込みブロック
  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは【見せて良いサイトの URL を登録する】（P.32）をご覧ください。
  掲示板、ブログ、SNS、チャットなど、コミュニケーションカテゴリ（Web メール、ホスティングを除く）に属するサイトへの書き込みを許可する場合は、書き込みブロックを無効にしてください。
  詳しくは、【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】（P.28）をご覧ください。
- 購入ページブロック
  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは【見せて良いサイトの URL を登録する】（P.32）をご覧ください。
  ショッピングカテゴリ、または金融・経済カテゴリ（投資情報、不動産を除く）に該当するサイトに属するサイトへの購入操作を許可する場合は、購入ページブロックを無効にしてください。
  詳しくは【オンラインショッピング / オークションでの購入を禁止する】（P.29）をご覧ください。
- 見せたくないサイト
  見せたくないサイトとして登録されていますので、設定を変更してください。
  詳しくは【見せたくないサイトを削除する】（P.37）をご覧ください。
- インターネット禁止時間
  インターネットタイマーで利用可能な時間帯の設定または 1 日のインターネット利用制限時間の設定がされています。時間帯を変更する場合は【インターネットの利用時間帯を制限する】（P.40）をご覧ください。
- 個人情報保護
  サイト検索時に入力した文字列が、保護する情報として登録されていますので、設定を変更してください。
  詳しくは【個人情報を保護する（個人情報保護）】（P.48）をご覧ください。
- 単語フィルター
  見たいサイトに記載されている単語が見せたくない単語として登録されています。
  一時的にフィルターをオフにしてサイトの内容を確認してから、設定を変更してください。
  詳しくは【見せて良いサイトの URL を登録する】（P.32）をご覧ください。
  見せたくない単語を伏字表示に変更するか、単語フィルターを無効にしてください。
  詳しくは【見せたくない単語を設定する（単語フィルター）】（P.57）をご覧ください。

- ページスキャン
  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは【見せて良いサイトの URL を登録する】(P.32) をご覧ください。
  サイトの内容を自動的に判断してブロックさせたくない場合は、ページスキャンを無効にしてください。
  詳しくは【サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャン)】(P.70) をご覧ください。
- PICS フィルター
  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは【見せて良いサイトの URL を登録する】(P.32) をご覧ください。
  PICS ラベルが付いているかどうかで判断してブロックさせたくない場合は、PICS フィルターを無効にしてください。詳しくは【自主規制信号のあるサイトを見せたくない(PICS フィルター)】(P.71) をご覧ください。
- ダウンロード禁止
  ダウンロードしたいファイルの拡張子がダウンロード禁止の拡張子として登録されていますので、設定を変更してください。詳しくは、【ファイルをダウンロードさせない(ダウンロード禁止)】(P.52) をご覧ください。
- ホワイトリスト
  ホワイトリストの設定を変更してください。詳しくは、【ホワイトリストを登録する】(P.63) をご覧ください。
- その他カテゴリ名称が表示されている
  カテゴリの内容については【フィルターのカテゴリ一覧】(P.128) をご覧ください。
  特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
  詳しくは【見せて良いサイトの URL を登録する】(P.32) をご覧ください。
  表示されているカテゴリすべて見せて良い場合には、設定を変更してください。
  詳しくは【フィルターの強度を設定する】(P.27) をご覧ください。

Q29.「i- フィルター」の管理画面で変更した設定はいつ反映されますか?

A29「i- フィルター」の設定反映タイミング設定は下記のとおりです。

- 管理画面上で「i- フィルター」の設定変更後、初回通信時で設定を取得します。
- 「i- フィルター」を起動してから 3 分後に設定を取得します。
- 利用者の追加・編集・削除の操作を行った際に設定を取得します。

Q30. レポートメール、解除申請メールが正しく表示されない

A30. レポートメール、解除申請メールは UTF-8 の文字コードで送信されています。お使いのメールソフトの文字コードの設定を UTF-8 で表示するように変更してください。

付録

8

フィルターのカテゴリ一覧

フィルター強度設定画面でブロックしたいカテゴリにチェックマークを付けて設定すると、フィルターを細かく設定できます。カテゴリにチェックマークを付けると、該当するサイトがブロックされるよう設定されます。
詳しくは【フィルターの強度を設定する】（P.27）をご覧ください。

カテゴリの種類と説明は、以下のとおりです。

カテゴリ		説明
アダルト	性行為・性風俗	過激なヌードや性行為の表現、性風俗店
	ヌード・アダルトグッズ	ヌードの表現、アダルトグッズ
	グラビア	水着・下着姿など露出度の高い姿態の表現
	性教育・性の話題	性の話題、性教育、避妊、性病
犯罪・暴力	グロテスク	過激な暴力などの表現・画像
	犯罪・武器	犯罪テクニック、爆弾、凶器、傷口
	不適切な薬物使用	麻薬・脱法ドラッグ、薬物・健康食品の乱用促進や 個人輸入代行
	カルト・テロリズム	テロ組織・カルト集団、破壊活動に関わったとされる 団体の情報
コミュニケーション	出会い	出会い系サイト、メル友募集、恋愛・結婚の斡旋
	掲示板	掲示板、掲示板専用レンタルサーバー
	ブログ	ブログ、ブログ専用レンタルサーバー
	SNS	会員同士のつながりを促進するコミュニティサイト
	会員向け掲示板	会員向け Q&A型コミュニティサイト
	ソーシャルブックマーク	インターネットを介したブックマーク共有サービス
	Webメール	ブラウザーでのメール送受信、メール転送サービス
	チャット	チャット、チャット専用レンタルサーバー
	メールマガジン	メールマガジン配信サイト
	ホスティング	個人ホームページスペース、ホスティング・レンタルサーバー
エンターテイメント	芸能	芸能プロダクション、タレント公式サイト・ファンサイト、 芸能ニュース
	映画・演劇	映画製作・配給会社、作品、劇団、映画俳優
	音楽	音楽レーベル、アーティスト公式サイト・ファンサイト、 楽曲販売、歌詞検索
	TV・ラジオ	放送局、番組
	漫画・アニメ	漫画家公式サイト、作品、ウェブ漫画、漫画ダウンロード 販売
	動画・音楽配信	インターネットラジオ、インターネット TV、動画・音楽配信
	ゲーム	ゲーム会社公式サイト、ゲーム情報、ブラウザーゲーム
	スポーツ	競技団体・スポーツメーカー・選手公式サイト スポーツニュース
	占い・超常現象	占い、UFO、心霊現象、都市伝説
ショッピング	ショッピング	ショッピングサイト、商品情報検索・比較
	オークション	ネットオークション
	コンピュータ用品	パソコンメーカー直販サイト
	オフィス用品	オフィス用品メーカー直販サイト
不正 IT技術	不正アクセス技術	ハッキング・クラッキングの技術
	ウイルス技術情報	ウイルスやスパイウェアなどのプログラム配布・製作技術
	違法ソフト・反社会行為	違法ソフトウェアコピー、シリアル配布などの権利侵害行為、 フィッシング詐欺
	クラッシャーサイト	ブラウザーを介してパソコンに悪影響を及ぼすサイト
地域	旅行・観光	旅行・観光情報、旅行代理店
	タウン情報	地域ポータル、地域限定の情報検索サイト
	アミューズメント施設	遊園地、遊戯場、テーマパーク、多目的施設
	旅客鉄道	公共交通機関、道路港湾施設、交通運行情報
	グルメ	飲食店情報紹介・検索
仕事	求人	求人情報サイト、再就職支援、人材派遣

カテゴリ		説明
金融・経済	投資情報	金融・株式・投資商品の紹介、取引のアドバイス
	オンライントレード	オンライン金融商品取引
	消費者金融	オンラインキャッシング、カードローン、銀行・信販系の個人向け金融
	インターネット銀行	インターネット銀行、オンラインでの銀行取引
	不動産	不動産物件の賃貸・販売情報
ギャンブル	ギャンブル	競馬・競輪・競艇・オンラインカジノ・パチンコ、その他の賭博行為
	懸賞・くじ	宝くじ・ナンバーズ・ロトくじ、懸賞サイト（期間限定は除く）
アルコール・タバコ	アルコール・タバコ	タバコ・酒造メーカー、成人嗜好品
情報サービス	ニュース	ニュースサイト、ニュース検索
	ポータル	総合情報サイト
	検索エンジン	ウェブ検索サービス
	画像・動画検索エンジン	画像・動画・音声 Web検索サービス
ツール	総合ソフトウェアダウンロード	ソフトウェア紹介・配布総合サイト
	オンラインストレージ	インターネットを介したファイル保存サービス
	アップローダー	不特定多数ユーザーでのファイル共有サイト、ファイル共有ソフトウェア情報
	Web翻訳・URL変換	ウェブサイト翻訳
	匿名アクセス・プロキシ	プロキシサーバー、匿名メール発信、匿名化を目的としたアクセス中継
宗教	宗教	宗教団体（宗教法人・連合・連盟）および、神社・寺院などの宗教施設サイトや宗教信仰・宗教理念・活動内容など詳細に紹介しているサイト （※破壊活動等に関与した宗教団体は対象外）
主張	誹謗・中傷	誹謗、中傷、糾弾、差別
	主張	個人的嗜好、対立を招く恐れのある表現
	いたずら	下品な表現、ドッキリ、カンニング
行政・教育	政府・自治体	政府・自治体の運営するサイト
	学校・教育施設	学校・公的教育機関の運営するサイト
	軍事・防衛関連	国軍などの公的な軍事・防衛組織、軍事・防衛産業企業の公式サイト
その他	緊急	緊急性・事件性の高いサイト
	特殊	今ある他のカテゴリに属さない話題性・フィルタリング需要の高いサイト

用語集

「i-フィルター」で使う用語を説明しています。

■ PC 起動時にこの設定を使う

【起動時の利用者を選ぶ】（P.22）をご覧ください。

■ PICS

PICS（自主規制信号）とは、サイト作成者がそのサイト内に自主的に発信している規制信号のことです。

■ PICS フィルター

【自主規制信号のあるサイトを見せたくない（PICSフィルター）】（P.71）をご覧ください。

■ URL

インターネット上の情報がどこにあるかを表すものです。サイトにアクセスするには、URLを指定します。

■ Windows アカウント

Windows のユーザーアカウントのことです。ユーザーアカウントを利用すると、パソコンを使う人それぞれが、
個別のファイルを保存したり、操作画面の変更など、さまざまな設定を個別に持つことができます。
Windowsのユーザーアカウントについて、詳しくは【「i-フィルター」の利用者とは】（P.17）をご覧ください。

■ Windows アカウント連携

【「i-フィルター」の利用者とは】（P.17）、【新しい利用者を追加する】（P.18）をご覧ください。

■チャーム

Windows 8 で使われるマウスのカーソルを画面右端の上か下に合わせると表示されるバーのことです。

■「アクセス禁止」画面

【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】（P.66）をご覧ください。

■アプリケーション

文書の作成や計算、ゲームなど、特定の目的のために作られたソフトウェアのことです。

■アプリケーション制御

【アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）】（P.42）をご覧ください。

■インターネットタイマー

【インターネットの利用時間を制限する（インターネットタイマー）】（P.39）をご覧ください。

■ウェブサイト（サイト）

ひとまとまりに公開されているウェブページの集まりやそのインターネット上での場所のことを指します。

■ウェブページ

インターネット上で公開されている文書のことです。ウェブブラウザーに 1度に表示されるデータのまとまりのことを指します。

■書き込みブロック

【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】（P.28）をご覧ください。

■拡張子

ファイルの種類を示す文字です。ファイル名の最後に付いている「.（ドット）」の後の文字が拡張子に当たります。
例えば「.txt」（テキストファイル）や「.jpg」（画像ファイル）などがあります。
拡張子を確認したいファイルを右クリックし、ポップアップメニューからプロパティをクリックします。
プロパティの「ファイルの種類」から確認いただけます。

■カテゴリ

【フィルターの強度を設定する】（P.27）、【フィルターのカテゴリ一覧】（P.128）をご覧ください。

■かんたんナビ

【かんたんナビで操作がすぐわかる】（P.15）をご覧ください。

■管理画面

【「i-フィルター」を使う】(P.10) をご覧ください。

■管理パスワード

【「i-フィルター」の管理パスワードを変更する】(P.90)、【困ったときには（管理パスワード）】(P.122) をご覧ください。

■キャッシュ

キャッシュ（一時ファイル）とは、ウェブブラウザーで一度表示したサイトをパソコンに一時的に蓄えておくことです。
これによって、次から同じサイトを表示するときにインターネット上にあるサイトではなくパソコンの中の一時ファイルを読み込むことで表示を速くすることができます。代表的なウェブブラウザーでは、このような機能を標準で持っています。

■禁止単語

【禁止単語を設定する（単語フィルター）】(P.57) をご覧ください。

■継続利用

【継続利用の手続きをする】(P.107) をご覧ください。

■検索結果フィルター

【見せたくないサイトを検索結果に表示させない（検索結果フィルター）】(P.56) をご覧ください。

■購入ページブロック

【オンラインショッピング /オークションでの購入を禁止する】(P.29) をご覧ください。

■個人情報

個人を識別できる情報のことです。氏名、住所、電話番号、生年月日はもとより、勤務先や所属学校名、クレジットカード番号など複数の情報を組み合わせれば個人を識別できる情報も個人情報に当たります。

■個人情報保護

【個人情報を保護する（個人情報保護）】(P.48) をご覧ください。

■シリアル ID

【ライセンス情報を見る】(P.96) をご覧ください。

■ダウンロード

ダウンロードとは、インターネットなどから自分のパソコンに情報を取り寄せ、ファイルに保存することです。
ダウンロード（Download）は、略して DLと表記されることもあります。

■単語フィルター

【禁止単語を設定する（単語フィルター）】(P.57) をご覧ください。

■通知領域（タスクトレイ）

通常、Windowsのデスクトップ画面右下に表示される場所のことです。時刻表示や Windows上で常に作動しているソフトウェア（プログラム）のアイコンが表示されています。

■データ更新

【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】(P.87) をご覧ください。

■認証

シリアル IDが有効かどうか、ライセンスを管理しているサーバーに確認することです。

■バージョン情報

【バージョン情報を見る】(P.100) をご覧ください。

■ファイアウォール

ファイアウォール（防火壁）とは、インターネット（外部）からパソコンなど（内部ネットワーク）への不正なアクセスを防ぐためのものです。

■フィルターデータ

【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】(P.87) をご覧ください。

■フィルター強度
【フィルターを設定する】(P.13) をご覧ください。

■伏字
【禁止単語を伏字にする】(P.58) をご覧ください。

■プロキシ（プロキシサーバー）
企業など、直接インターネットに接続できないコンピューターの「代理」としてインターネット接続を行う機器または、ソフトウェアのことです。

■プロセス名
【アプリケーションの利用を制限する（アプリケーション制御）】(P.42) をご覧ください。

■プログラムデータ
【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】(P.87) をご覧ください。

■ブロック
【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】(P.66) をご覧ください。

■ページスキャン
【サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャン）】(P.70) をご覧ください。

■ホスト名
ネットワークに接続されたコンピューターを識別しやすいように付ける名前のことです。
例えば「http://www.daj.jp/ask/」という URLの場合には「www.daj.jp」がホスト名になります。

■ホワイトリスト
【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】(P.62) をご覧ください。

■見せて良いサイト
【見せて良いサイトの設定をする】(P.31) をご覧ください。

■見せたくないサイト
【見せたくないサイトの設定をする】(P.35) をご覧ください。

■ライセンス情報
【ライセンス情報を見る】(P.96) をご覧ください。

■利用期限
【「i-フィルター」の利用期限について】(P.106) をご覧ください。

■利用者
【利用者の追加・編集・削除】(P.17) をご覧ください。

■履歴
【インターネット利用状況を知ろう】(P.72) をご覧ください。

お問い合わせ

お困りのときに、【Q&A】(P.121) やデジタルアーツ株式会社のサポート情報をご覧になっても解決できないときは、サポートセンターにお問い合わせください。

■ お問い合わせの前に

お客さまからよくお寄せいただく質問については、デジタルアーツ株式会社のウェブサイトのサポートサイト (http://www.daj.jp/cs/support/) に掲載しています。
お問い合わせの前に、お客さまのお問い合わせの内容に関する情報があるかどうかご確認ください。



通知領域 (タスクトレイ) の から [サポート] → [よくある質問 (FAQ)] をクリックするとサポート情報をご覧いただけます。

■ お問い合わせの際にご用意いただくもの

サポート窓口にご連絡いただく前に、あらかじめ以下の項目について確認し、お伝えいただくと、的確な調査や回答を行いやすくなります。このページを印刷して以下のメモ欄に書き込んでいただき、ご活用ください。

ご用意いただくもの		メモ
「i- フィルター」のシリアル ID (例：ABCD-EFGHIJKLMN-OPQR)		
パソコンのメーカー名／機種名 (例：A 社製 PC-123)		
お使いの Windows のバージョン (例：Windows 7 Home Premium)		
お使いのウェブブラウザーの名前とバージョン (例：Internet Explorer 9)		
具体的なお困りの症状 (エラー発生日、エラーメッセージなど)		
「i- フィルター」のバージョン ※バージョンの確認方法について詳しくは、【バージョン情報を見る】(P.100) をご覧ください。	プログラムバージョン	
	サービスコード	
	最終認証日時	年　月　日　時　分　秒
	利用期限	／　／

デジタルアーツ株式会社 サポートセンター
お問い合わせフォーム: http://www.daj.jp/ask/
電話受付： 0570-00-1334　　10：00～18：00
※ 弊社指定休業日は、お電話の受付はお休みさせていただいております。また、お問い合わせフォームや E-Mail でのお問い合わせも営業日に順次ご回答させていただいております。



通知領域 (タスクトレイ) の から [サポート] → [お問い合わせフォーム] をクリックするとお問い合わせフォームをご利用いただけます。

「i-フィルター 6.0」操作マニュアル
2012年 10月 18日　第 6版

デジタルアーツ株式会社　http://www.daj.jp/